

Cisco Webex Board は、スタンドアロンデバイスとしても使用でき、Touch 10 または Room Navigator から制御することもできます。

Touch 10 または Room Navigator で Webex Board を使用すると、スタンドアロンとして使用する場合よりも詳細に制御できます。

このユーザーガイドでは、両方の方法によるデバイスの操作に関して説明します。



# RoomOS 10.8

## Cisco Webex Board

### ユーザガイド

# このユーザ ガイドの内容

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| <b>エクステンション モビリティ</b>         |    |
| 自分のログイン情報でログオンする .....        | 4  |
| <b>タッチコントローラを使用したビデオ通話</b>    |    |
| 連絡先リストからの通話発信.....            | 6  |
| 発信前に連絡先を編集.....               | 7  |
| 名前、電話番号、またはアドレスを使用して発信 .....  | 8  |
| 通話の受信 — 非通話時の場合 .....         | 9  |
| 通話中に別の通話を受信 .....             | 10 |
| 通話を切断.....                    | 11 |
| 通話の保留および通話の再開 .....           | 12 |
| 通話中の通話を転送 .....               | 13 |
| 応答不可を有効化 .....                | 14 |
| すべての通話を自動転送 .....             | 15 |
| 通話中にキーパッドを表示 .....            | 16 |
| 既存通話に参加者を追加 .....             | 17 |
| 会議から参加者を切断.....               | 18 |
| 出席者の会議への参加を許可 .....           | 19 |
| 会議中に発言者をピン留め .....            | 20 |
| ミュージックモードの使用 .....            | 21 |
| 会議中に挙手 .....                  | 22 |
| 最近の発着信から通話詳細を確認.....          | 23 |
| <b>Webex Board を使用したビデオ通話</b> |    |
| 通話の発信 .....                   | 25 |
| 通話の着信 .....                   | 26 |
| <b>Intelligent Proximity</b>  |    |
| Cisco Proximity の超音波信号 .....  | 28 |
| <b>タッチコントローラを使用したコンテンツ共有</b>  |    |
| 通話中のコンテンツ共有 .....             | 30 |
| 非通話時のコンテンツ共有 .....            | 31 |

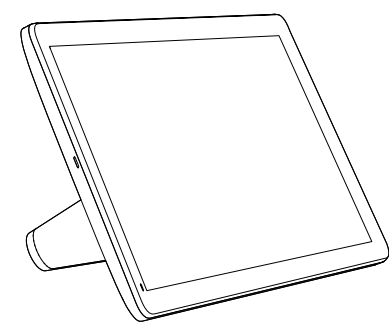
|  |    |
|--|----|
| <b>Webex Board でコンテンツ共有</b>                    |    |
| Webex Board をデジタルホワイトボードとして使用する .....          | 33 |
| セッションを終了して Webex Board をクリア .....              | 34 |
| 通話中のコンテンツ共有.....                               | 35 |
| 非通話時のコンテンツ共有 .....                             | 36 |
| 共有コンテンツに注釈を付ける .....                           | 37 |
| 電子メールで注釈または図面を送信.....                          | 38 |
| 有線タッチリダイレクト .....                              | 39 |
| Web アプリ .....                                  | 40 |
| <b>定例会議</b>                                    |    |
| スケジュールされた会議に参加.....                            | 42 |
| Webex 会議に参加.....                               | 43 |
| <b>タッチコントローラの連絡先</b>                           |    |
| お気に入り、通話履歴、ディレクトリ .....                        | 45 |
| 通話中にお気に入りに追加.....                              | 46 |
| 非通話時にお気に入りに追加 .....                            | 47 |
| 既存のお気に入りを編集 .....                              | 48 |
| <b>カメラ</b>                                     |    |
| カメラのオンとオフの切り替え (Touch 10/Room Navigator) ..... | 50 |
| カメラのオンとオフの切り替え (Webex Board) .....             | 51 |
| セルフビュー PiP (Touch 10/Room Navigator) の移動 ..... | 52 |
| セルフビュー PiP (Webex Board) の移動 .....             | 53 |
| カメラの手動制御.....                                  | 54 |
| <b>設定</b>                                      |    |
| オーディオ設定 .....                                  | 56 |
| 設定と規制情報へのアクセス .....                            | 57 |

目次の項目はすべてハイパーリンクになっています。ハイパーリンクをクリックすると、対応する記事に移動できます。

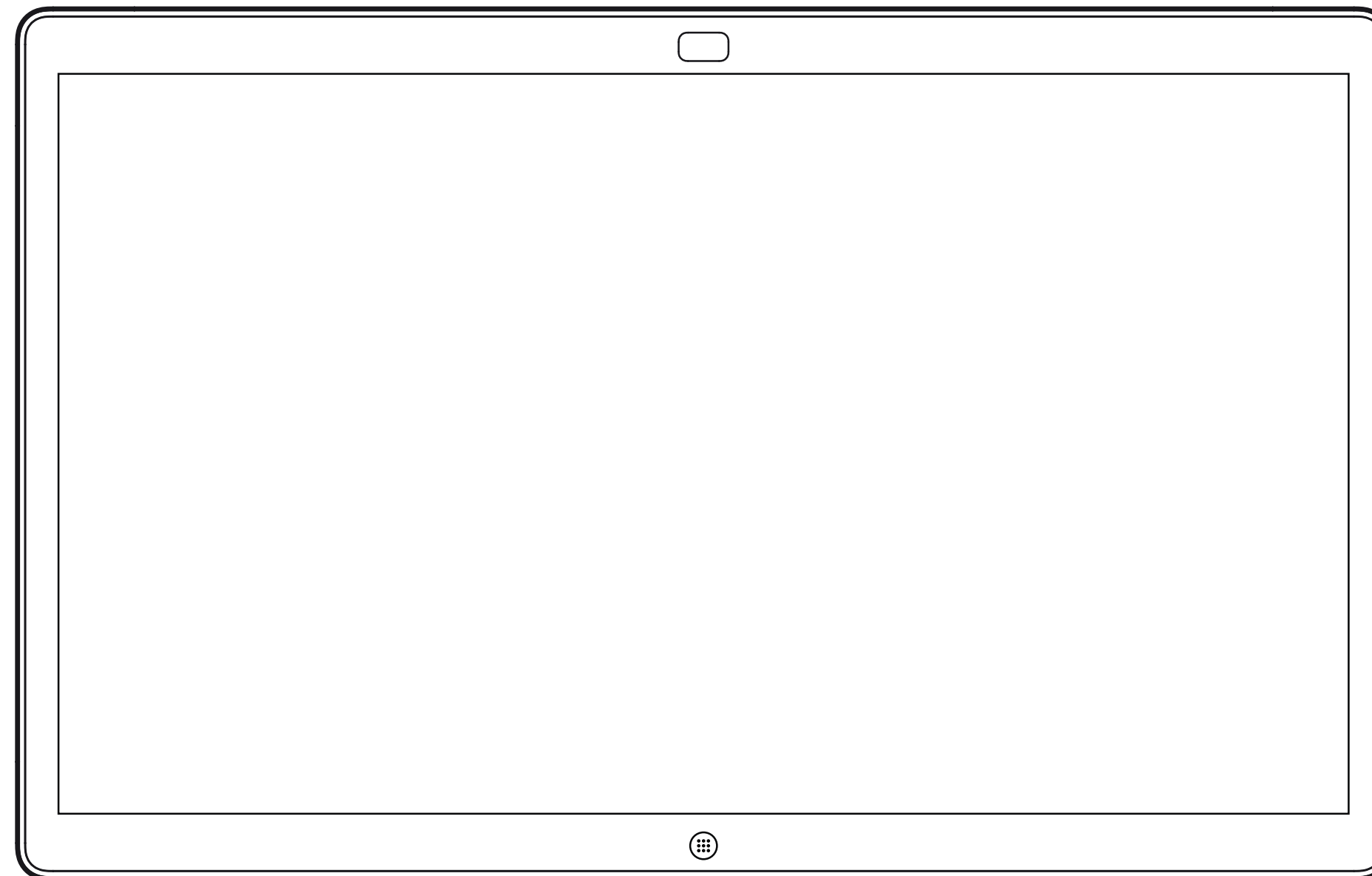
サイドバーのアイコンをクリックして、章単位で移動することもできます。

注：このユーザーガイドで説明する機能の一部は特定地域におけるオプションです。お使いのデバイスには該当しない場合があります。

このユーザーガイドでは、Webex Board という用語はオンプレミスサービスに登録された Webex Board を指します。



Room Navigator



Webex Board

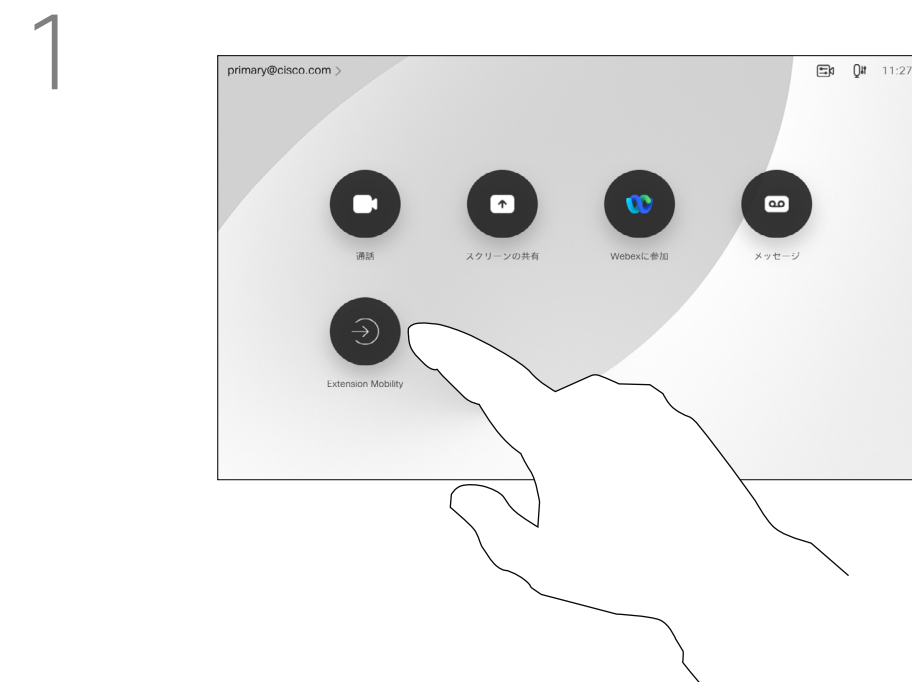


Touch 10

# エクステンション モビリティ

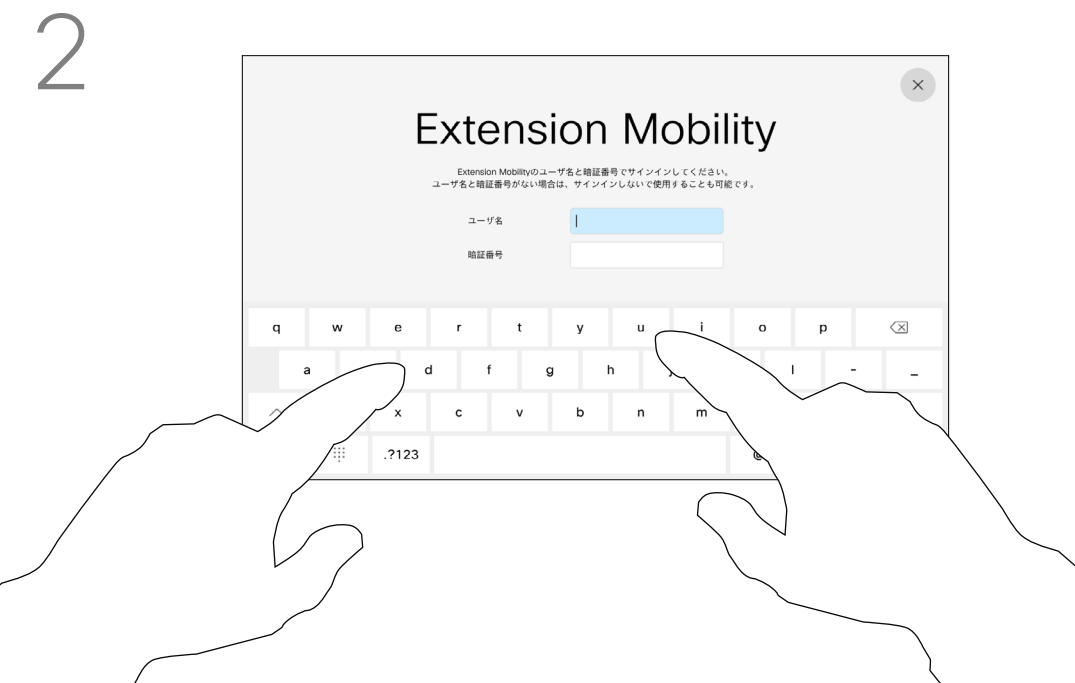
# 自分のログイン情報でログオンする

## エクステンション モビリティについて

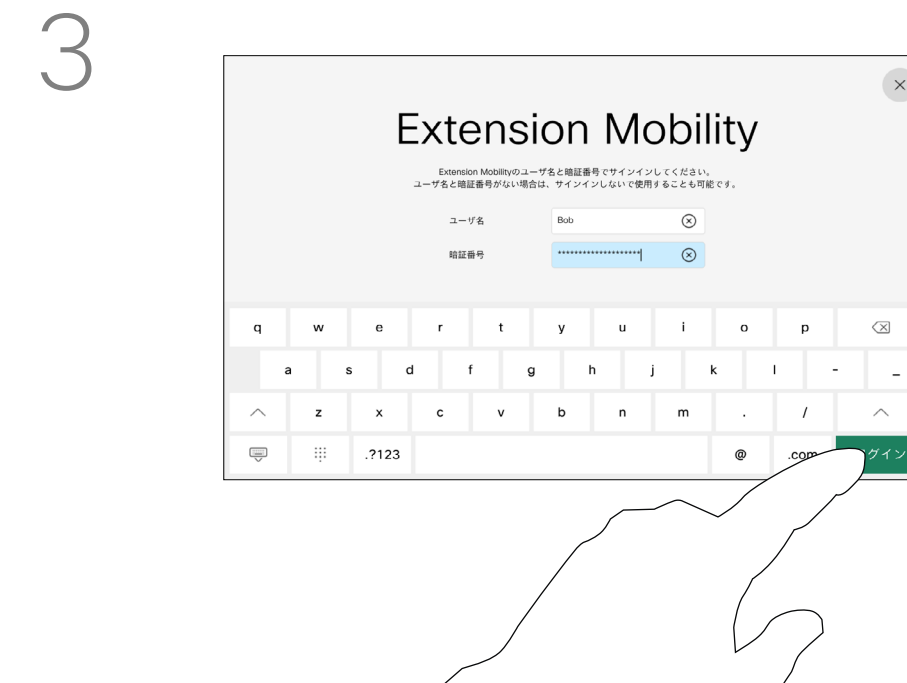


エクステンションモビリティ対応デバイスには、自分のログイン情報を使用してデバイスにサインインするための追加のボタンがあります。

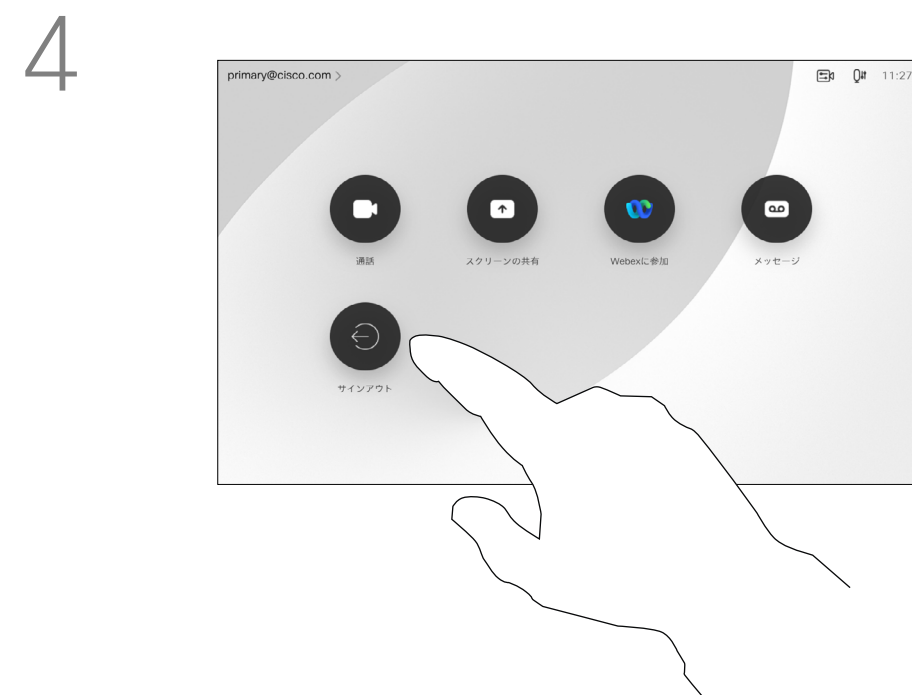
[エクステンションモビリティ(Extension Mobility)] ボタンをタップします。



ユーザー名と PIN コードを入力します。



[ログイン(Login)] をタップします (図を参照)。



サインアウトするには、[サインアウト (Sign out)] をタップします。

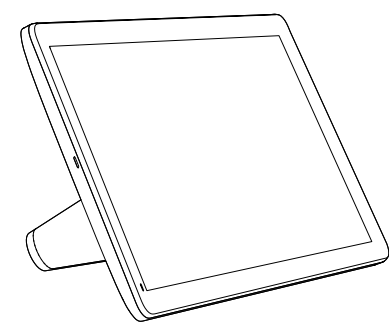
**注:**この機能には、Webex Board に接続された Touch 10 または Room Navigator が必要です。

会議室や静かな部屋に設置され、CUCM(Cisco Unified Communications Manager)配下で動作する Webex Boards では、自分のログイン情報を使用してビデオデバイスにログインすることができます。

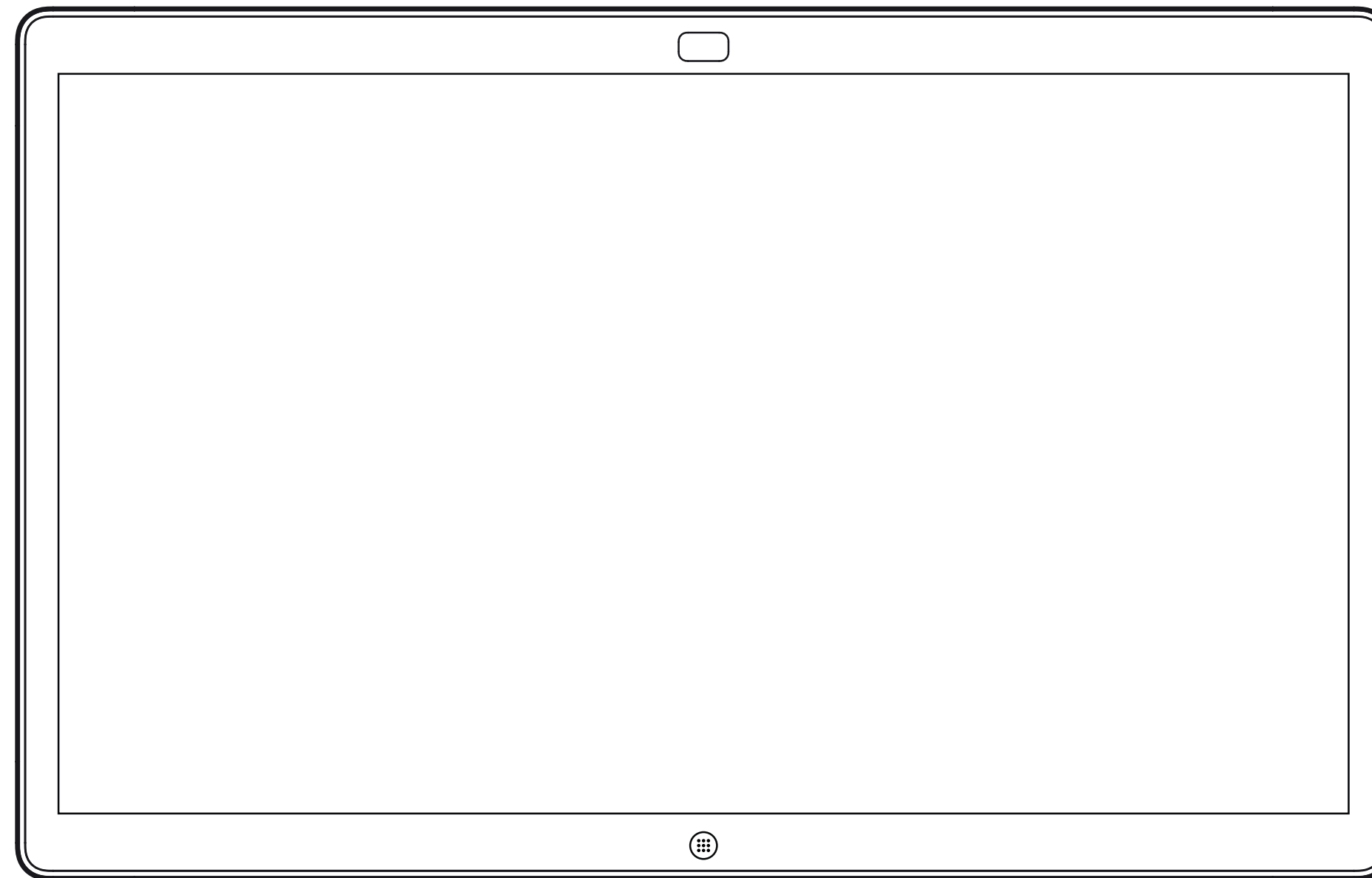
Cisco Unified Communications Manager は、その特定のデバイスにすべての着信通話をルーティングします。

エクステンションモビリティからログアウトすると、[通話履歴(Recents)] の一覧はデバイスからクリアされます。

エクステンション モビリティはホットデスクングとも呼ばれます。



Room Navigator



Webex Board

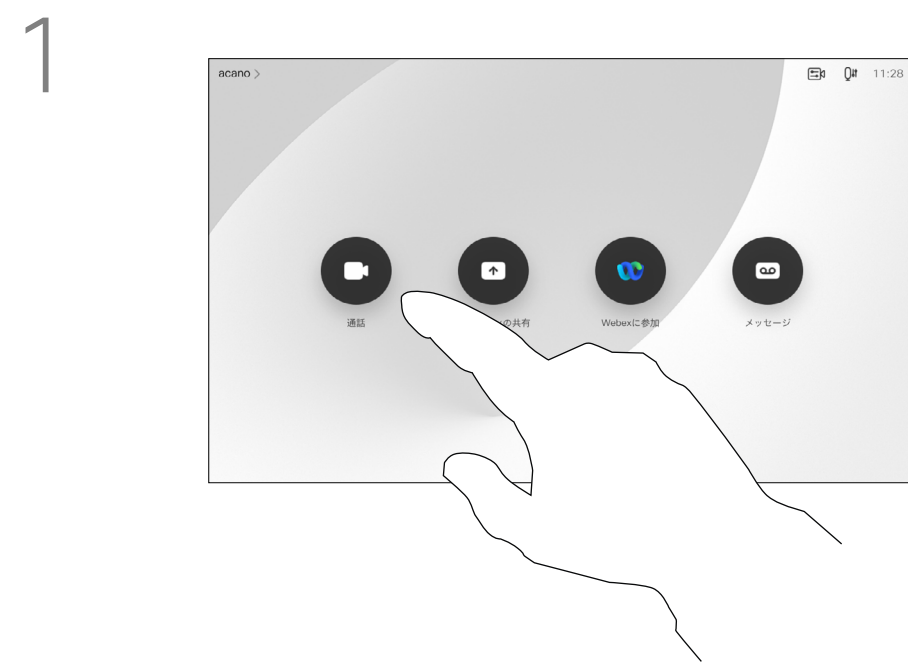


Touch 10

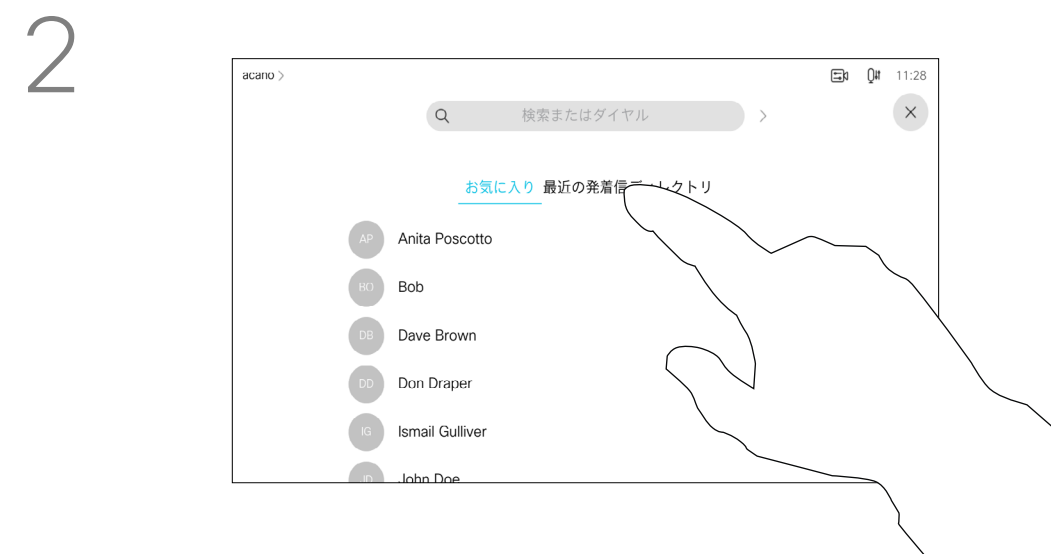
# タッチコントローラを使用したビデオ通話

# ビデオ通話: タッチコントローラ 連絡先リストからの通話発信

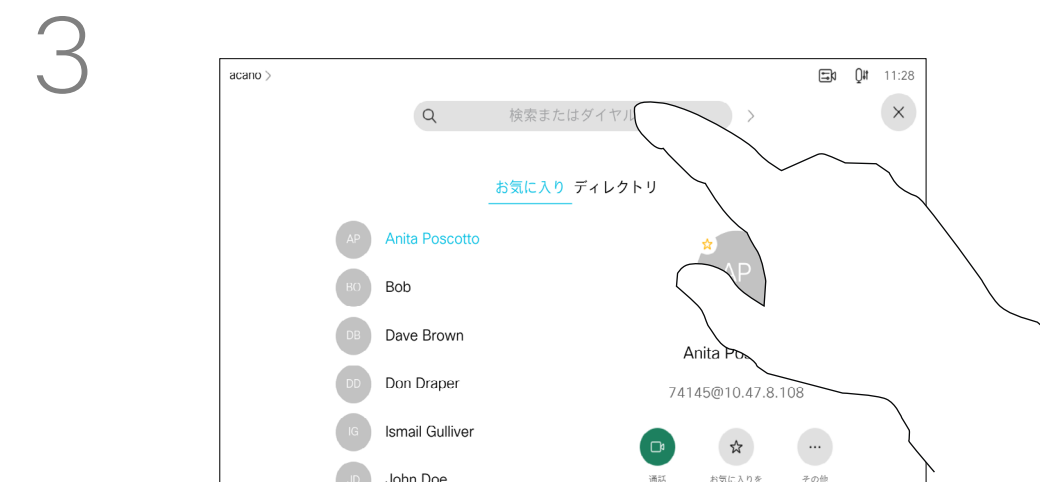
## 連絡先リストに関して



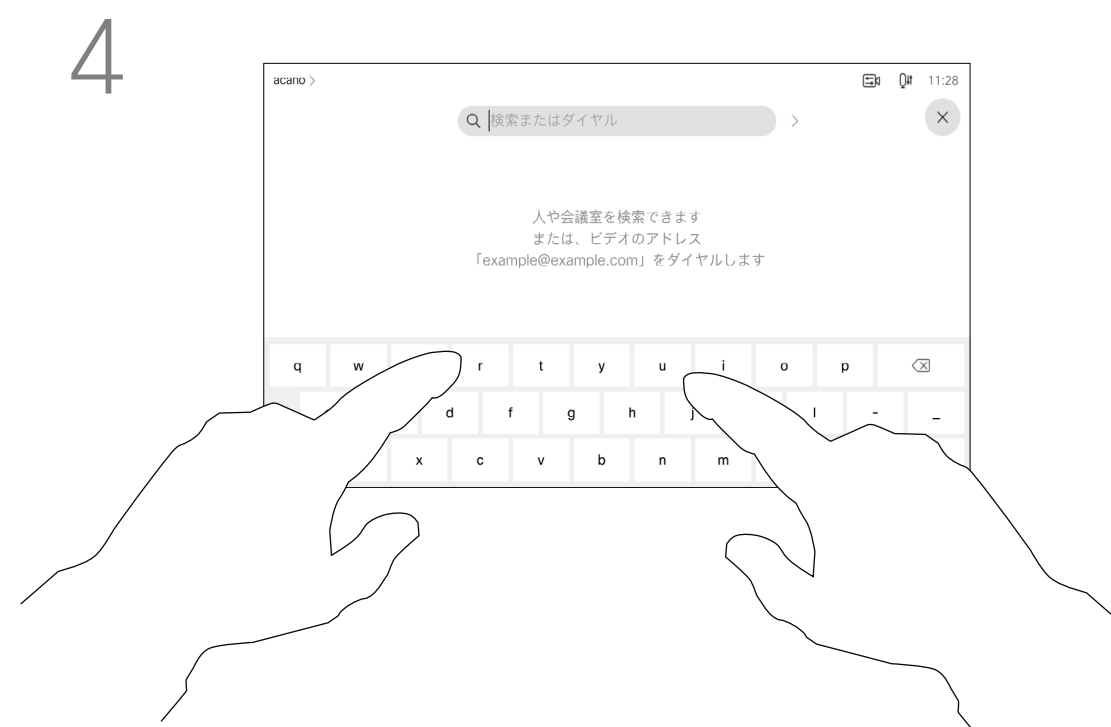
1 [発信(Call)] ボタンをタップします。



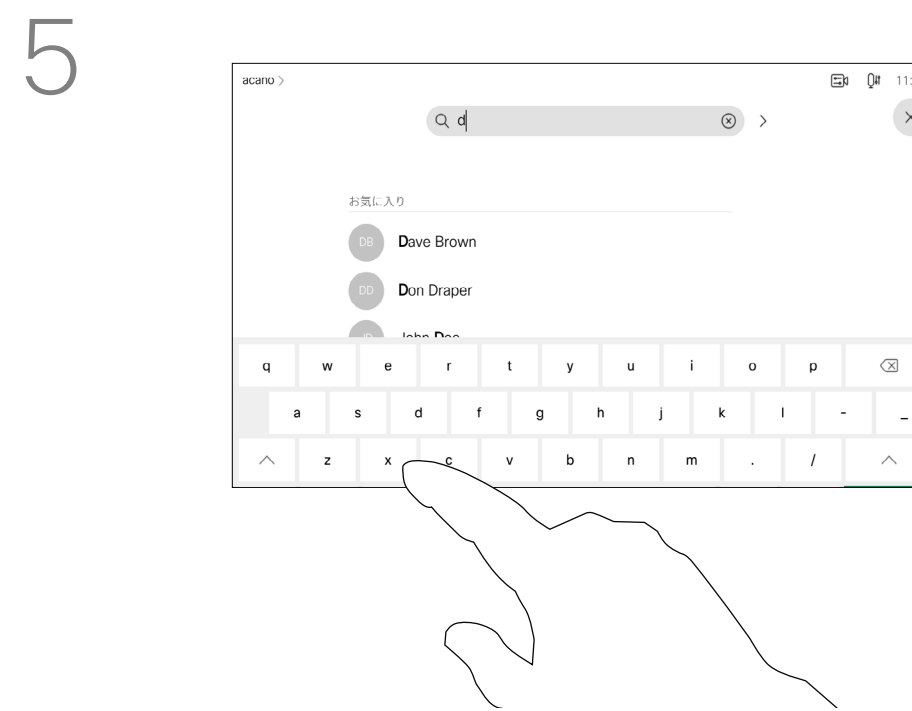
2 特定のリスト([お気に入り(Favorites)], [通話履歴(Recents)] または [ディレクトリ(Directory)])で通話相手を検索するには、そのリストをタップし、下へスクロールしてエントリを探します。



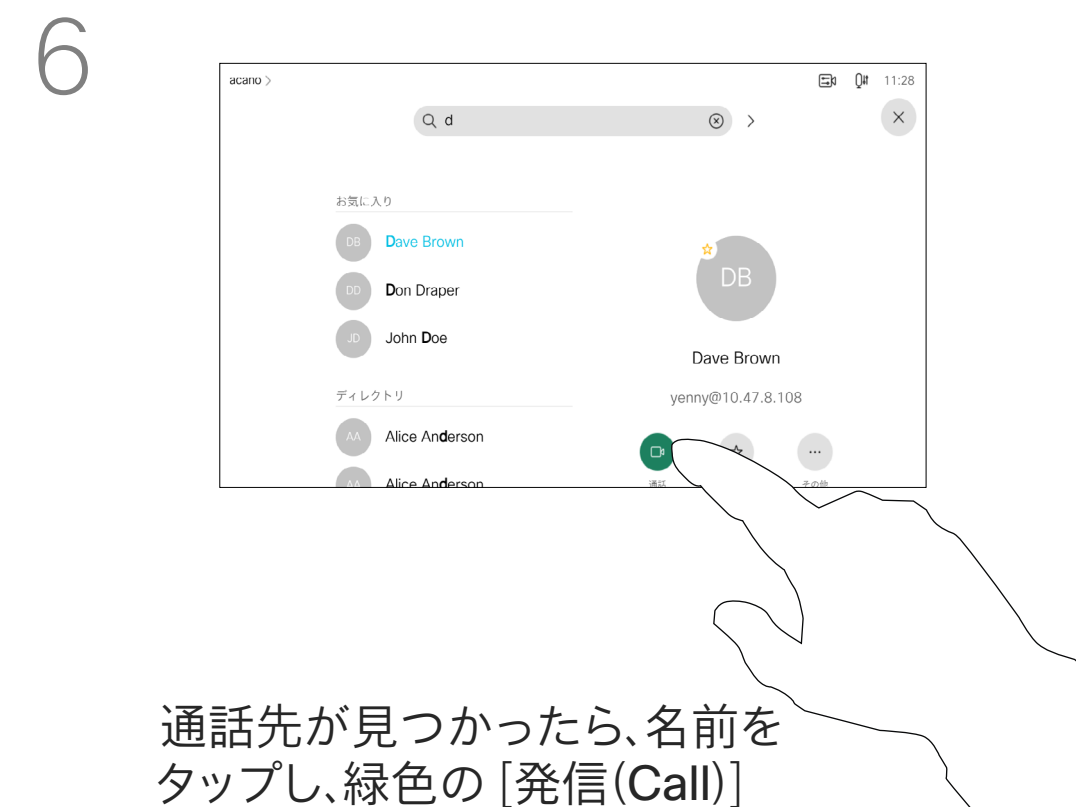
3 または、[検索またはダイヤル(Search or Dial)] フィールドをタップします。仮想キーボードが表示され、入力した内容がすべてのリストで検索されます。



4 名前、番号、または URL を入力します。  
入力するたびに一致する結果が表示されます。



5 特殊文字を含む拡張数字モードを利用できます。  
英数字モードと拡張数字モードを切り替えるには、キーボードの左下隅にあるキーをタップします。



6 通話先が見つかったら、名前をタップし、緑色の [発信(Call)] ボタンをタップします。

連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

**[お気に入り (Favorites)]** これらの連絡先は自分で設定します。頻繁に通話する相手や、すばやく簡単に連絡を取りたい相手を指定します。

**[ディレクトリ (Directory)]** は通常、ビデオサポートチームがデバイスにインストールした社内ディレクトリです。

**[通話履歴(Recents)]** は、発信、受信、不在着信のリストです。

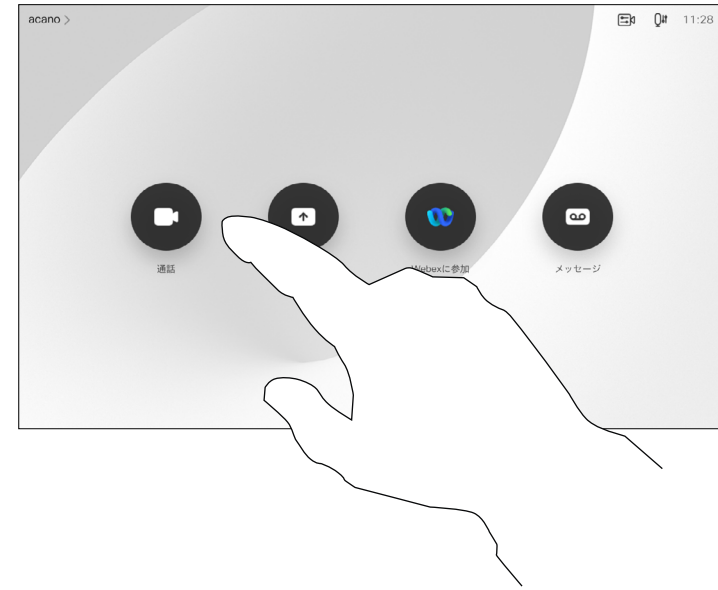
次のオプションが適用されます。

- ・ 名前、番号、または URL を入力すると、デバイスが自動的にすべてのリストを検索します。
- ・ [お気に入り (Favorites)] リストでは、エントリを追加したり、発信前にエントリの内容を編集したり、コールレートを変更したりできます。また、[通話履歴(Recents)] からエントリを削除することもできます。

# ビデオ通話: タッチコントローラ 発信前に連絡先を編集

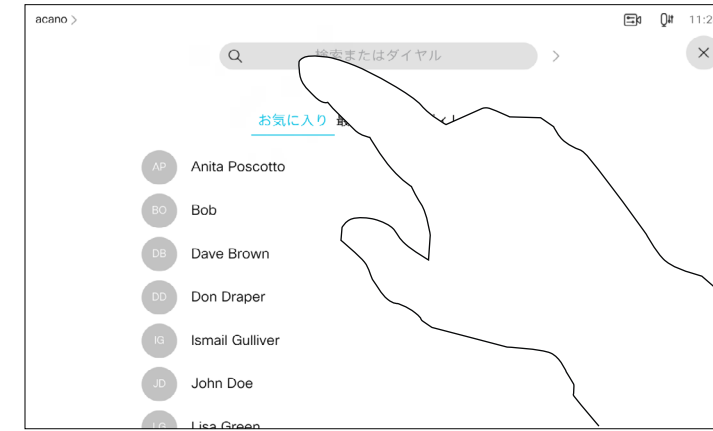
## エントリの編集について

1



[発信(Call)] ボタンをタップします。

2

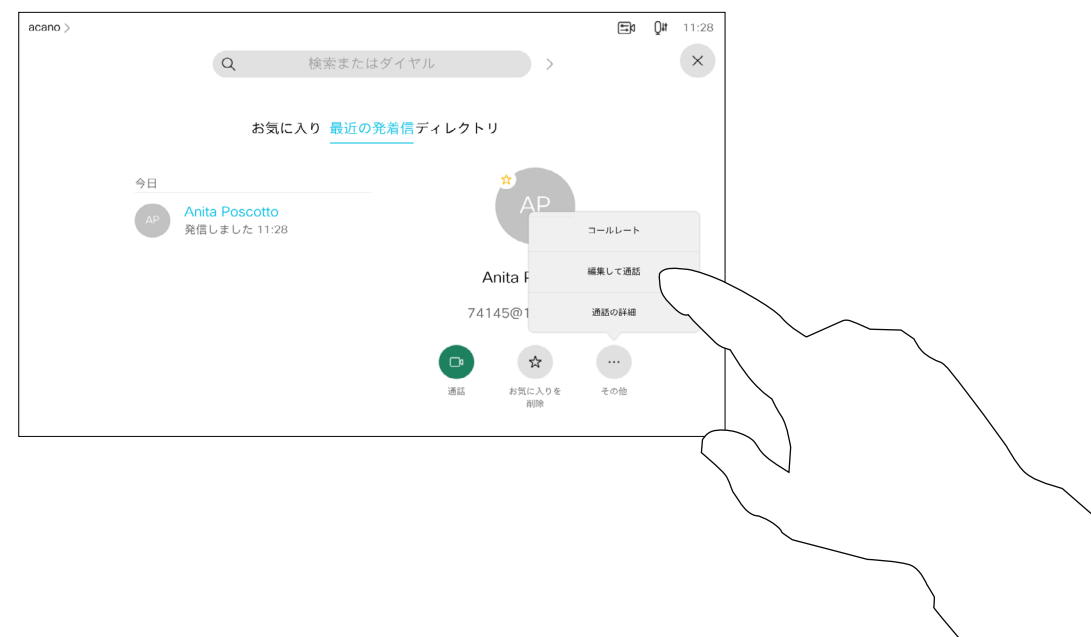


前のページに示すように、[検索またはダイヤル (Search or Dial)] フィールドをタップするか、いずれかのリストをスクロールします。

連絡先リストの入力方法については、前ページを参照してください。

発信する前に、[連絡先(Contact)] リストのいずれかのエントリを編集する必要があるかもしれません。正しく発信するために、プレフィックスやサフィックスを追加するか、またはエントリ自体を変更する必要がある場合があります。

3



見つけたエントリをタップすると、[発信(Call)] メニューが表示されます。図のように、[発信(Call)] メニューで、[詳細 (More)] > [編集して通話 (Edit and Call)] の順にタップします。

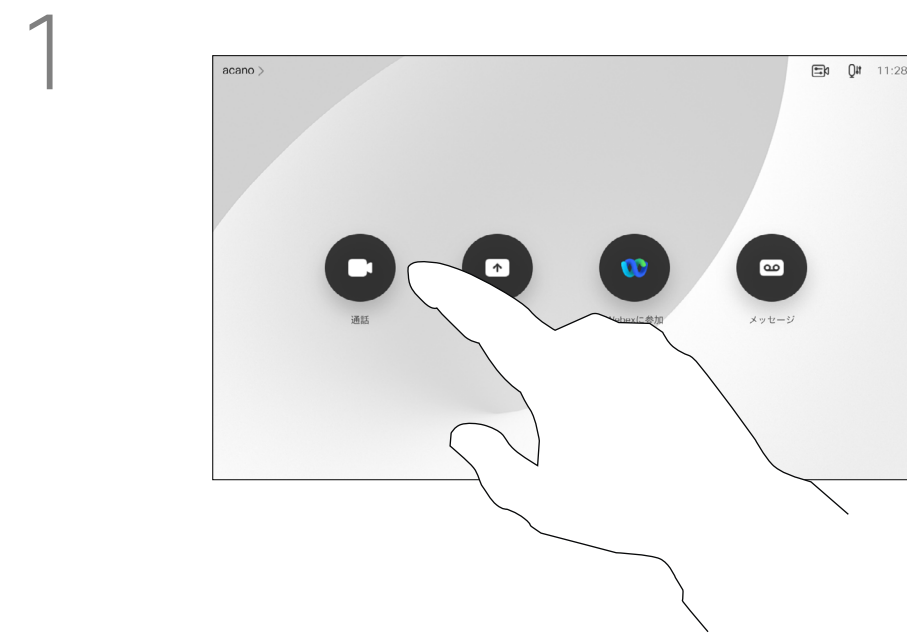
4



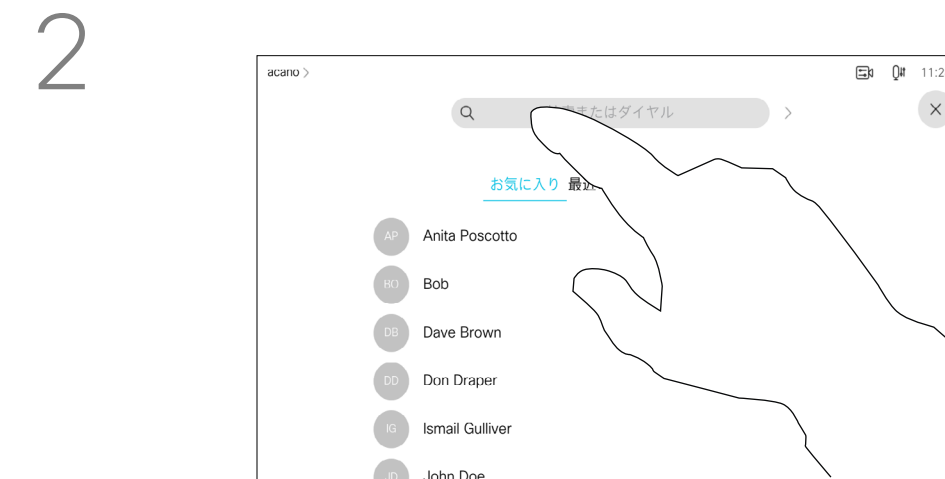
必要に応じて編集し、緑色の [発信(Call)] ボタンをタップして発信します。

# 名前、電話番号、またはアドレスを使用して発信

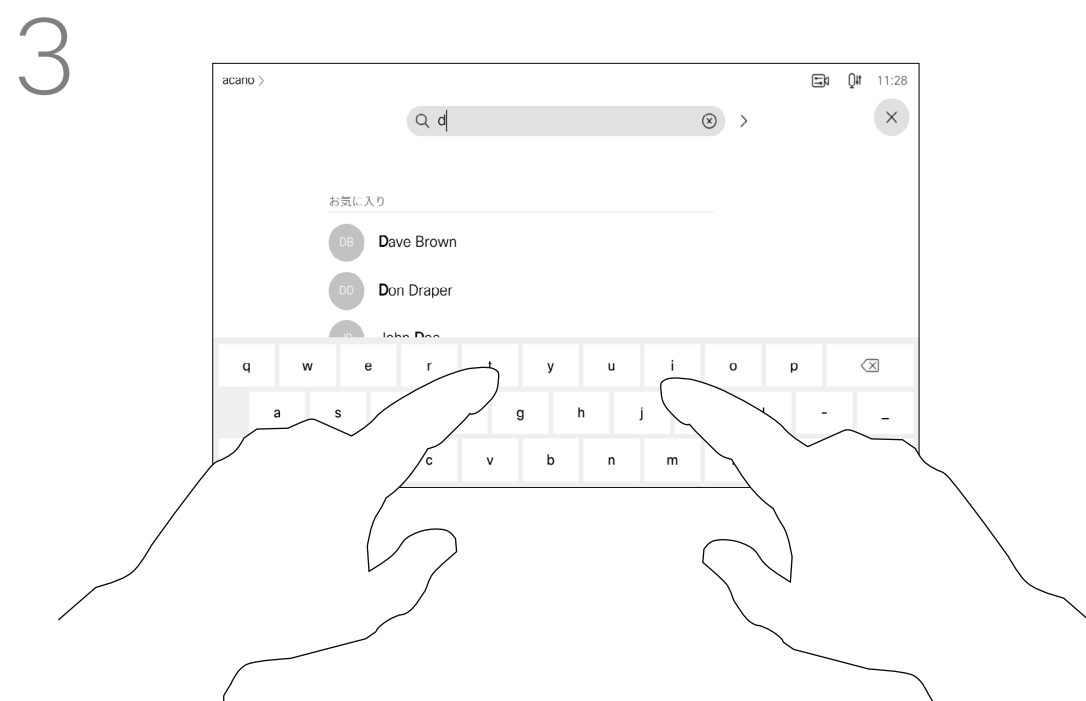
## 発信について



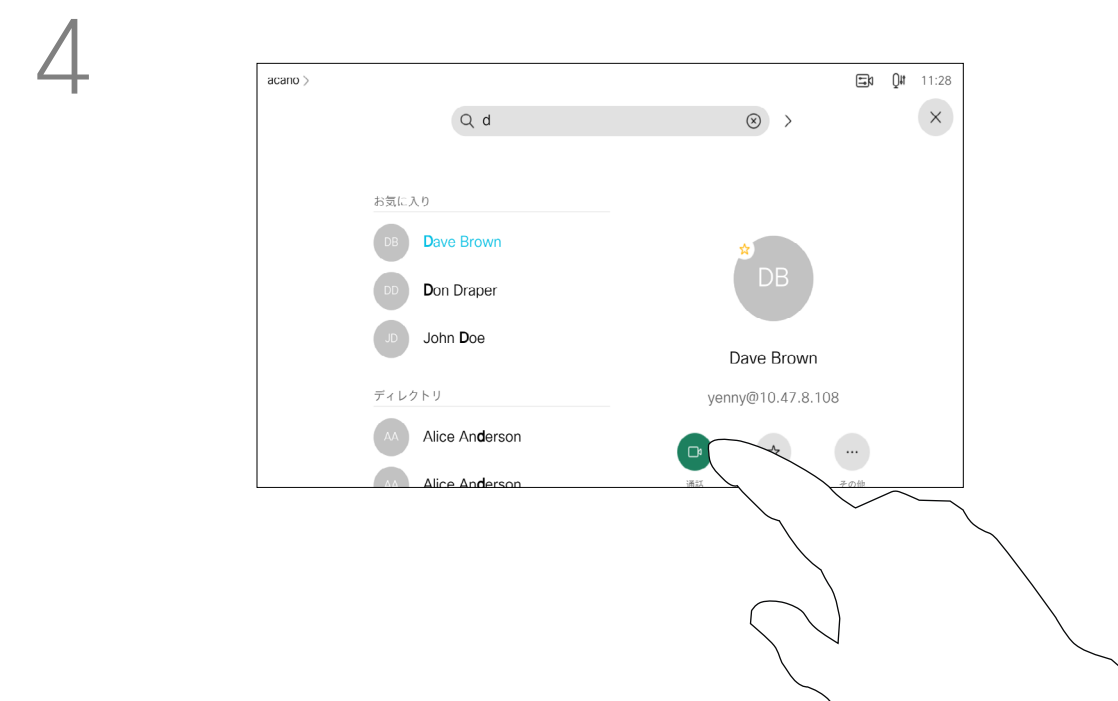
1 [発信(Call)] ボタンをタップします。



2 [検索またはダイヤル(Search or Dial)] フィールドをタップします。これにより、キーボードが開きます



3 名前、番号、またはアドレスを入力します。入力に合わせて、一致する可能性のある候補が表示されます。正確に一致するものがリストに表示されたら、タップします。表示されない場合は入力を続けます。



4 通話先を入力または特定できたら、名前をタップし、緑色の [発信(Call)] ボタンをタップして発信します。

連絡先のリストに載っていない相手に発信するには、タッチパッドの仮想キーボードを使用して名前、アドレス、または番号を入力します。

これまでの発信先と着信元は、[通話履歴(Recents)] リストに表示されます。そこから任意のエントリを [お気に入り(Favorites)] リストに転送できます。これについては、「連絡先」セクションで説明しています。

内線番号や暗証番号を入力する場合など、通話中に数字の入力が必要になることがあります。

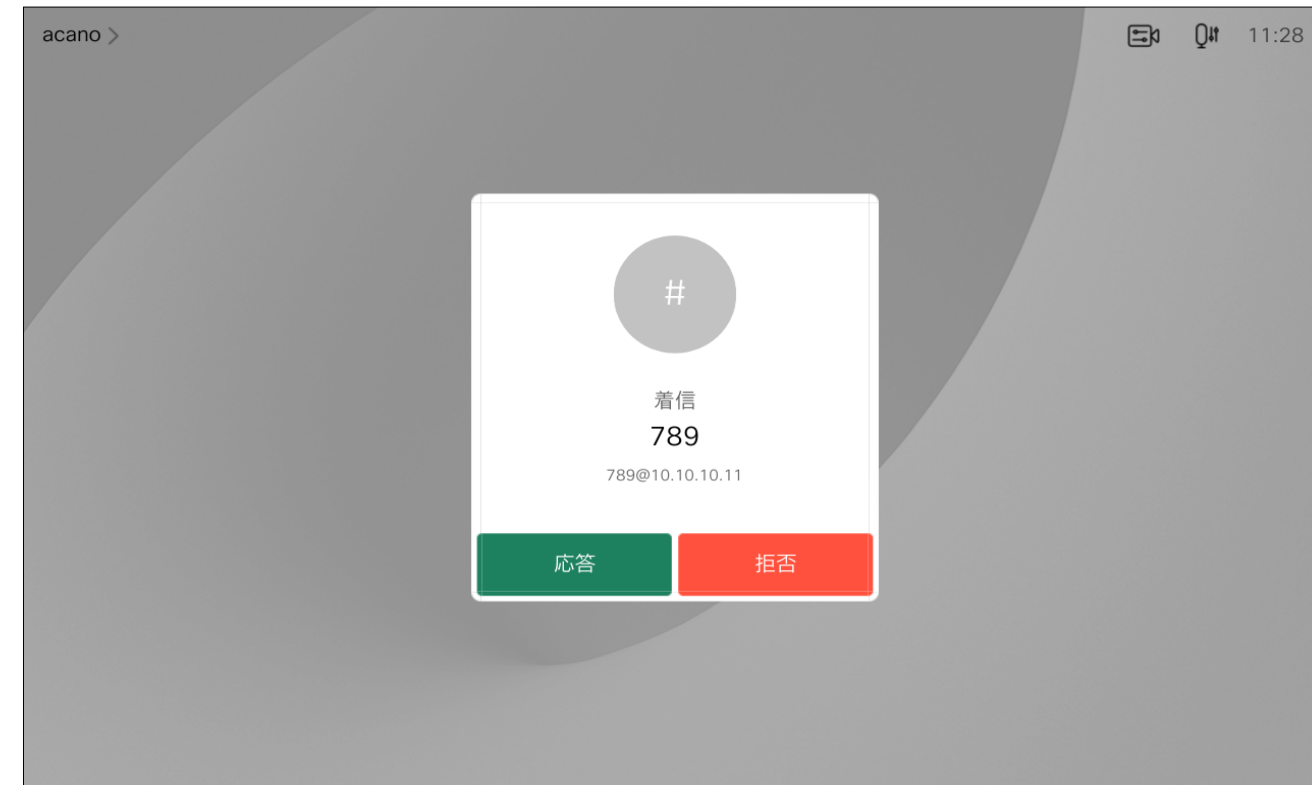
必要なキーパッドを開くには、発信するとすぐに表示される [トーン信号(Touch Tones)] ボタンをタップします。

[通話履歴(Recents)] をクリアできるのは Web インターフェイスからのみであることに注意してください。



# 通話の受信 — 非通話時の場合

## 着信があった場合



- ・ 着信があった場合、通話に応答、拒否、または無視できます。
- ・ 通話を拒否した場合、通話中である旨が発信者に送信されます。
- ・ 通話を無視すると、発信者は相手が不在である（電話を取らなかった）と認識します。
- ・ ビデオインフラストラクチャによっては、複数の着信通話を受信できます。必要に応じて、貴社のビデオサポートチームにお問い合わせください。

着信通話は、応答または拒否できます。

デバイスで複数の着信コールを受信できる場合は、すべてを追加するか、すべてを拒否するかを選択できます。

ビデオ通話: タッチコントローラ  
**通話中に別の通話を受信**

着信があった場合

特定の状況下では、通話中に別の着信に対応することができます。



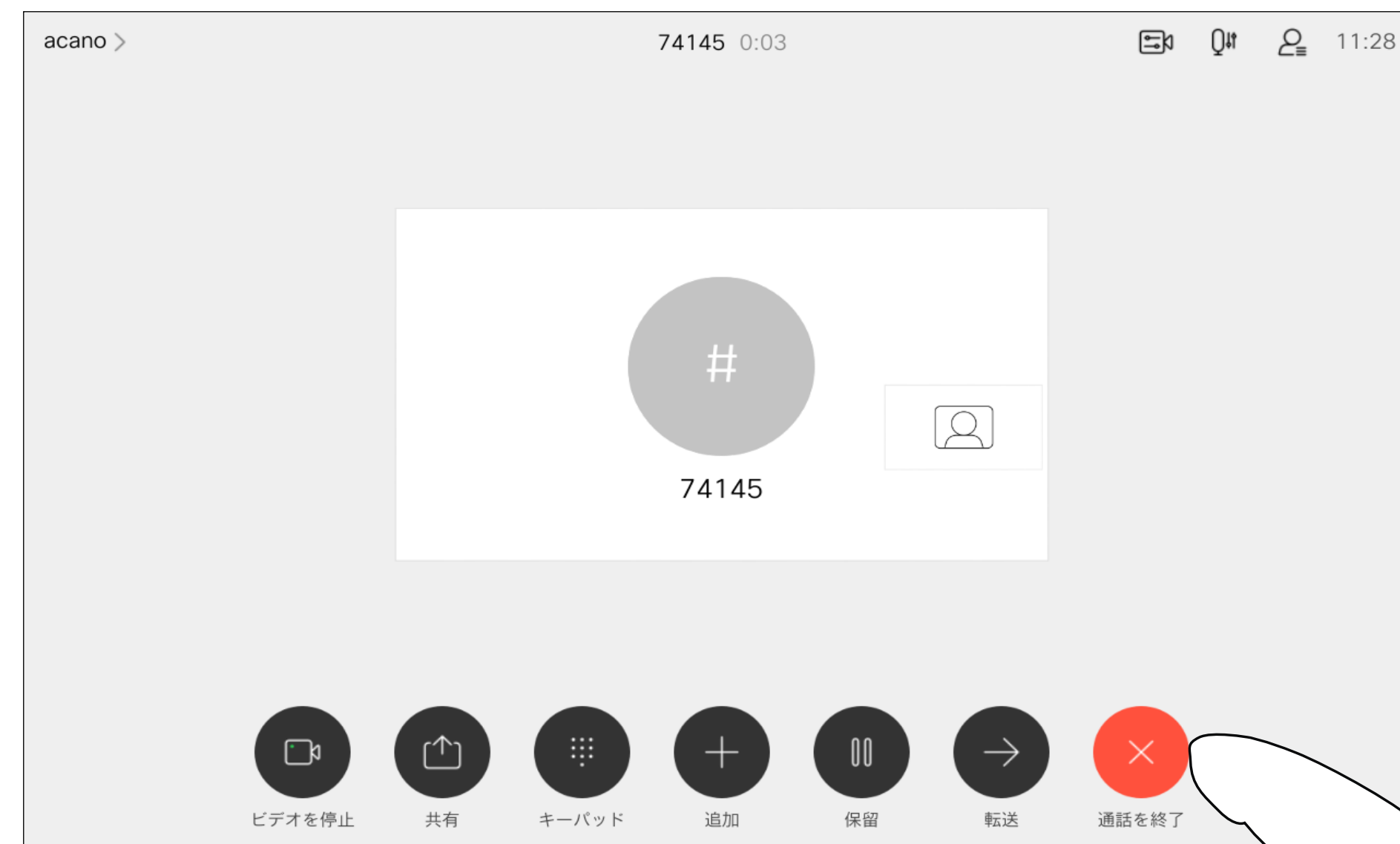
ビデオ通話: タッチコントローラ  
**通話を切断**

## 切断について

通話中に [通話終了 (End Call)] をタップすると、デバイスが通話から切断されます。2 者間通話では、これで通話が終了します。

複数の参加者がいる会議で、自分が通常の参加者である場合は、[通話終了 (End Call)] をタップすると、自分だけが会議から退室します。

ただし、自分がこの会議のホストである場合に、[通話終了 (End Call)] をタップすると、会議の種類によっては、会議全体が終了することがあります。

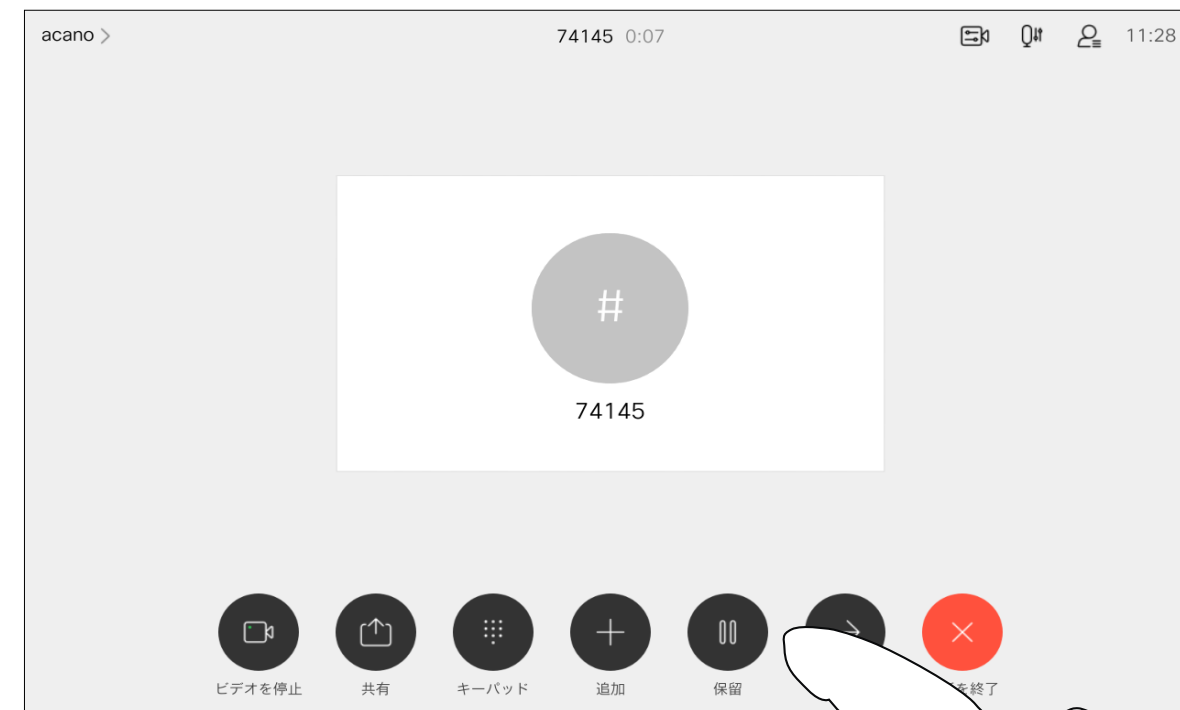


自分だけ会議から退室する場合は、[通話終了 (End Call)] をタップします。

# ビデオ通話: タッチコントローラ 通話の保留および通話の再開

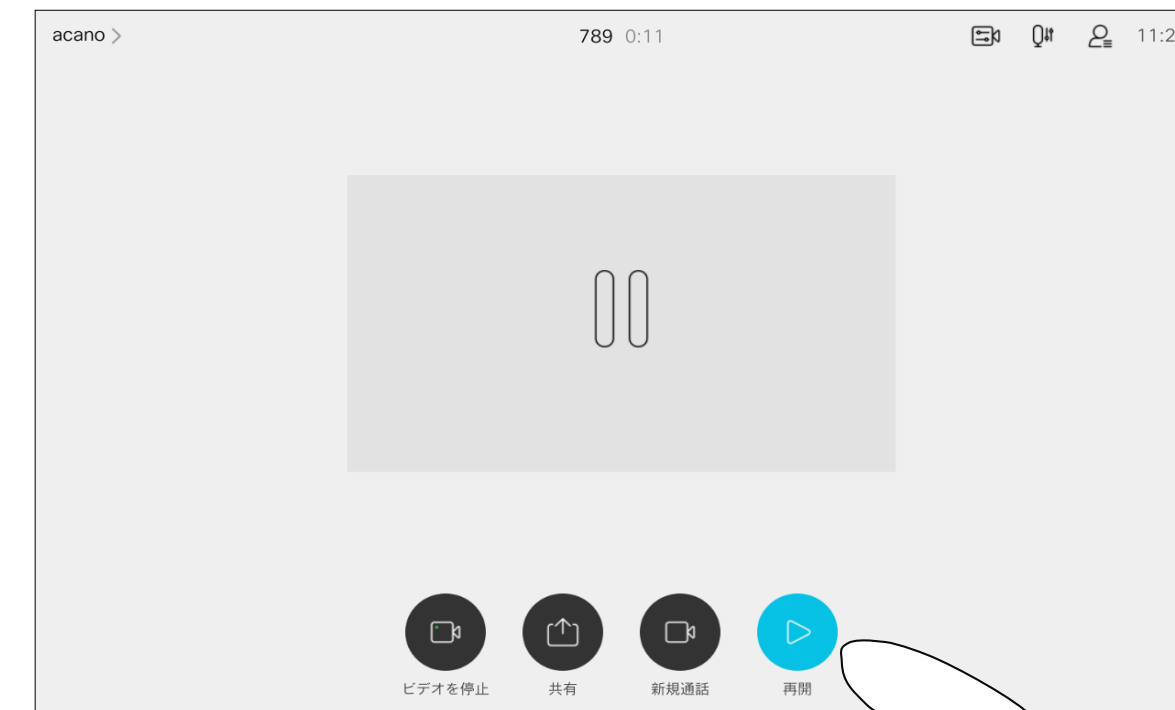
## 保留について

1



通話状態であるとして、[保留(Hold)]  
をタップします。

2



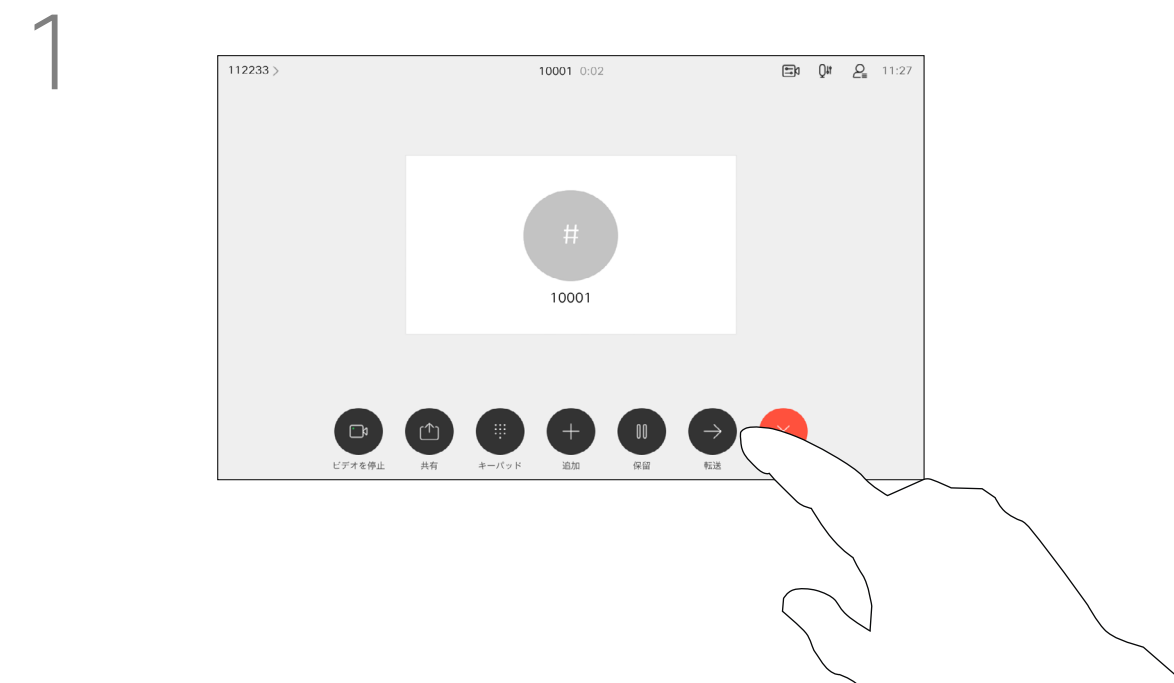
[再開(Resume)] をタップして、通話状  
態にあった相手に戻ります(元の操作  
に戻ります)。

応答中の通話を保留にすることは、通常、別の人に転送する際の最初のステップとして実行します。また、人に相談する必要がある場合や、ビデオ送信を停止する場合のミュート代わりに使用することもできます。

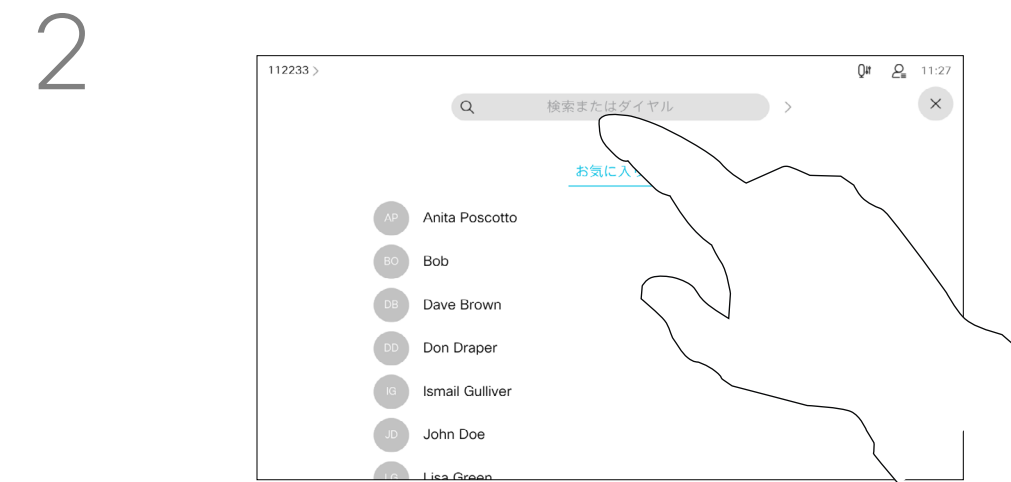
# ビデオ通話: タッチコントローラ 通話中の通話を転送

## 転送について

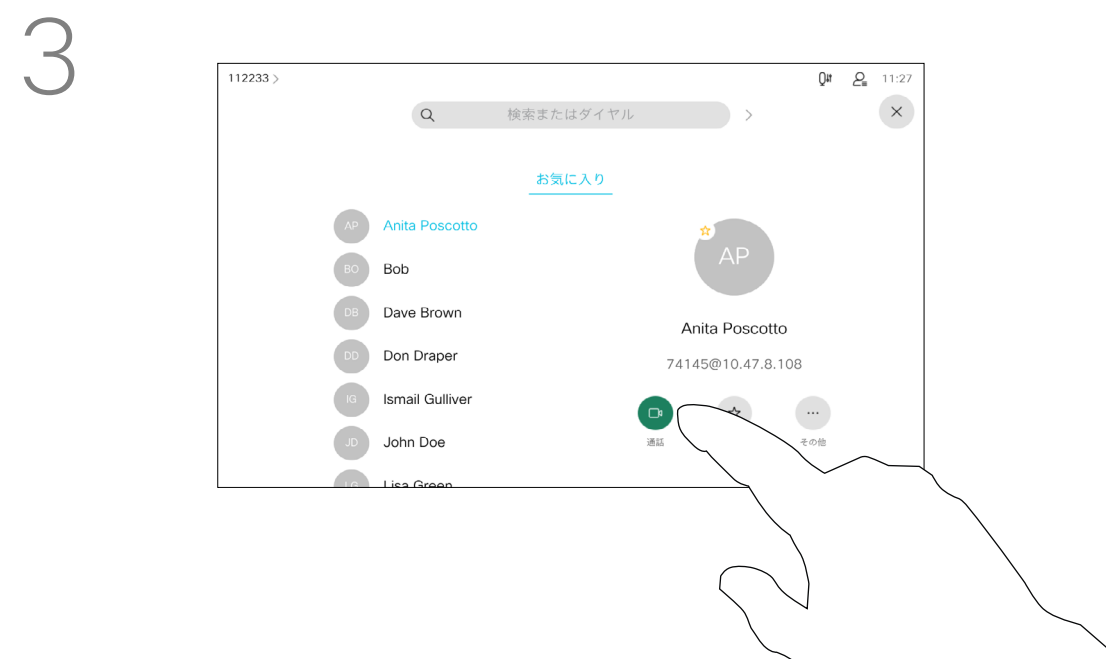
対応中の通話を別の人に転送することができます。転送時には常に相談が可能です。実際に通話を転送する前に転送先の人と話することができます。



1 [転送 (Transfer) ] ボタンをタップします。現在の通話が保留になります。



2 いつもと同じ方法で、発信先を探します。



3 緑色の [発信 (Call) ] ボタンをタップします。発信先の相手と話して、転送してよいかどうかを確認します。転送される側は、保留のままになっています。

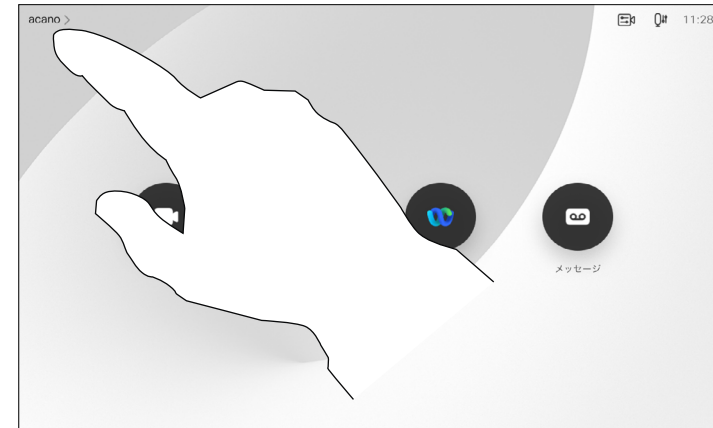


4 [転送完了 (Complete Transfer)] をタップします。

# ビデオ通話: タッチコントローラ 応答不可を有効化

## 応答不可について

1



図のように左上隅をタップします。

2



図のように [応答不可 (Do not Disturb)] をタップします。この機能を非アクティブにするには、同じ手順を繰り返します。

着信コールに応答しないようにデバイスを設定することができます。この機能を有効化したまま、他のユーザーへ発信することが可能です。

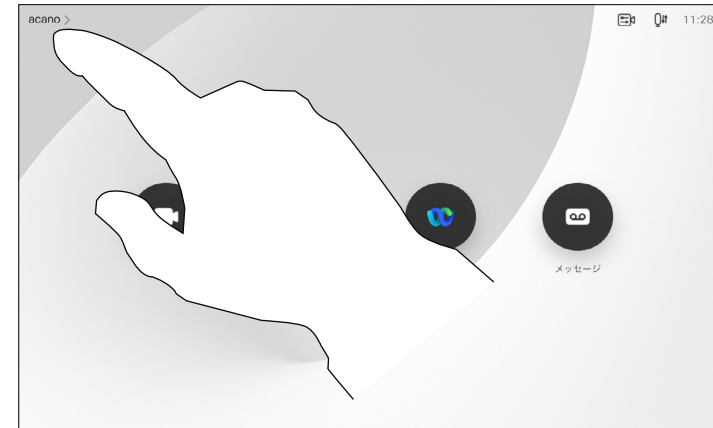
この機能には、ビデオサポートチームによってタイムアウトが設定されている場合があります。タイムアウト後、デバイスは通常どおり着信通話に応答するようになります。デフォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

ビデオサポートチームによって、表示されるメニューやオプションへのアクセスが無効にされている場合があります。

# ビデオ通話: タッチコントローラ すべての通話を自動転送

## 通話転送について

1



図のように左上隅をタップします。

2



これで指定した受信者、または自分のボイスメールに、すべての通話を転送することができます。

ビデオ サポート チームが、受信したすべての通話を転送するオプションを有効にしている場合があります。ボイスメールまたは指名した受信者を選択できます。

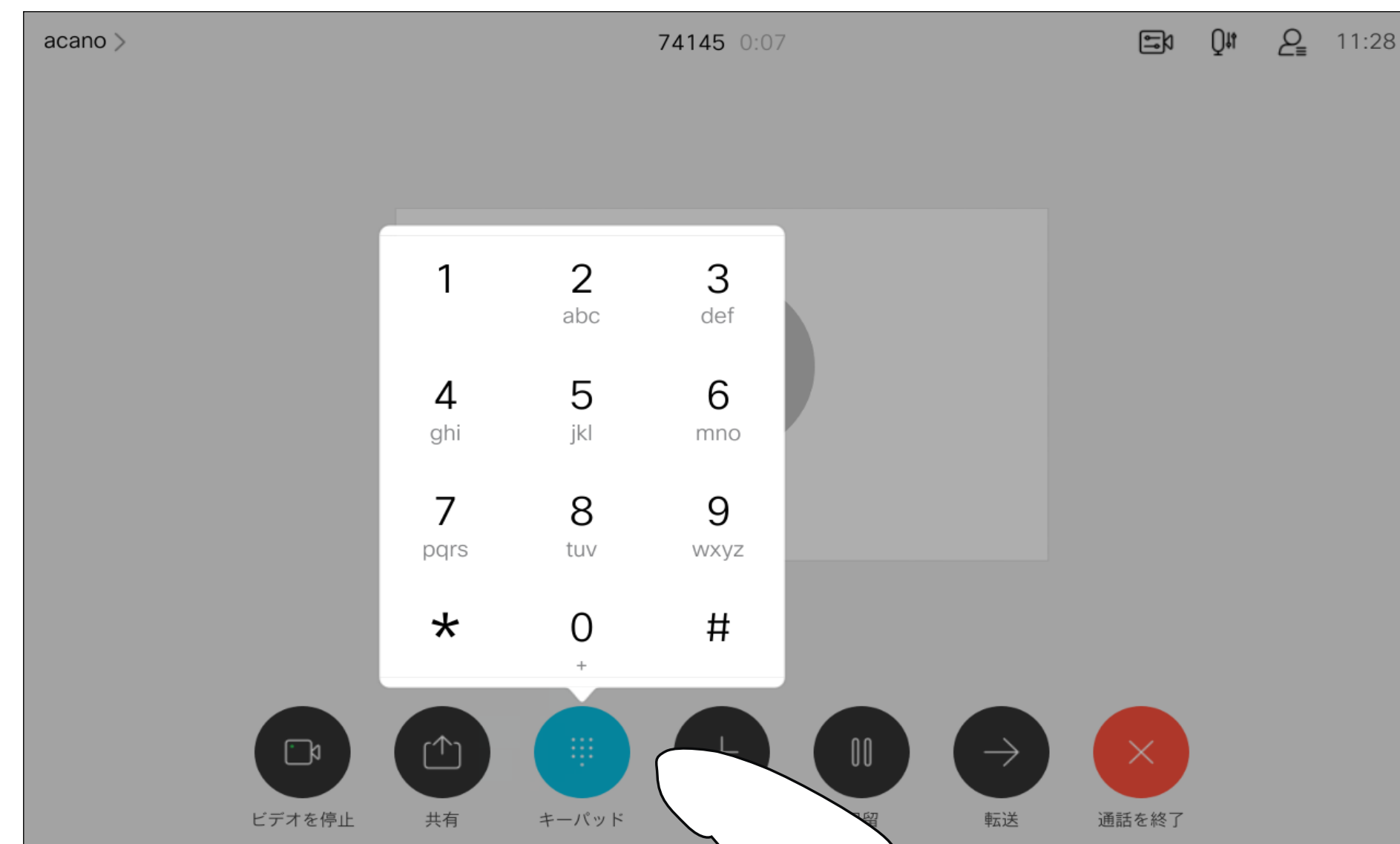
[すべての通話を転送 (Forward all calls)] をタップすると、いつもの [発信 (Call)] メニューが表示され、通話受信者を指定できます。

ビデオサポートチームによって、表示されるメニューやオプションへのアクセスが無効にされている場合があります。

ビデオ通話: タッチコントローラ  
**通話中にキーパッドを表示**

**通話中のキーパッドの使用**

通話中、内線にかけるために、または何か(暗証番号など)を入力するためにダイヤル操作が要求されることがあります。これを入力するには、タッチスクリーンにキーパッドを呼び出す必要があります。



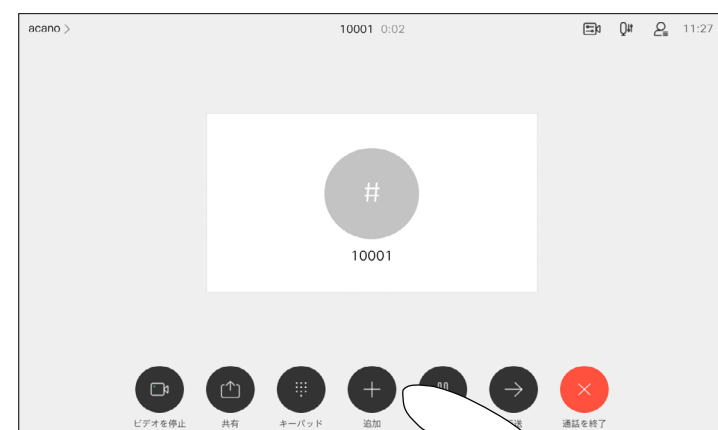
通話中に [キーパッド (Keypad) ] をタップすると、ダイヤルパッドが呼び出されます。



# ビデオ通話: タッチコントローラ 既存通話に参加者を追加

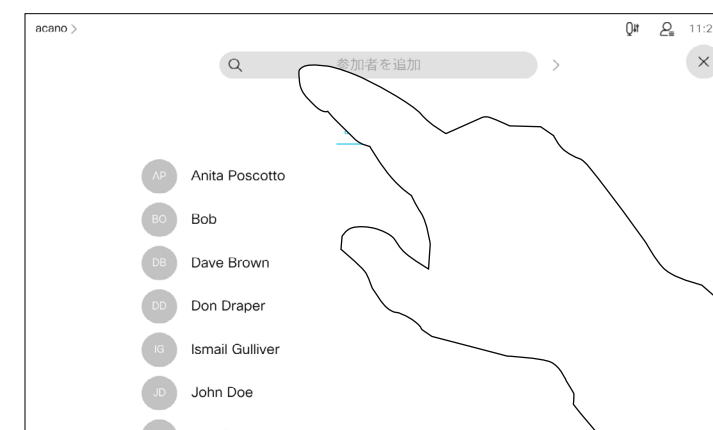
## ビデオ会議について

1



すでに通話状態であるとして、この通話は、自分または他の誰か(通話相手)が発信しています。[追加(Add)] をタップします。

2



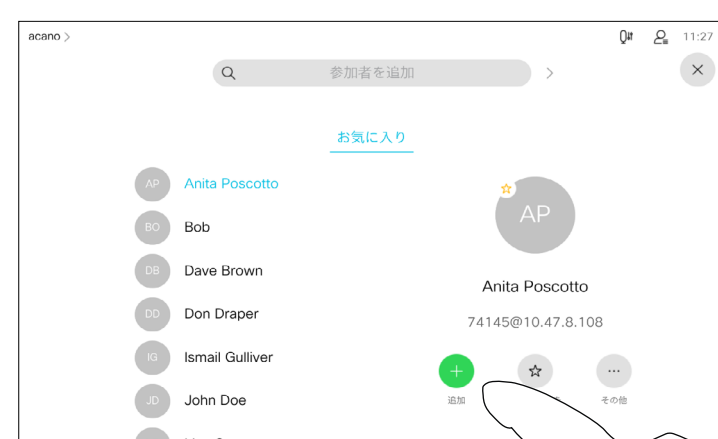
通常の方法で、発信先を探します。

ネットワークには、複数の参加者とビデオ会議を開始する機能が装備されている場合があります。

お使いのデバイスが対応できる最大参加者数は、構成とビデオインフラストラクチャによって異なります。これを確認するには、ビデオ サポート チームへお問い合わせください。

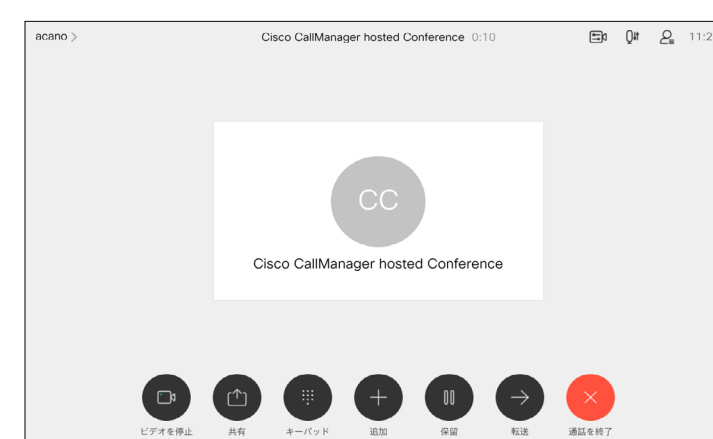
ビデオ会議を開始する場合は、参加者に一人ずつコールする必要があります。

3



通常の方法で発信します。

4

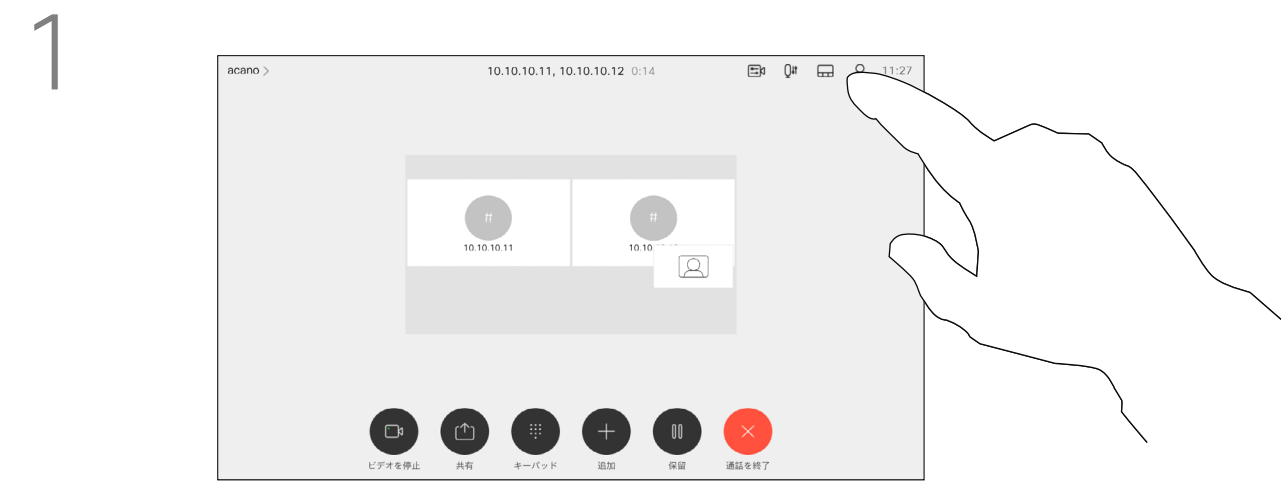


新規通話が既存通話に追加されると、会議が確立されます。

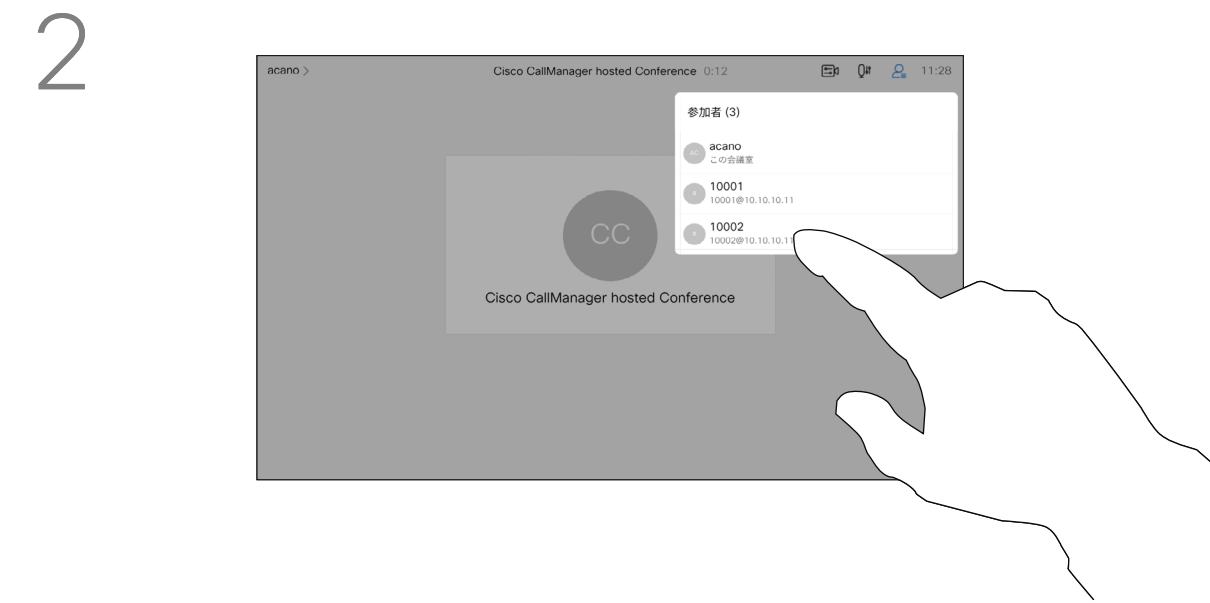
ビデオ インフラストラクチャで許可されている範囲でこの手順を繰り返し、参加者を増やします。

# ビデオ通話: タッチコントローラ 会議から参加者を切断

## ビデオ会議について



通話中、図のように、右上隅の【参加者 (Participants)】アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



会議から切断する参加者をタップします。

ビデオデバイスからビデオ会議を実行する機能はオプションであり、デバイスによっては使用できない場合があります。

会議から他の参加者を切断するには、会議のホストである必要があります。

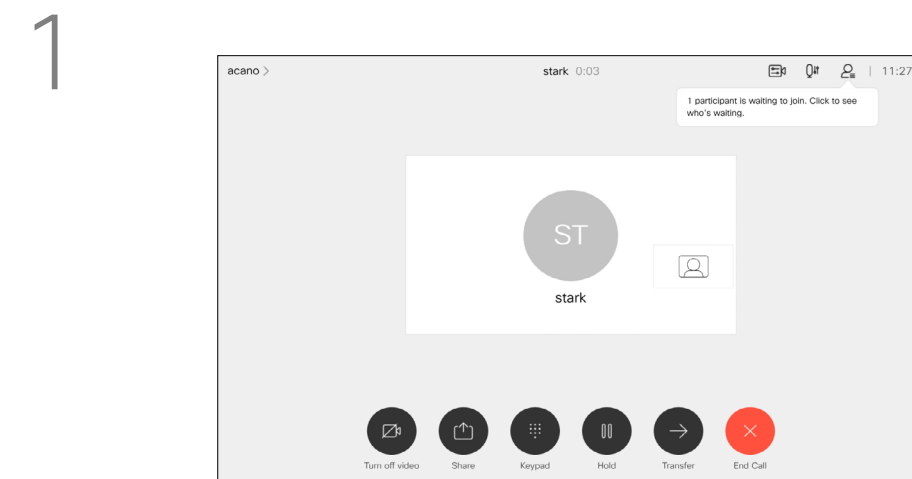


【通話から削除 (Remove from call)】をタップします。

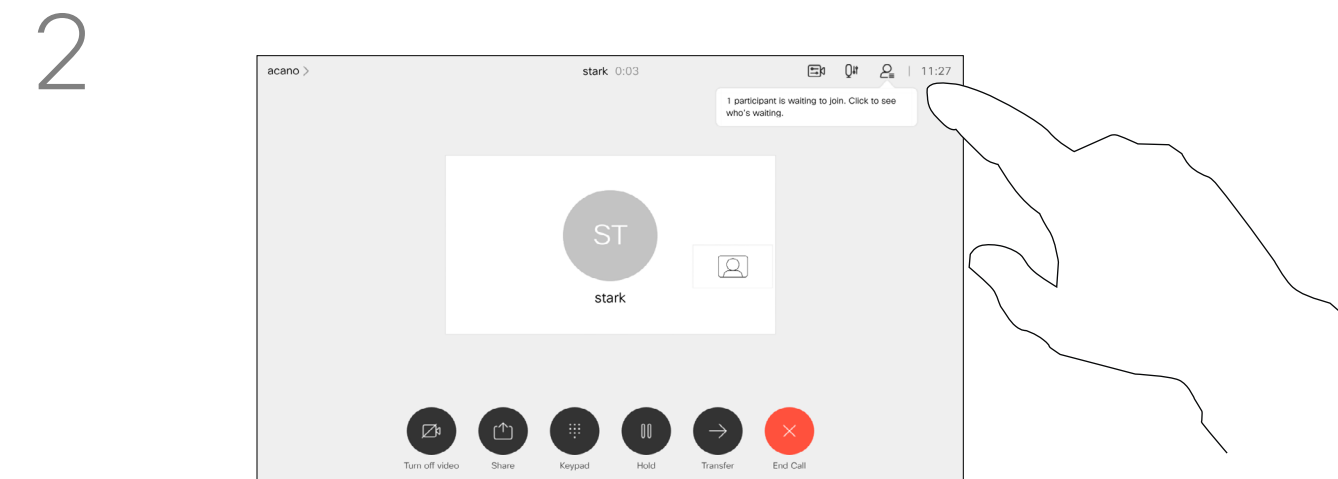
# ビデオ通話: タッチコントローラ 出席者の会議への参加を許可

## 参加者の参加について

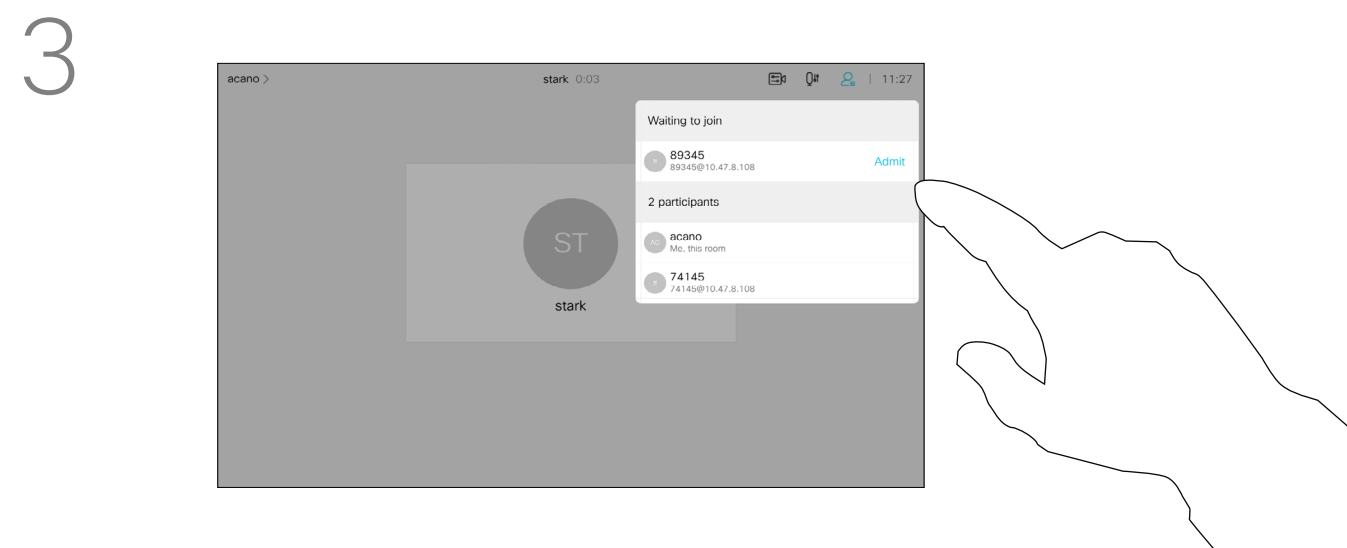
ロックされている CMS 会議では、参加者を参加者リストから会議に参加させることができます。



誰かがロビーで待っていると、画面にメッセージが表示されます。



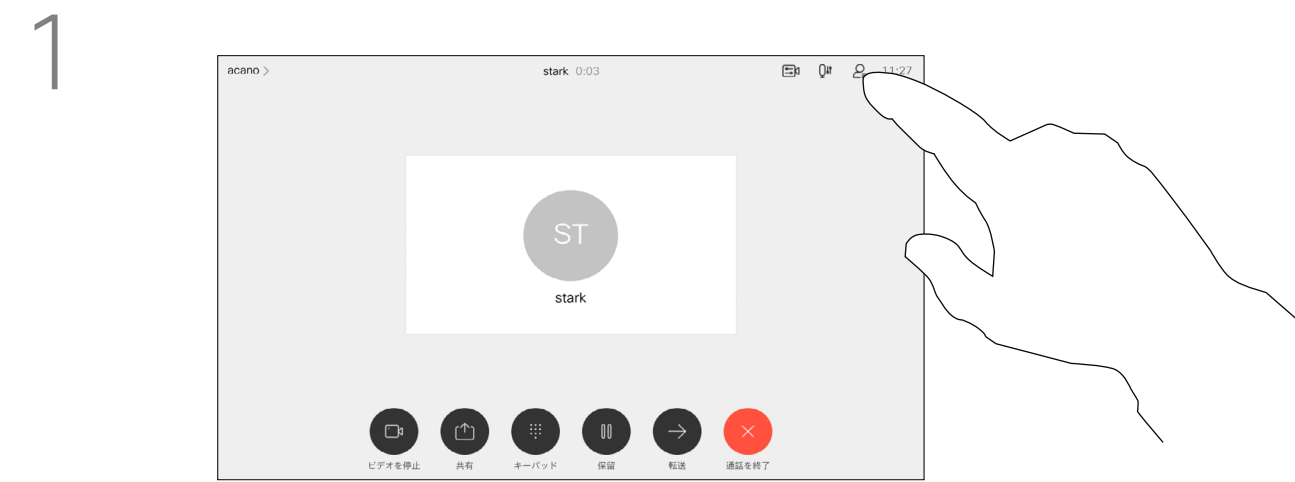
[参加者リスト (Participant list) ]  
アイコンをタップします。



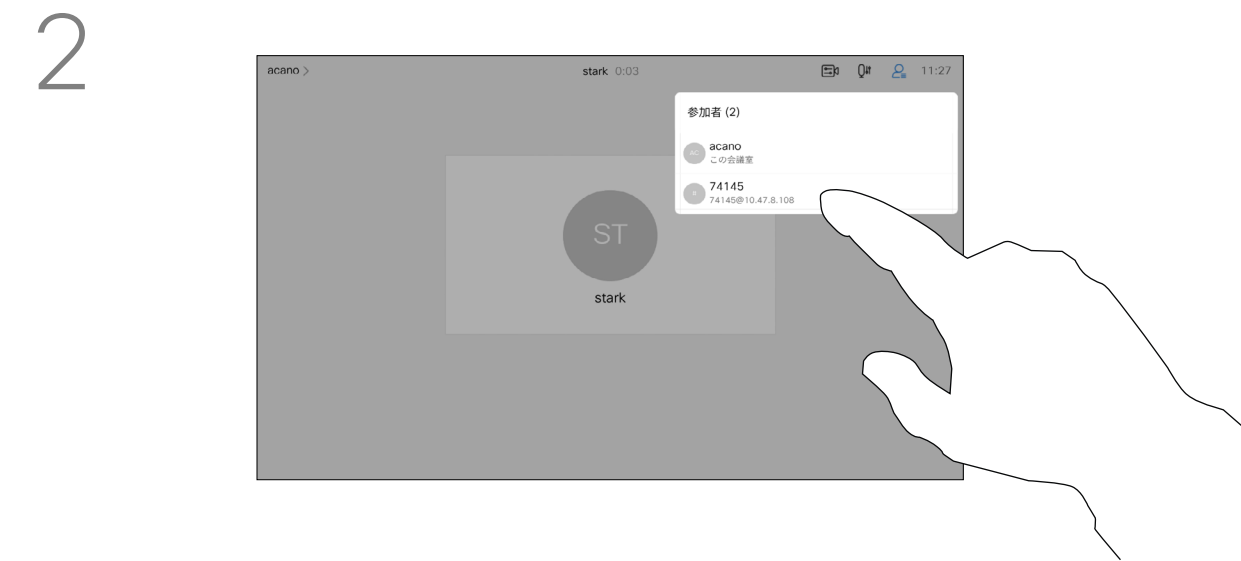
[参加 (Admit) ] をタップして、参加者を会議に参加させます。

# ビデオ通話: タッチコントローラ 会議中に発言者をピン留め

## 発言者のピン留めについて



1 通話中、図のように、右上隅の [参加者 (Participants) ] アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



2 ピン留めする参加者をタップします。

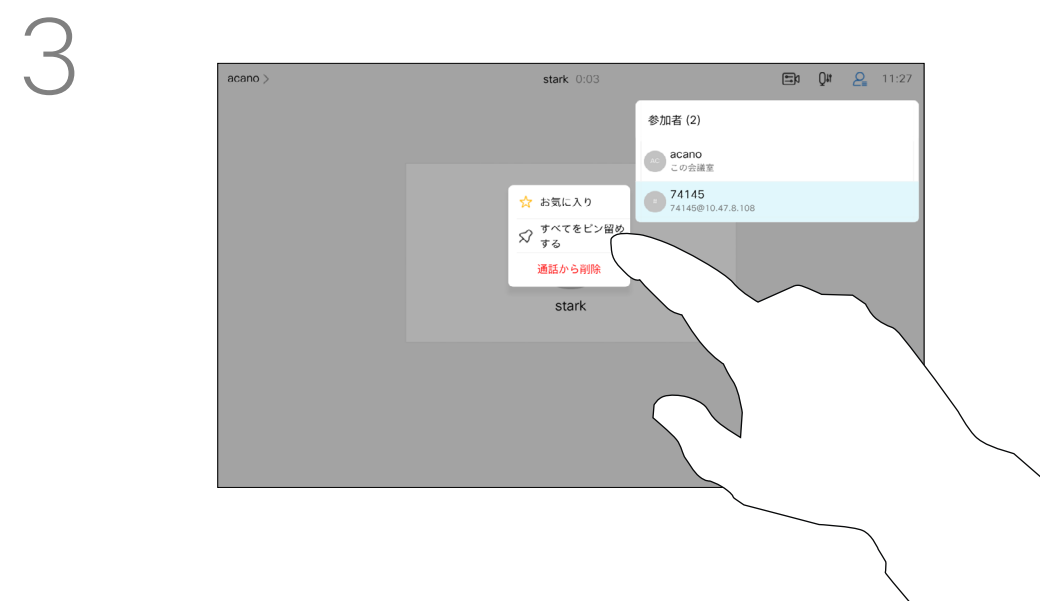
CMS 会議では、すべての会議参加者に対して、特定の重要人物を画面上に固定することができます。このように、参加者または会議室は、アクティブな発言者でなくても全員の画面に表示されます。

発言者をピン留めすると、画面にピン留めされたという通知が表示されます。同様に、ピン留めを解除すると、ピン留めが解除されたという通知が表示されます。

音声のみの参加者をピン留めしてもレイアウトには影響しません。

デフォルトでは、主催者のみがすべてをピン留めできますが、会議の主催者は会議の設定でこれを変更できます。

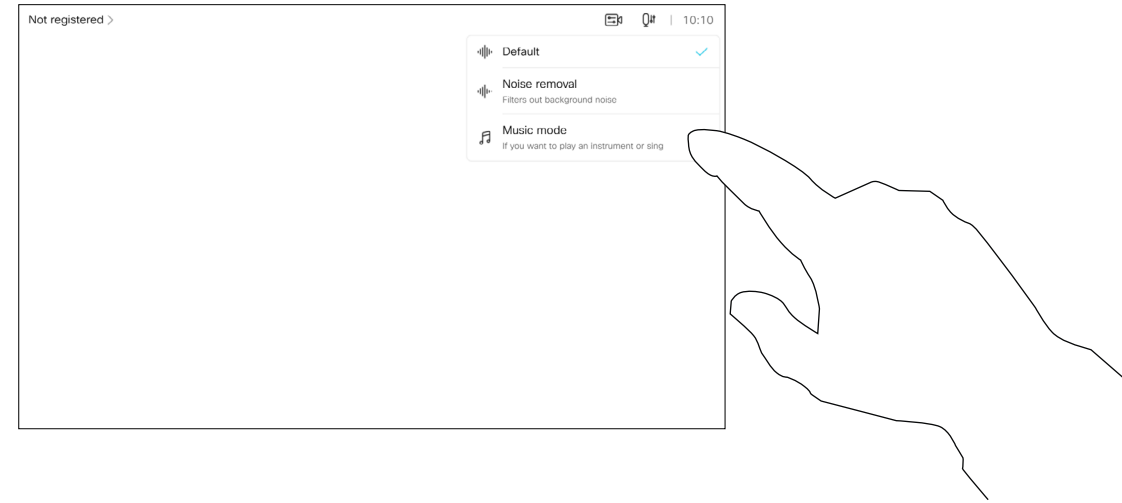
CMS 会議でのみ、会議全体をとおして発言者をピン留めすることができます。



3 [すべてをピン留め (Pin for all) ] をタップします。

## ビデオ通話: タッチコントローラ ミュージックモードの使用

1



ホーム画面のマイクアイコンをタップし、[ミュージックモード (Music mode)] を選択します。  
ミュージックモードをオフにするには、[デフォルト (Default)] ボタンを再度選択します。

ミュージックモードを使用すると、通話中にダイナミックレンジの音楽を再生できます。これにより、音楽のニュアンスを聞くことが重要な設定でのエクスペリエンスが向上します。

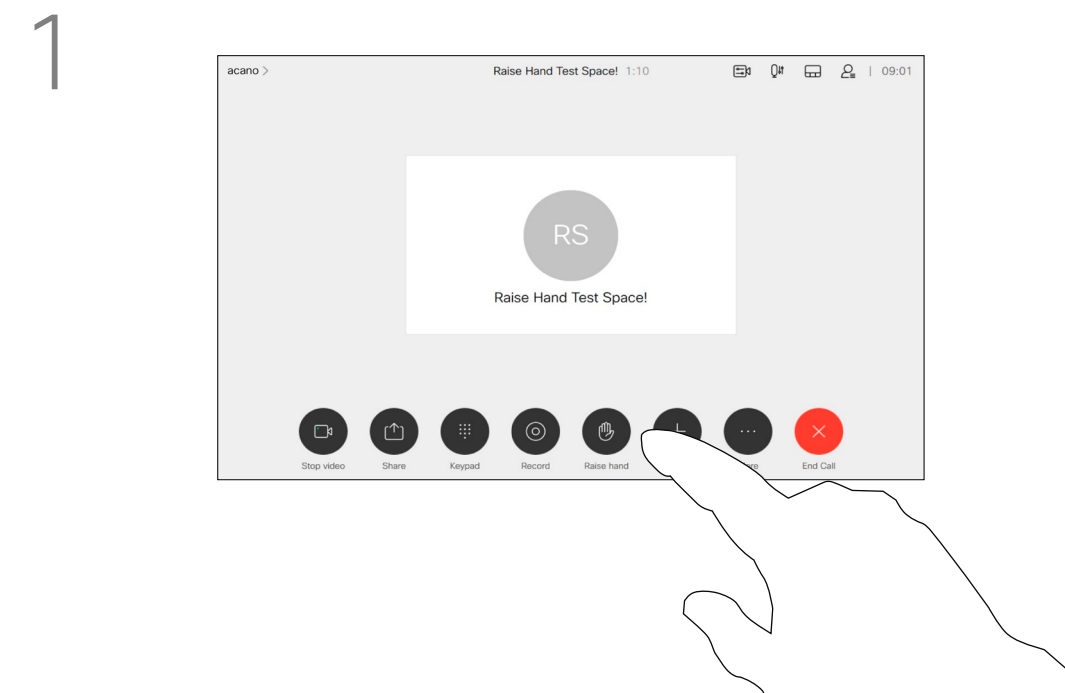
ミュージックモードは、音楽のリモートレッスンや楽器のテスト、およびすべての範囲の音楽を聞くことが重要な場合に便利です。デバイスは依然として、エコーキャンセレーションと環境背景雑音のリダクション機能を使用して、パフォーマンスを損なうことなく外部装置を使用する必要を回避しています。

ミュージックモードが使用されていない場合、デバイスは追加のノイズを除去し、サウンドレベルの変動を低減します。これは会議の設定に対応し、気が散るノイズを減らすのに役立ちます。追加のフィルタ処理は、録音した音楽をデバイスで再生する場合にも有効です。

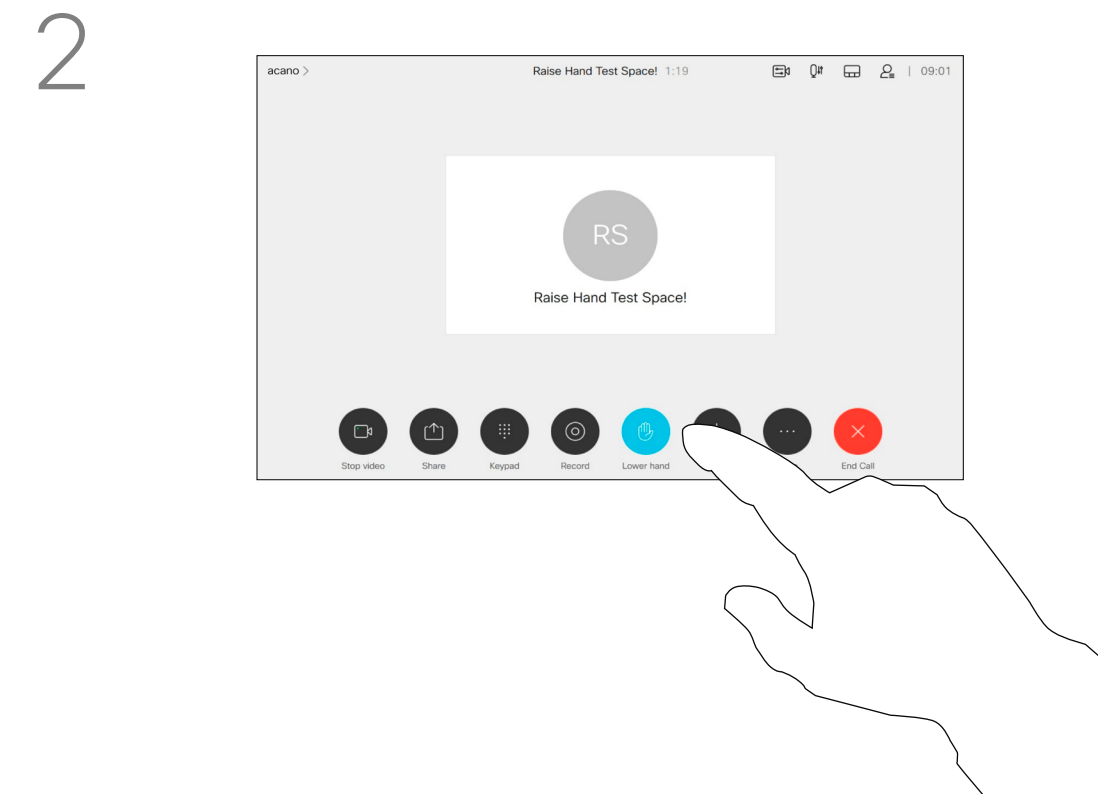
ミュージックモードを使用するには、まずデバイスでミュージックモードを有効にする必要があります。ホーム画面の左上隅にあるデバイス名を選択して、[設定 (Settings)] > [ミュージックモード (Music mode)] の順に選択します。

# ビデオ コール 会議中に挙手

## 挙手について



会議中に、[挙手 (Raise Hand) ] ボタンをタップします。



再度、[挙手 (Raise Hand) ] ボタンを選択すると、挙手を解除することができます。これにより、名前の横にある参加者リストからアイコンも削除されます。

[挙手(Raise Hand)] ボタンを使用すると、会話を中断することなく、質問やコメントがあることを他のユーザーに通知できます。

会議の主催者と他のユーザーの両方の画面に、誰かが手を挙げたという通知が表示されます。フルネームの通知は、挙手順に表示されます。

その後、[挙手(Raise Hand)] アイコンは、挙手人数を表示します。

[挙手(Raise Hand)] アイコンをタップすると、参加者リストが開き、挙手した人を確認できます。参加者リストを開き、挙手した参加者を確認します。リストの一番上に時系列順に表示されるため、誰が最初に手を挙げたかを簡単に確認できます。

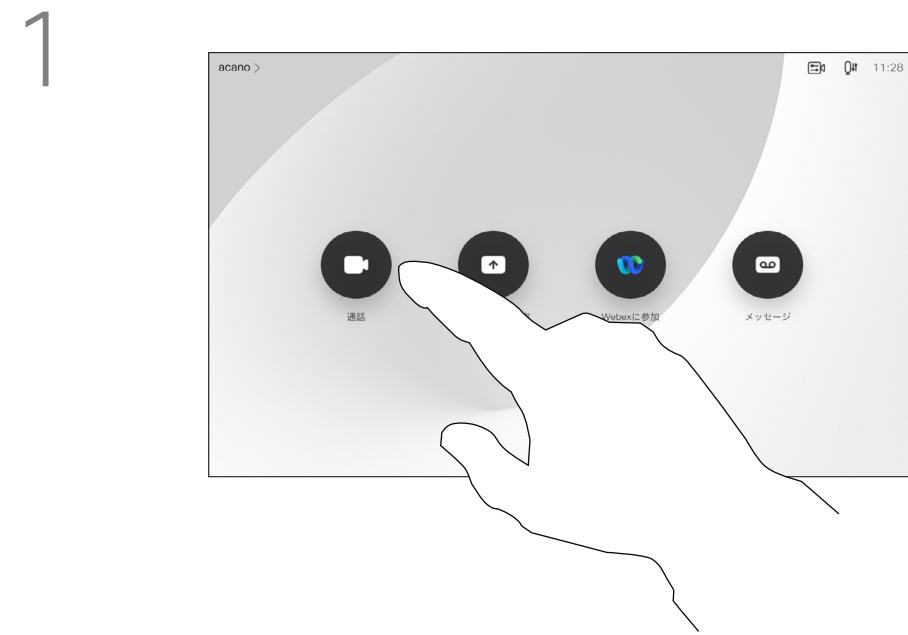
挙手機能は、2名以上の参加者がいる会議でのみ利用できます。

挙手機能は CMS 会議で利用できます。

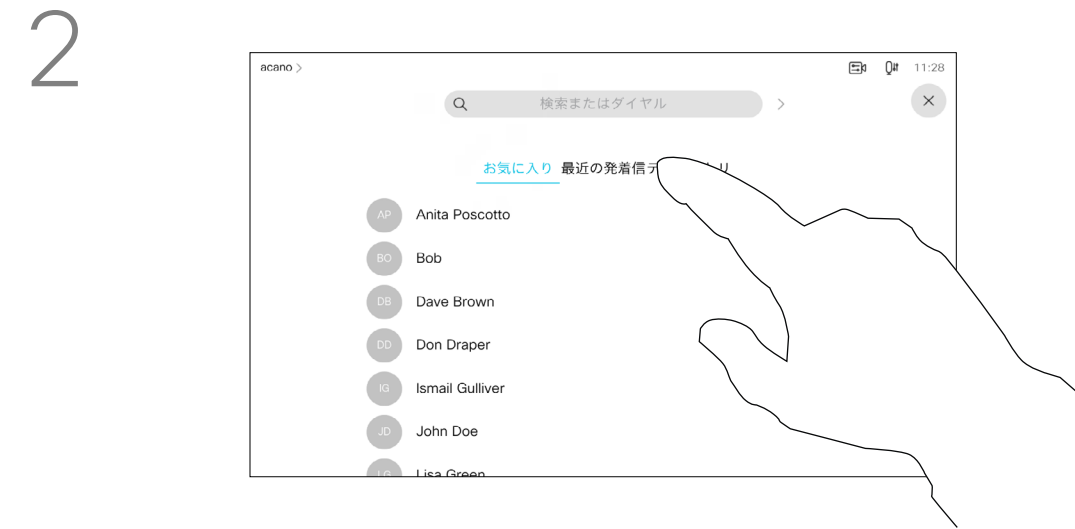
# ビデオ通話: タッチコントローラ 最近の発着信から通話詳細を確認

## 通話詳細について

最近の通話をトラブルシューティングする場合、最近の通話リストから通話詳細を検索できます。



1 [発信(Call)] ボタンをタップします。



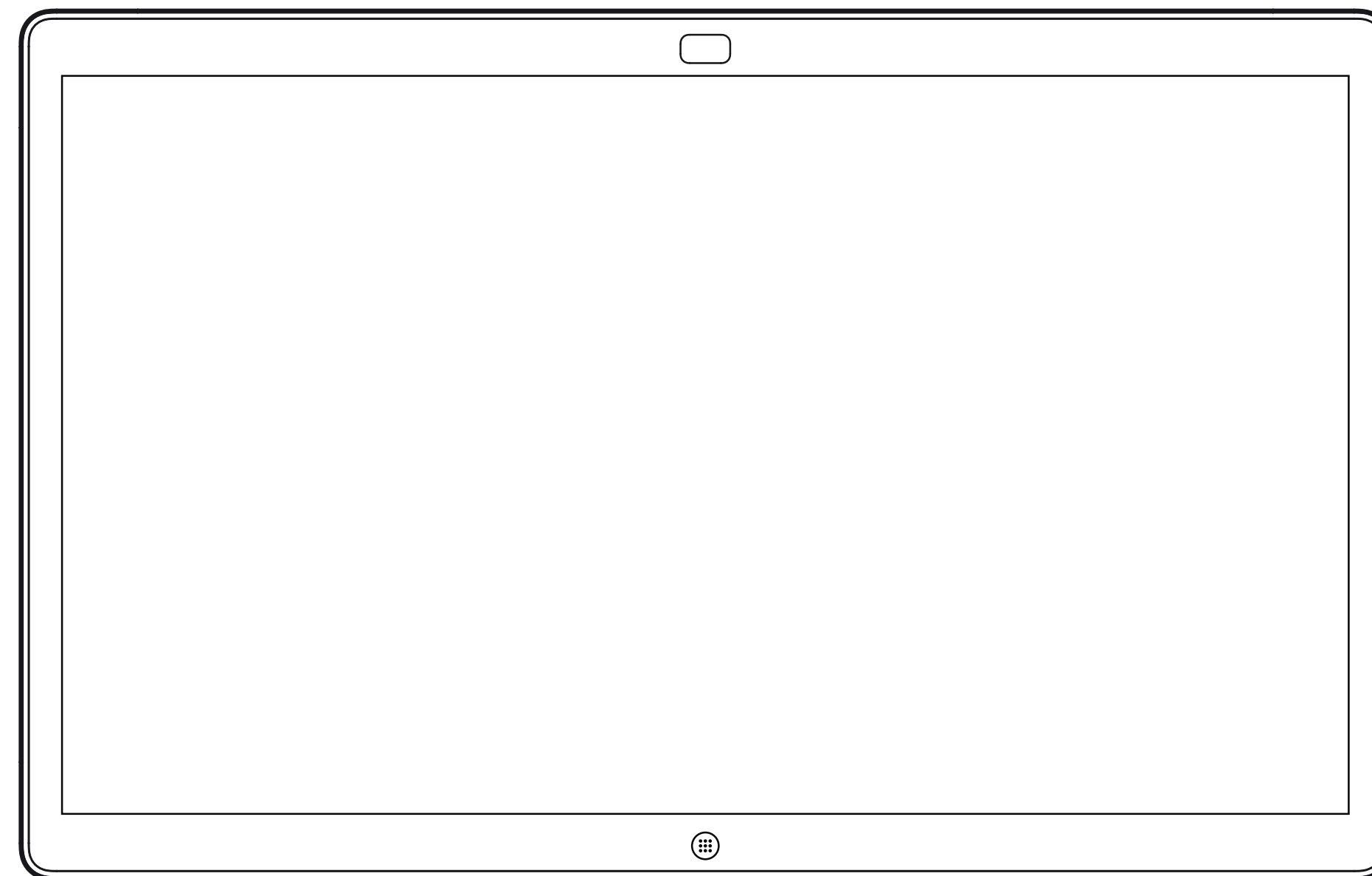
2 [通話履歴 (Recents)] をタップし、スクロールして情報が必要な通話を検索します。



3 見つけたエントリをタップすると、[発信(Call)] メニューが表示されます。図のように [通話(Call)] メニューで、[詳細 (More)] > [通話詳細 (Call Details)] の順にタップします。



4 [通話情報(Call Information)] ペインをスクロールして、必要な情報を検索します。  
[×] をタップして、ペインを閉じます。



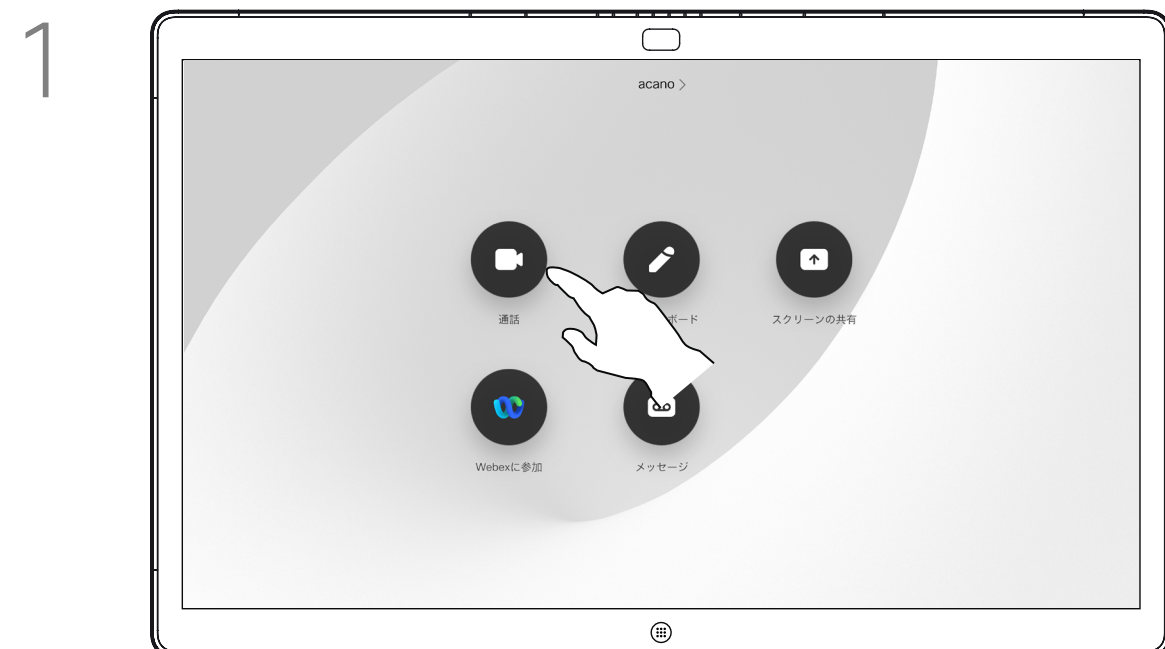
Webex Board

# Webex Board を使用したビデオ通話

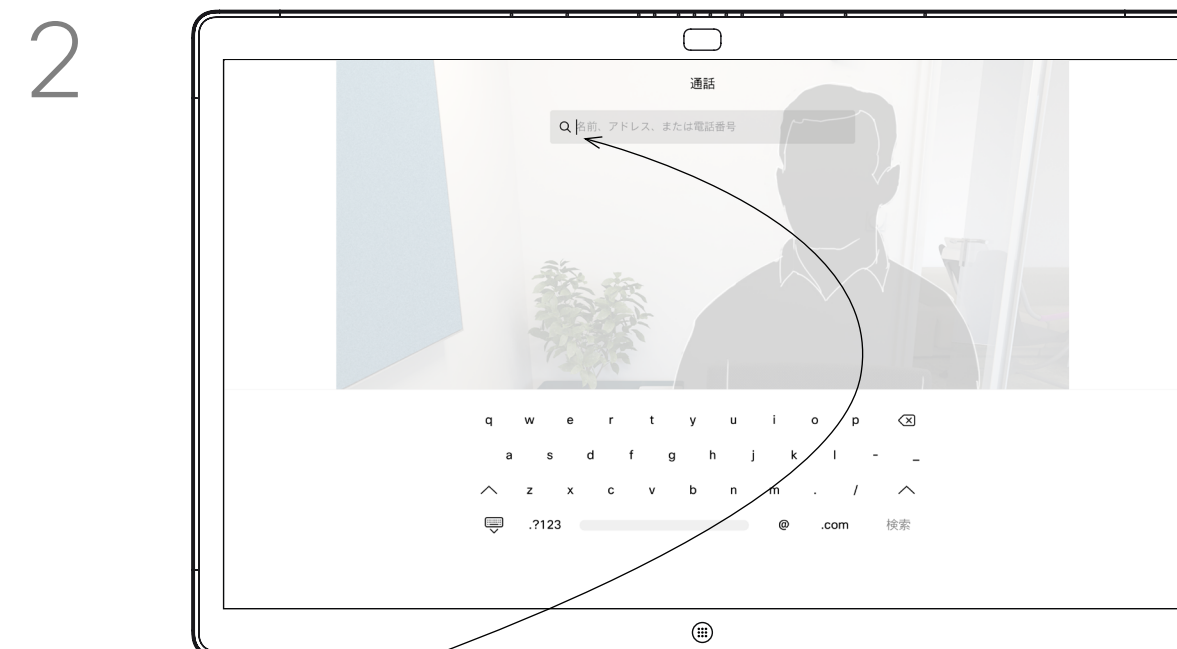


# ビデオ通話: Webex Board 通話の発信

## 発信について



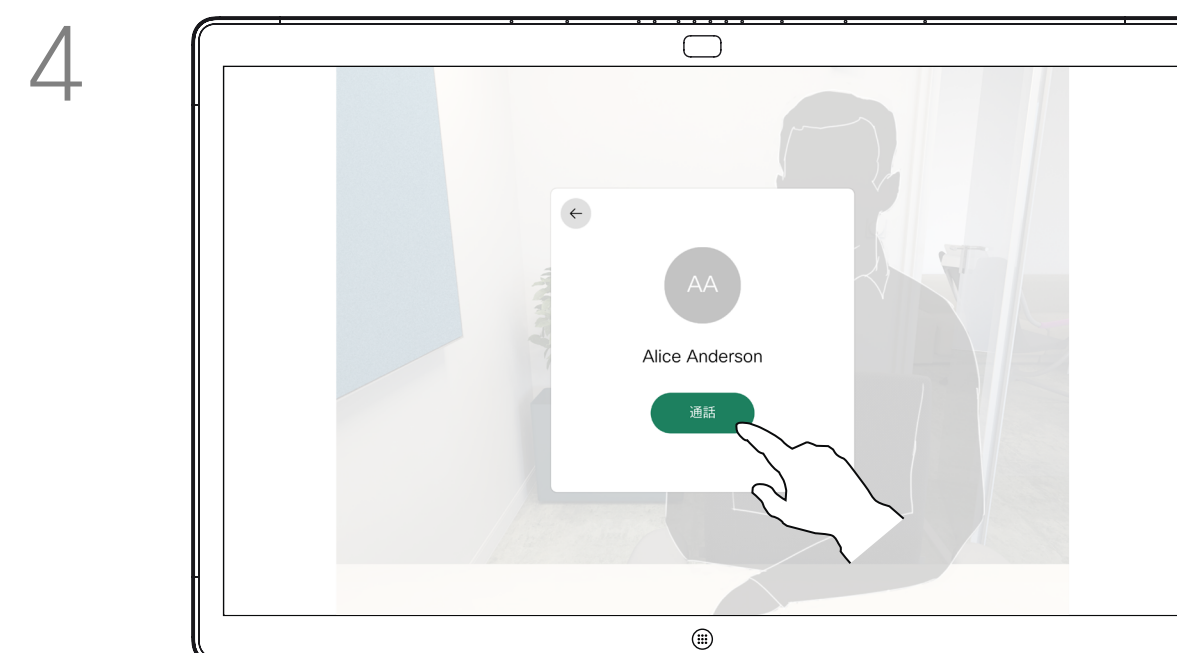
1 [発信(Call)] ボタンをタップします。



2 テキスト入力フィールドにカーソルが表示され、仮想キーボードが開きます。



3 名前、番号、またはアドレスを入力します。入力に合わせて、一致する可能性のある候補が表示されます。正確に一致するものがリストに表示されたら、タップします。表示されない場合は入力を続けます。

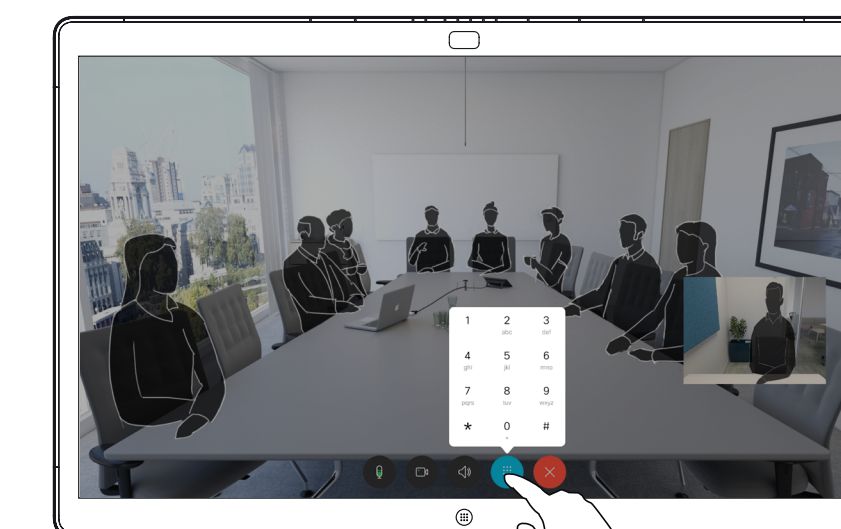


4 通話先を入力または特定できたら、名前をタップし、緑色の [発信(Call)] ボタンをタップして発信します。

電話帳にリストされているユーザー、または以前に発信または着信したユーザーは、入力時に表示される候補リストに表示されます。Webex Board は、[通話履歴(Recents)], [お気に入り(Favorites)], または [電話帳(Phonebook)] のエントリをすべて同じ方法で処理します。

[通話履歴(Recents)], [お気に入り(Favorites)], [電話帳(Phonebook)] 機能には、Webex Board に接続された Touch 10 が必要です。

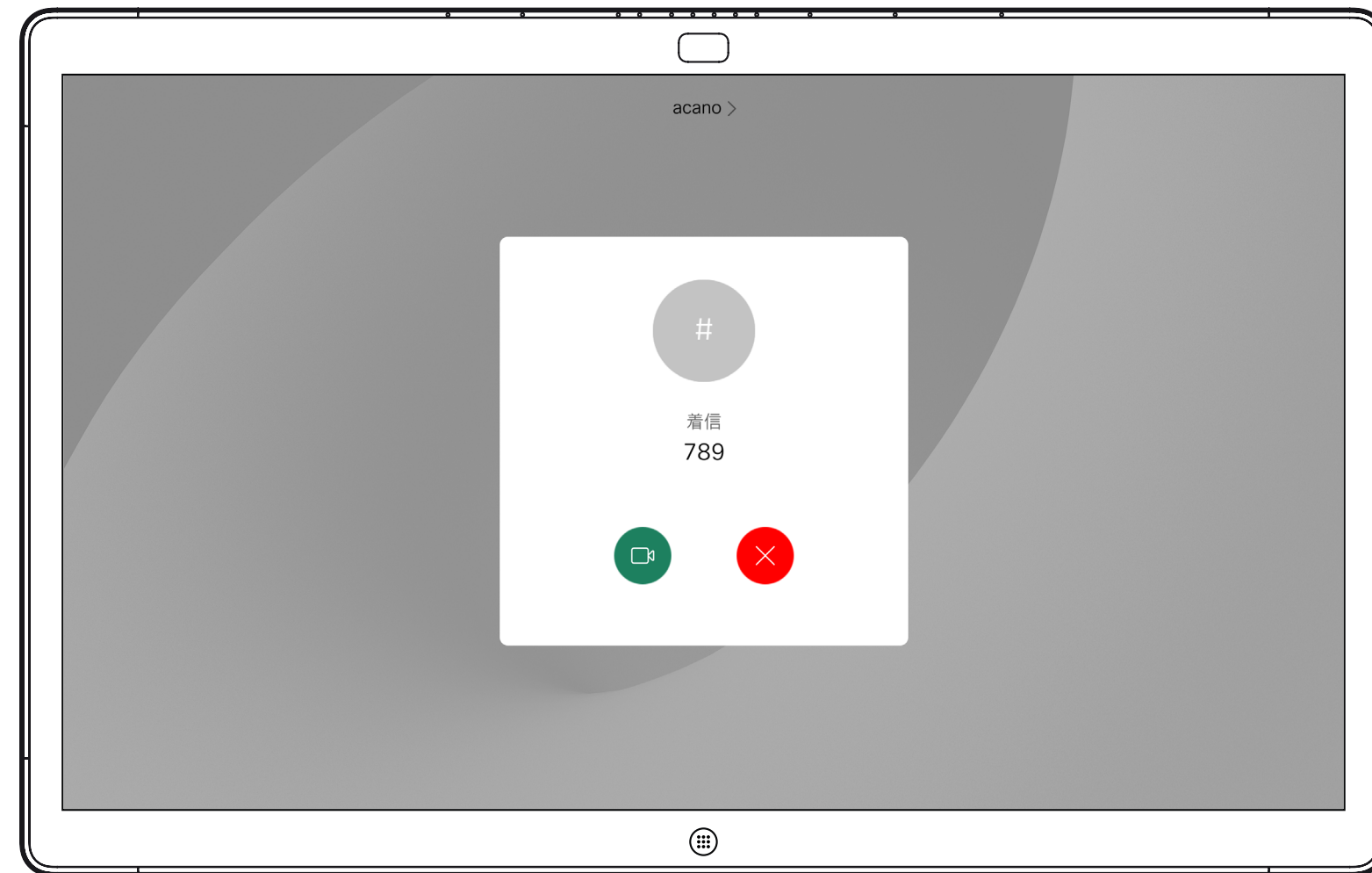
通話中、内線にアクセスしたり暗証番号を提供したりするために、数字の入力が必要になることがあります。このためには、テンキーが必要です。



通話中に画面をタップすると、図のようにボタンが表示されます。次に、青色のボタンをタップして、テンキーを開きます。

ビデオ通話: Webex Board  
**通話の着信**

着信があった場合



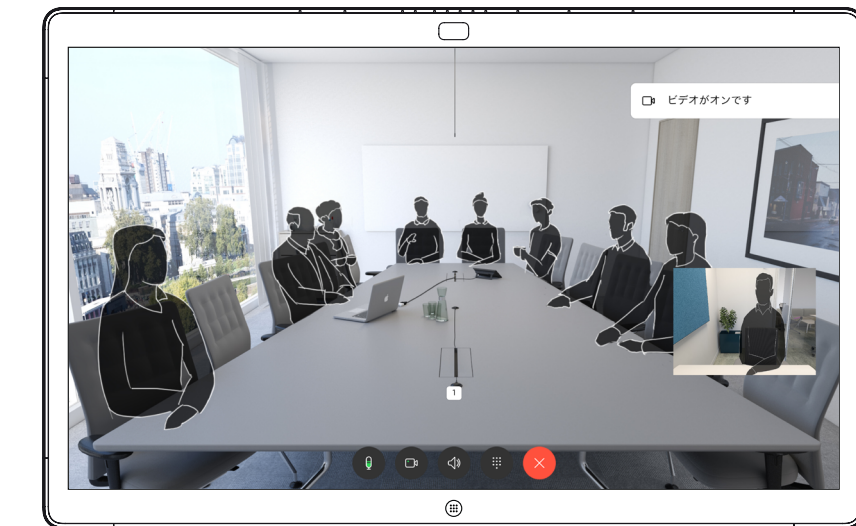
非通話時の着信通話に対応するには緑色のボタン(左)を、拒否するには赤色のボタン(右)をタップします。

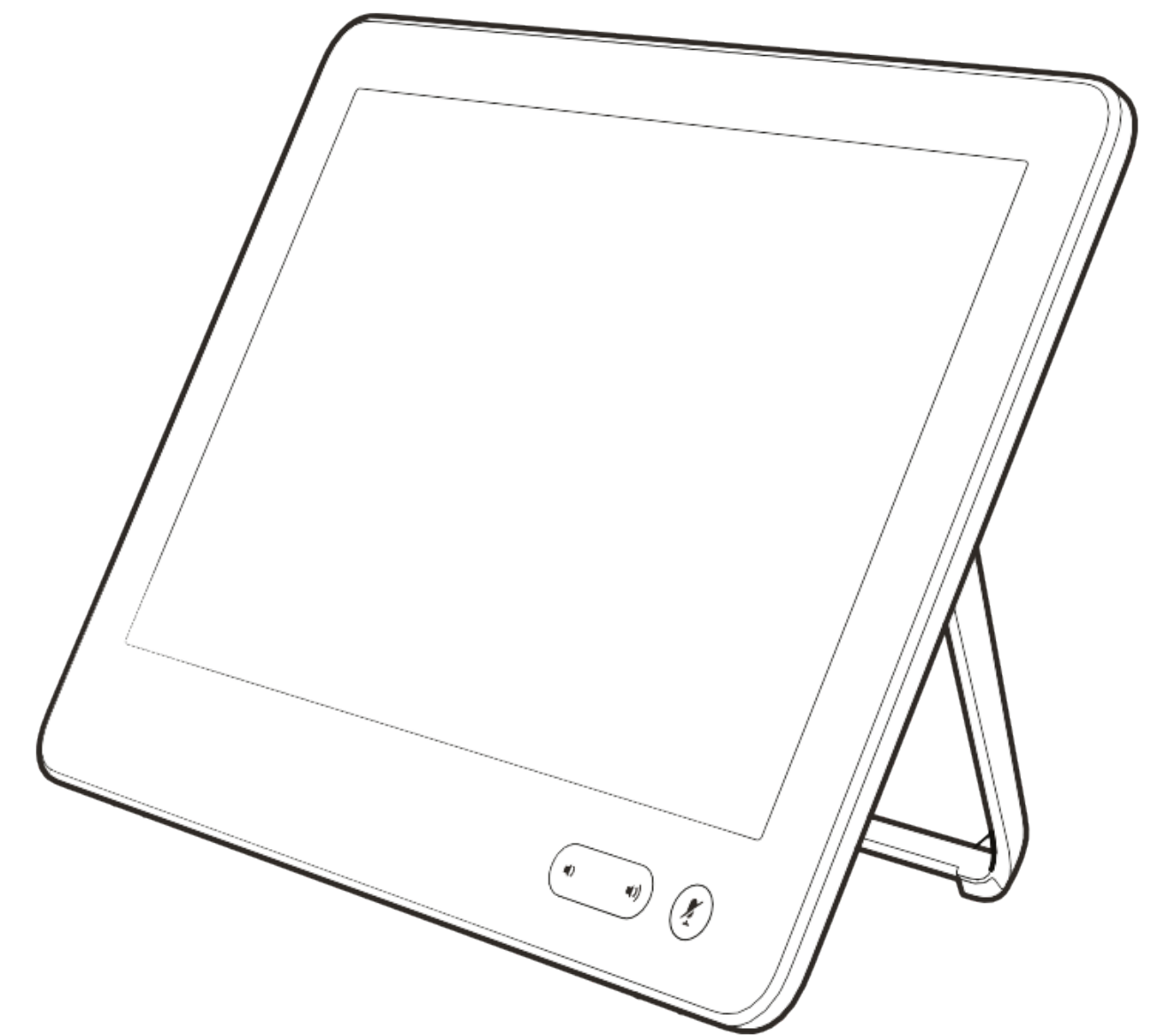
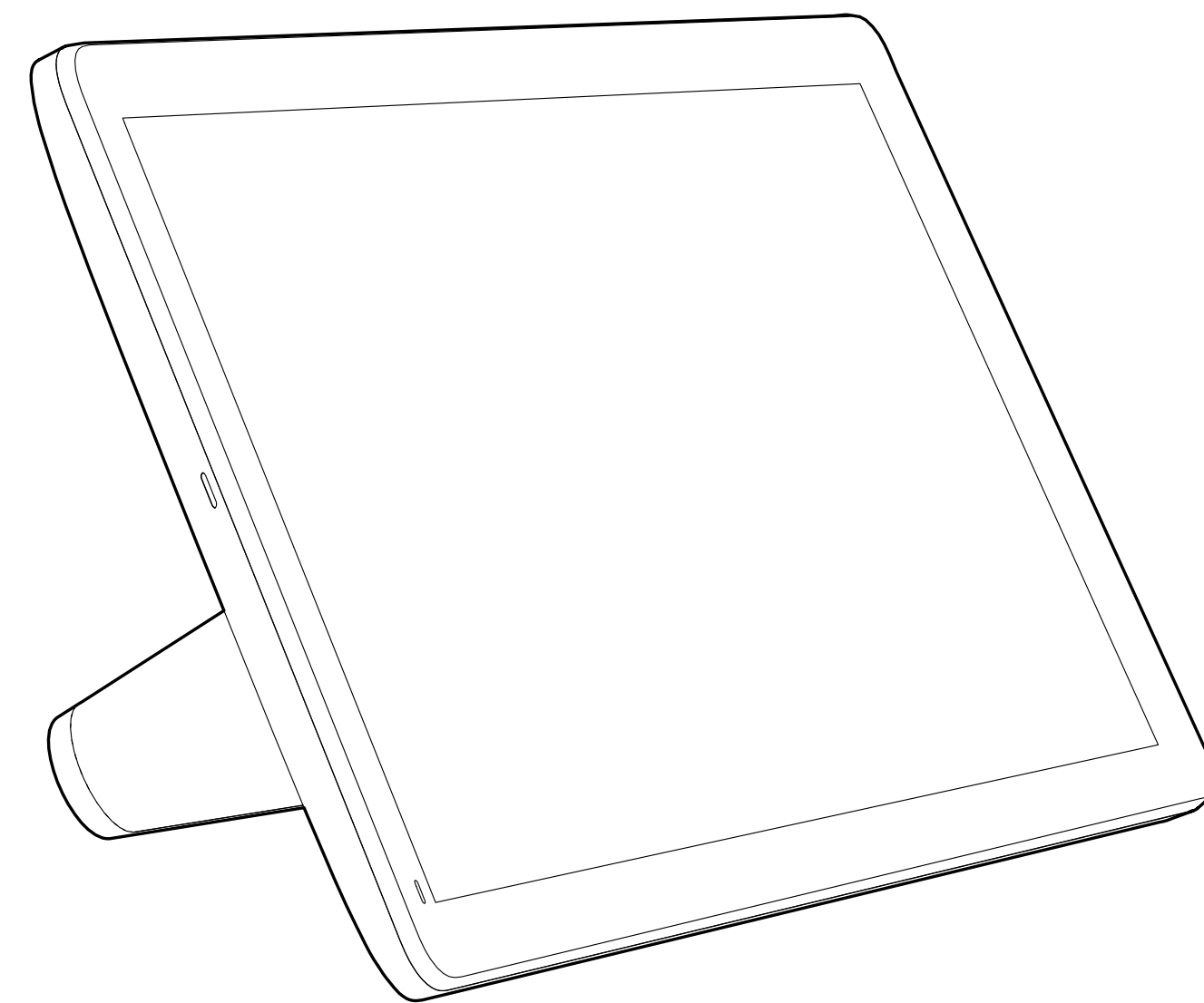


通話中に入電通話に対応するには緑色のボタン(左)を、拒否するには赤色のボタン(右)をタップします。

- ・ 着信があった場合は、そのコールを受け入れるか、拒否するか、無視することができます。
- ・ コールを拒否すると、話し中であるという情報が発信者に送られます。
- ・ 通話を見逃すと、発信者は相手が存在しない（電話を取らなかった）と認識します。

**ヒント:** 通話中に画面を図のように表示するには、画面をタップします。





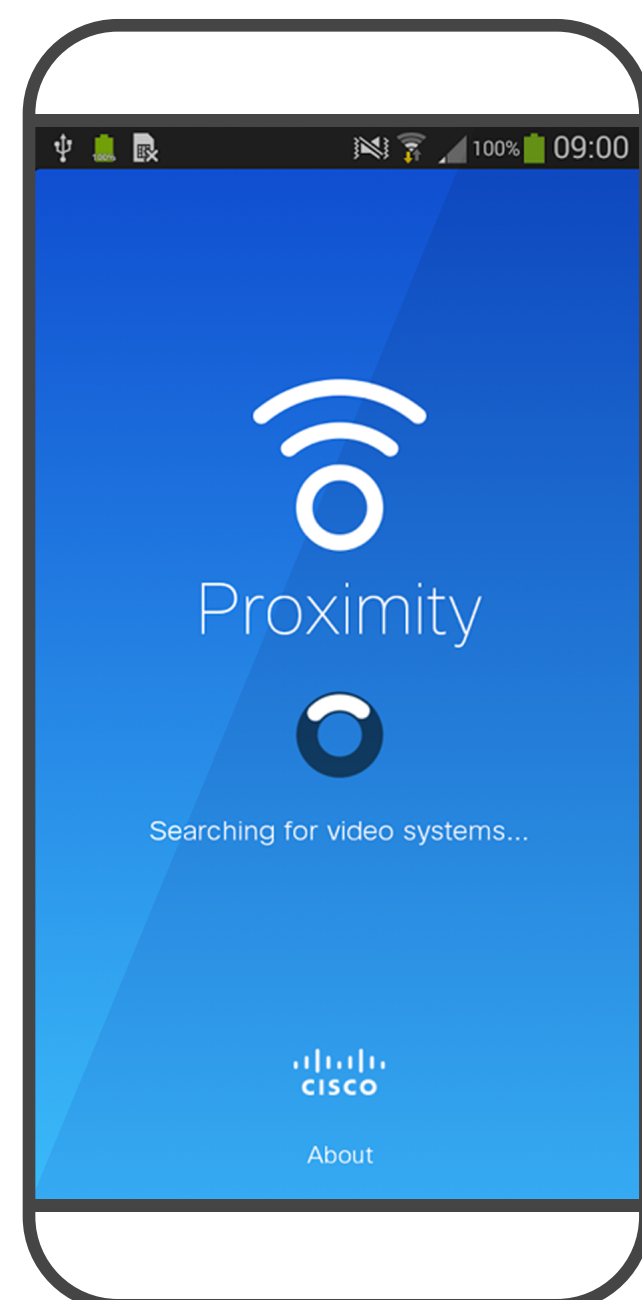
# Intelligent Proximity

# Cisco Proximity の超音波信号

シスコのビデオデバイスは、プロキシミティ機能の一部として超音波を発生します。業務用または商用アプリケーション、家電製品など、ほとんどの人は毎日さまざまな環境で、程度の差はあれ超音波にさらされています。

人によっては空気中を伝達する超音波によって何らかの影響を感じる場合もありますが、75 dB 未満の音圧レベルで影響が生じることはほとんどありません。超音波の制限に関するガイドラインは国によって大きく異なります。Cisco 近接信号が出力される 20 kHzあたりの周波数帯で検出される 75 dBの音圧レベルは、現在の制限における最小値となっています。

これについては、カナダでの健康ガイドラインである [http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/safety-code\\_24-securite/index-eng.php#a2.2.2](http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/safety-code_24-securite/index-eng.php#a2.2.2) をご参照ください。



120 dB未満の音圧レベルでは永続的または一時的な難聴はどちらも発生していないと、このガイドラインでは述べられています。

Cisco Webex Boards において、ディスプレイの前から 20 cm 以上の距離では、超音波の音圧レベルは 75 dB 未満になります。スピーカーが下向きであるため、ディスプレイの真下での音圧レベルは若干高くなる可能性があります。

実際の利用ではほとんどの場合、使用者の耳に届く音圧レベルはこれら最大レベルよりはるかに低くなります。これは、スピーカーの指向性や距離による減衰に加え、一般的な部屋では高周波の高域成分が吸収されるためです。そのレベルは、会議の空間における一般的な背景雑音／環境雑音レベルから、いわゆる通常の会話レベルまでの範囲となります。

したがって継続的に近接信号を受けても、安全であると考えられます。その近接信号を知覚し、影響を受ける人はほとんどいません。しかし、高周波数に対して鋭敏な聴覚を持っている人も若干おり、スピーカーの目の前または近くで聞きとれるケースもあります。

犬のような動物は聴覚の周波数の範囲が非常に広いので、近接信号を聞きとれます。

しかし、近接信号の影響は音圧レベルに左右されません。また、犬が聞きとる音圧レベルの範囲も人間と比べて顕著な差があるわけではありません。20 kHzでの犬の聴覚しきい値は、0 ~ 10 dB程度になります。これは、人間の耳が最も敏感となる周波数範囲におけるしきい値と同じ値です。

近接信号が犬にもたらす影響について、Ciscoではテストや認定などを行っていません。制限レベルの存在により、近接信号がはっきりと聞き取れる状況は、犬にとって煩わしいものにならないと考えられるためです。

オフィスや会議室での、通常背景雑音や通常の会話と同等のレベルの超音波は、犬に影響を与えません。この機能を持つ当社の製品において、動物が近接信号によって悩まされているという報告は何年間もありません。

ただし、超音波を利用して犬を撃退するデバイスが実際に存在しているので、超音波の犬に対して影響が及ぶのではないかと考えるのはもっともなことです。通常このようなデバイスは、犬に対して不快な超音波を出すものであり、悪影響を及ぼすものではありません。Cisco は犬撃退用途の機器の設計については専門外です。しかし、その手のデバイスの仕様分析では、概して音圧レベルが 100 dB以上であることがわかっています。

Ciscoビデオコーデックを他社製スピーカーのシステムと一緒に使用する場合、Ciscoによる超音波音圧レベルの制御ができません。所定のスピーカー出力音圧レベルと周波数特性では、ほとんどの場合75 dBの制限を超えない音圧に収まります。しかし、過剰な信号の外部増幅を行う、またはスピーカーシステムが高周波を強調するものであった場合、この制限を超えた音圧が出力される可能性があります。

## プロキシミティについて

インテリジェントプロキシミティ機能を使用すると、コンピュータからビデオデバイスにワイヤレスでコンテンツを共有できます。

自分のスマートフォン、タブレット、PC、または MAC を使用して、ビデオデバイスのコールを制御することもできます。

次のことを確認します。

App Store または Google Play から、Cisco Intelligent Proximity アプリケーション (無料) をダウンロードする必要があります。

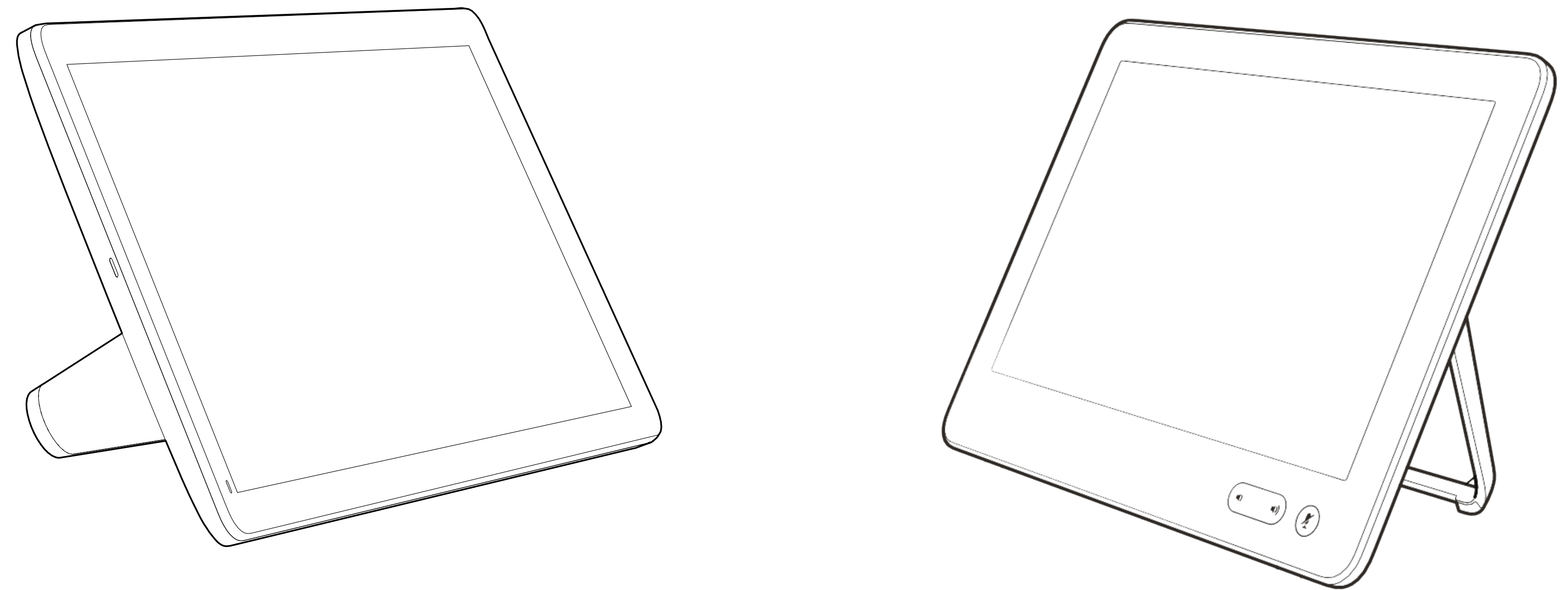
Windows または OS X ユーザーの場合は、<https://proximity.cisco.com/> にアクセスしてください。

ビデオサポートチームは、すべての機能を有効にしている場合も、無効にしている場合も、一部の機能だけを有効にしている場合もあります。

インテリジェントプロキシミティでは、ユーザーとの接続に超音波を使用します (左側より詳細をご覧ください)。パソコン、スマートフォン、タブレットのマイクをふさがないようにしてください。

Intelligent Proximity は、会議室の扉が閉じているときに部屋の外で動作しないように設計されています。この機能を使用するには、ビデオ エンドポイントの近くにいる必要があります。

プライバシーの保護が必要な場合は、常に会議室の扉を閉めて、隣室に音が漏れないように配慮してください。

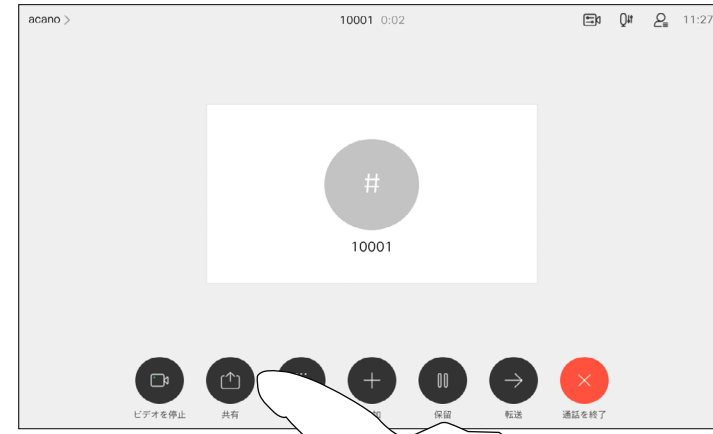


# タッチコントローラを使用したコンテンツ共有

# コンテンツ共有: タッチコントローラ 通話中のコンテンツ共有

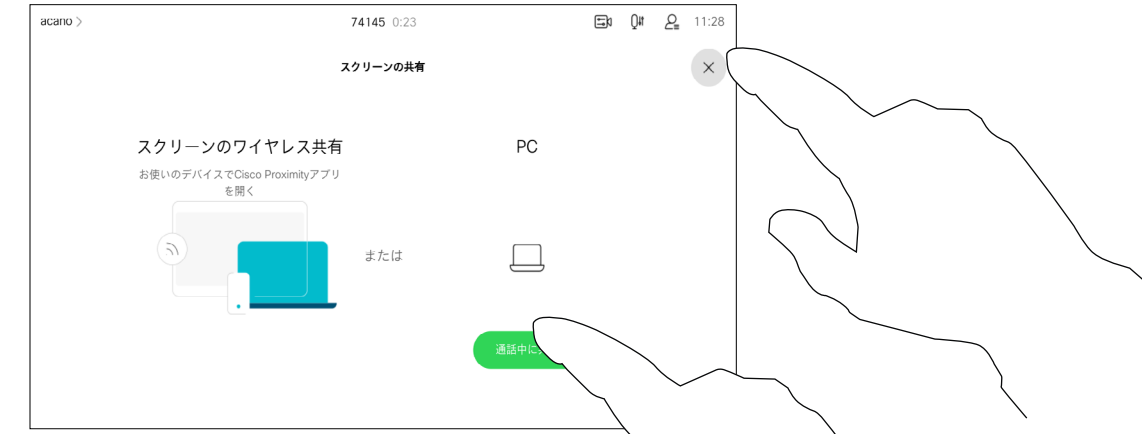
## コンテンツ シェアリング (共有) について

1



ソースとビデオデバイスを適切なケーブルで接続し、スイッチがオンになっていることを確認して、[共有 (Share)] をタップします。

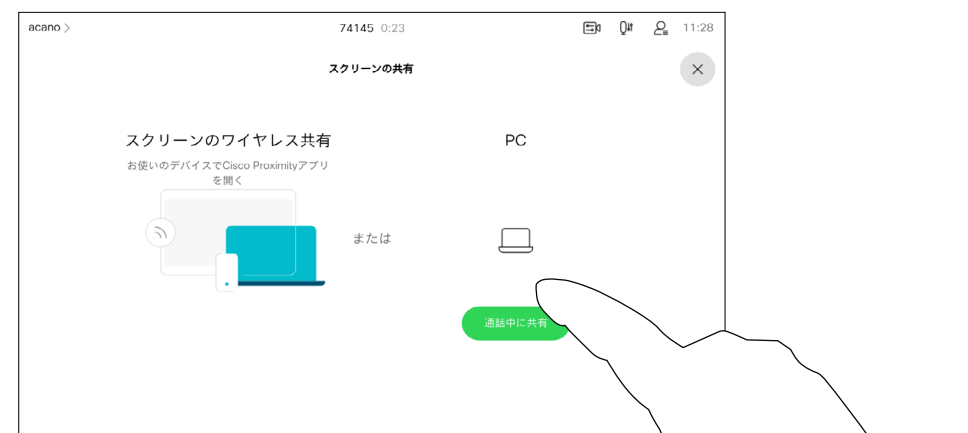
2



[ローカルでプレビュー (Local preview)] をタップすると、コンテンツを自分のデバイスだけで確認できます。コンテンツは、リモート参加者には共有されません。

前の画面に戻るには、図のように右上隅の [X] をタップします。

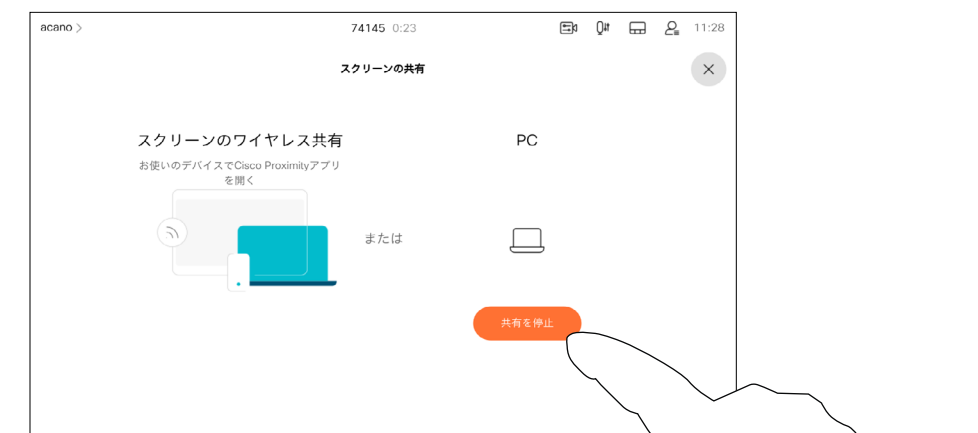
3



プレビューを中止するには、[プレビューを中止 (Stop preview)] をタップします。

リモート参加者とコンテンツを共有するには、[通話で共有 (Share in call)] をタップします。

4



リモート参加者とのコンテンツ共有を停止するには、[共有を停止 (Stop Sharing)] をタップします。

お使いのデバイスは、ビデオ通話でプレゼンテーションを表示する機能をサポートしています。

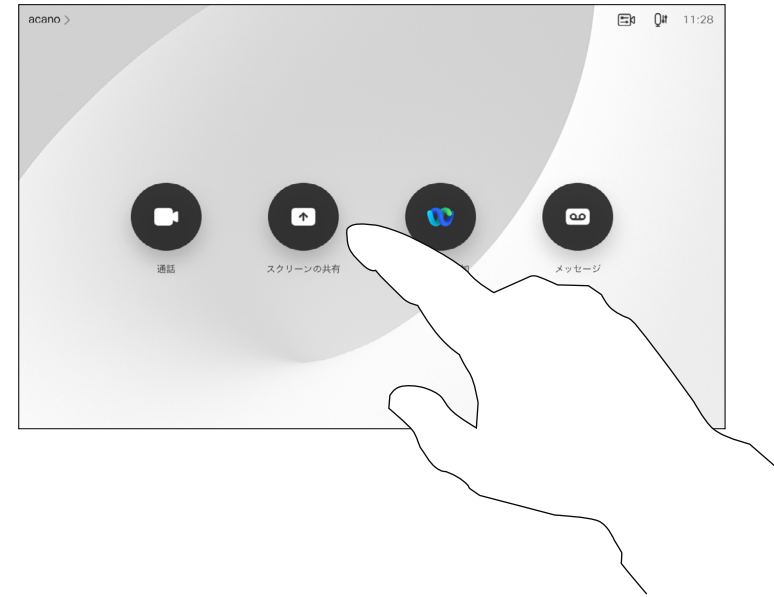
お使いのラップトップで、Intelligent Proximity が有効になっている場合は、デバイスとビデオデバイスをペアリングすると、ワイヤレスでコンテンツを共有できます。

プレゼンテーション中に画面のレイアウトを変更できます。詳細は以降のページを参照してください。

# コンテンツ共有: タッチコントローラ 非通話時のコンテンツ共有

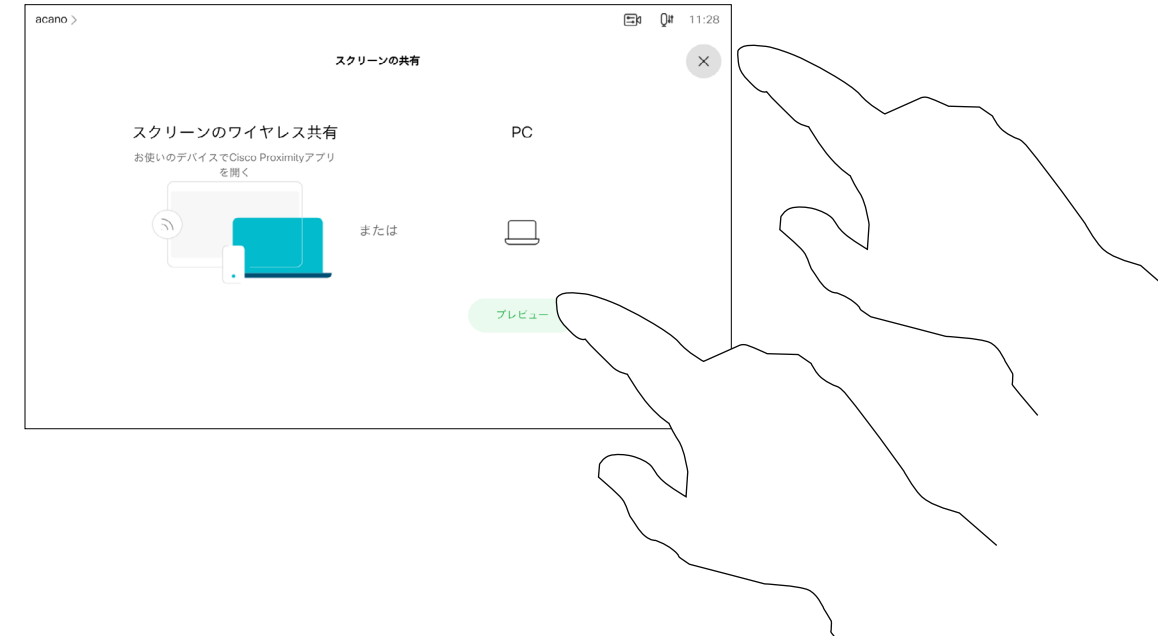
## ローカルでのコンテンツ共有

1



ソースデバイスとビデオデバイスを適切なケーブルで接続し、スイッチがオンになっていることを確認して、[共有(Share)] をタップします。

2

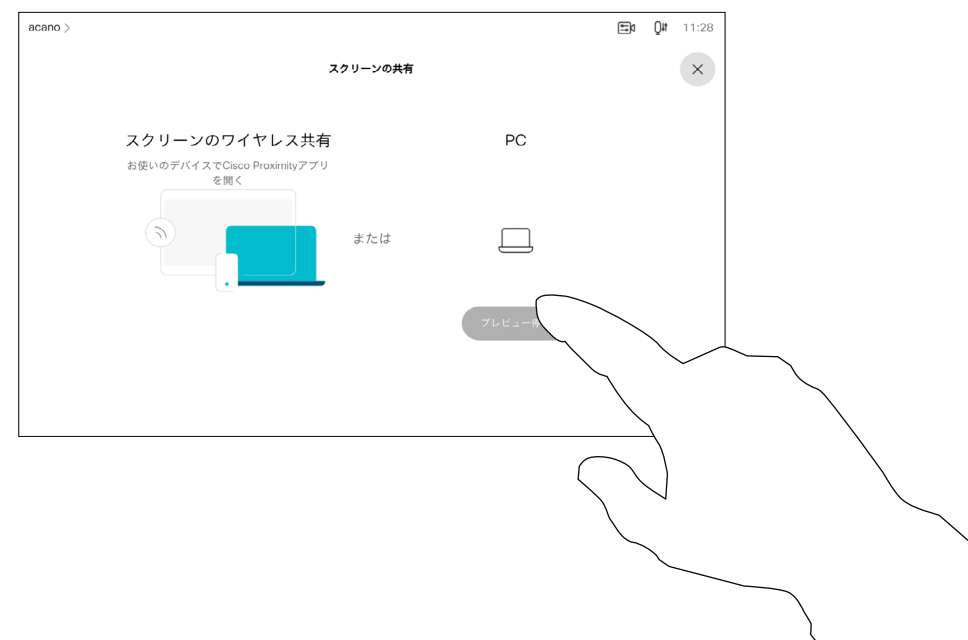


自分のデバイスの画面を表示するには、[共有(Share)] をタップします。  
前の画面に戻るには、図のように右上隅の [X] をタップします。

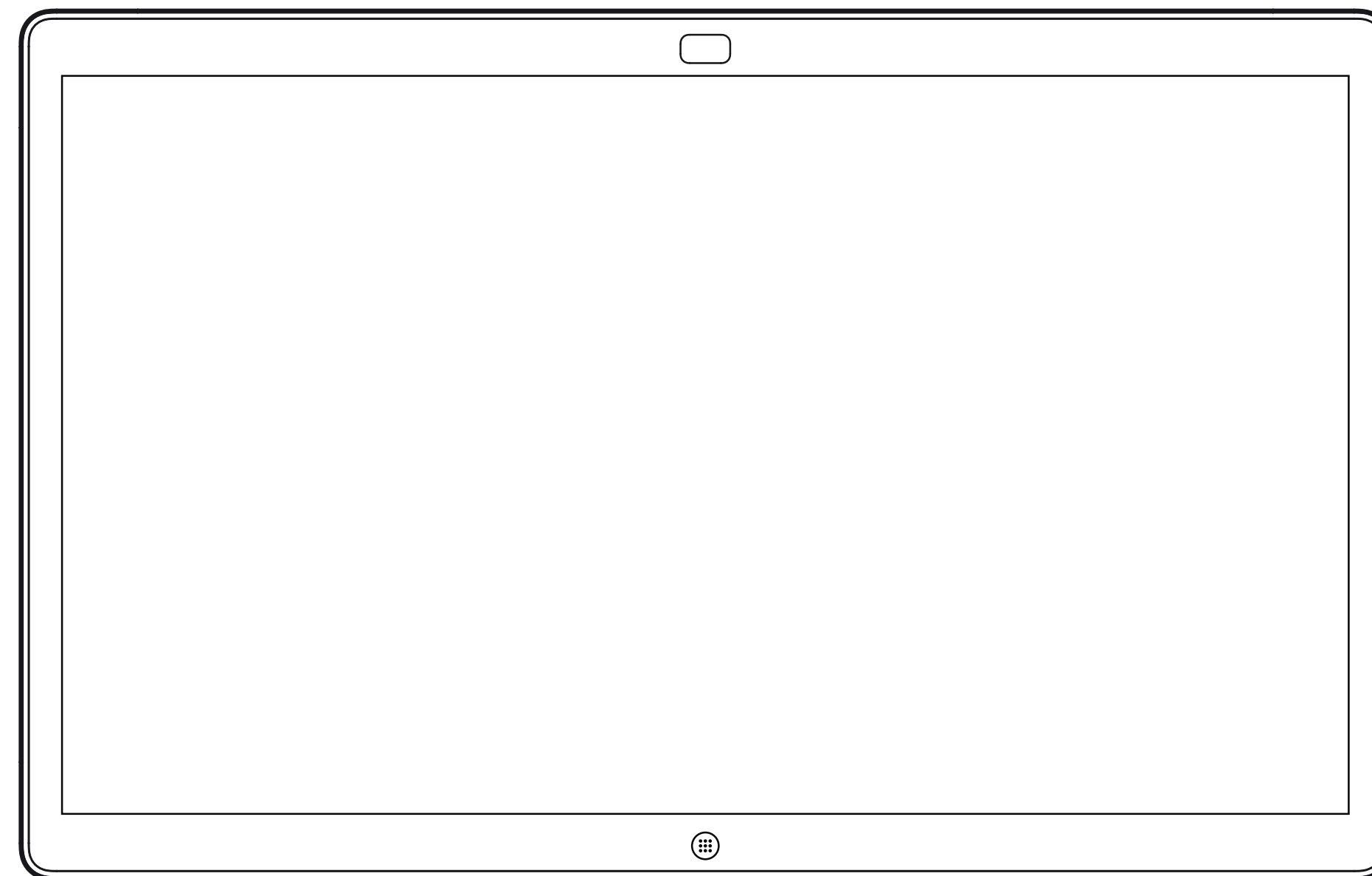
ローカルミーティングでビデオデバイスを使用すると、非通話時にコンテンツを表示して共有できます。

お使いのラップトップで、Intelligent Proximity が有効になっている場合は、デバイスとビデオデバイスをペアリングすると、即時にコンテンツを共有できます。

3



セッションを終了するには、[共有を停止(Stop Sharing)] をタップします。



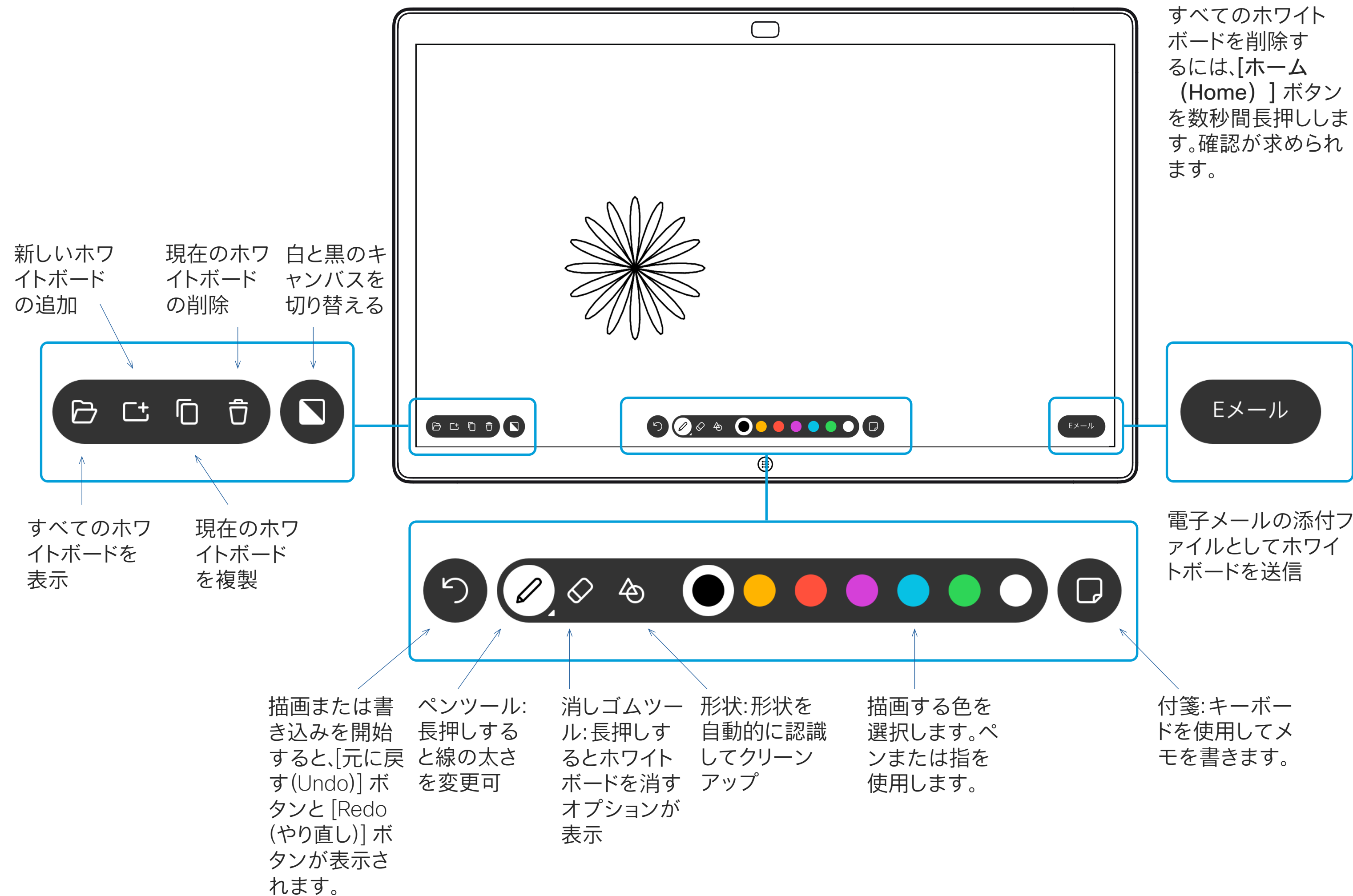
Webex Board

# Webex Board でコンテンツ共有



# Webex Board をデジタルホワイトボードとして使用する

## ホワイトボードについて



Webex Board は、ビデオ通話機能を備えたデジタルホワイトボードです。

ホワイトボード機能にアクセスするには、[ホーム (Home)] ボタンをタップしてホーム画面に移動し、[ホワイトボード (Whiteboard)] をタップします。

タッチペンまたは指を使用して書き込みと描画を行います。

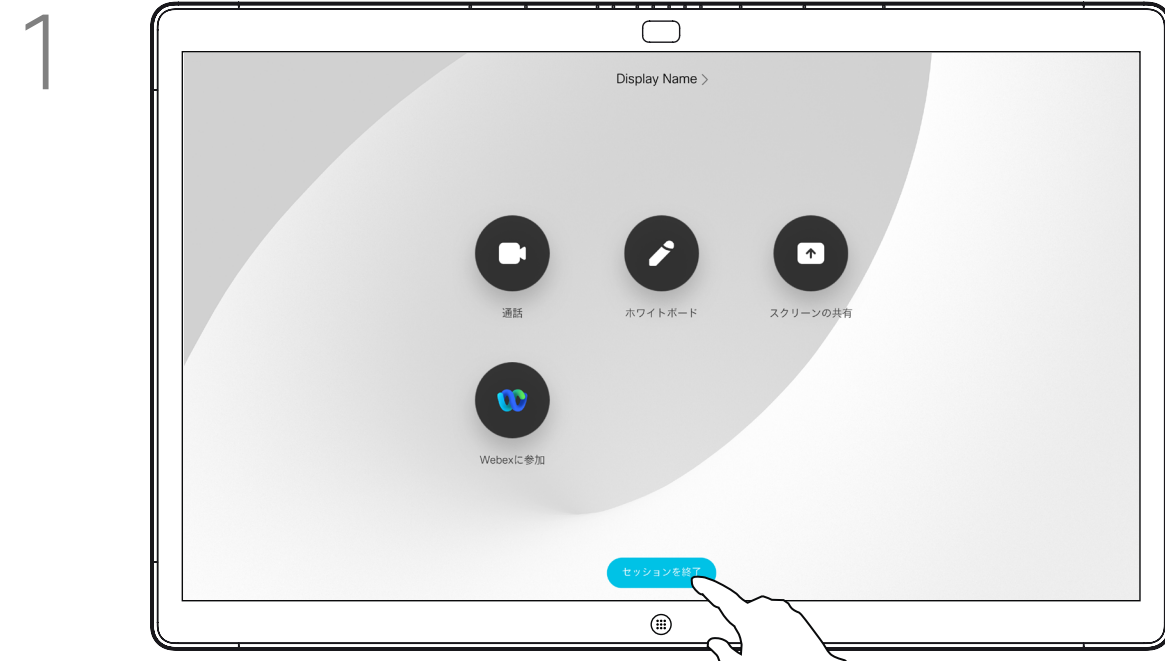
ホワイトボードページのサイズは必要に応じて大きくできます。2本の指でホワイトボードをドラッグでき、ピンチするとズームできます。

ホワイトボードの図面を保存するには、電子メールで送信します。これを行うには、ビデオサポートチームがメールサーバーを使用するように Webex Board を構成している必要があります。

ホワイトボードは PDF 形式で共有されます。

# セッションを終了して Webex Board をクリア

## セッションについて



セッションを終了する準備ができたなら、ホーム画面の下部にある [セッションを終了 (End session) ] をタップします。



すべてのホワイトボード、すべての Web サイトデータ、またはその両方をクリアするかどうかを決定できます。Web サイトデータの削除は、システム管理者が Web エンジンを実効にした場合のみ表示されます。

セッション中、ホワイトボード、注釈、および Web アクティビティはデバイスに保存されます。アクティビティを中断したり切り替えたりした後でも、ファイルに戻ると作業を続けることができます。

セッションは、デバイスからいつでも終了でき、次のユーザーのためにすべてのホワイトボードとブラウジングデータをクリアできます。

デフォルトでは、ホワイトボードと Web データは毎日午前 0 時に自動的に削除されます。自動クリーンアップが無効になっているか、または別の時間に実行されるように設定されているかどうかは、システム管理者に確認してください。

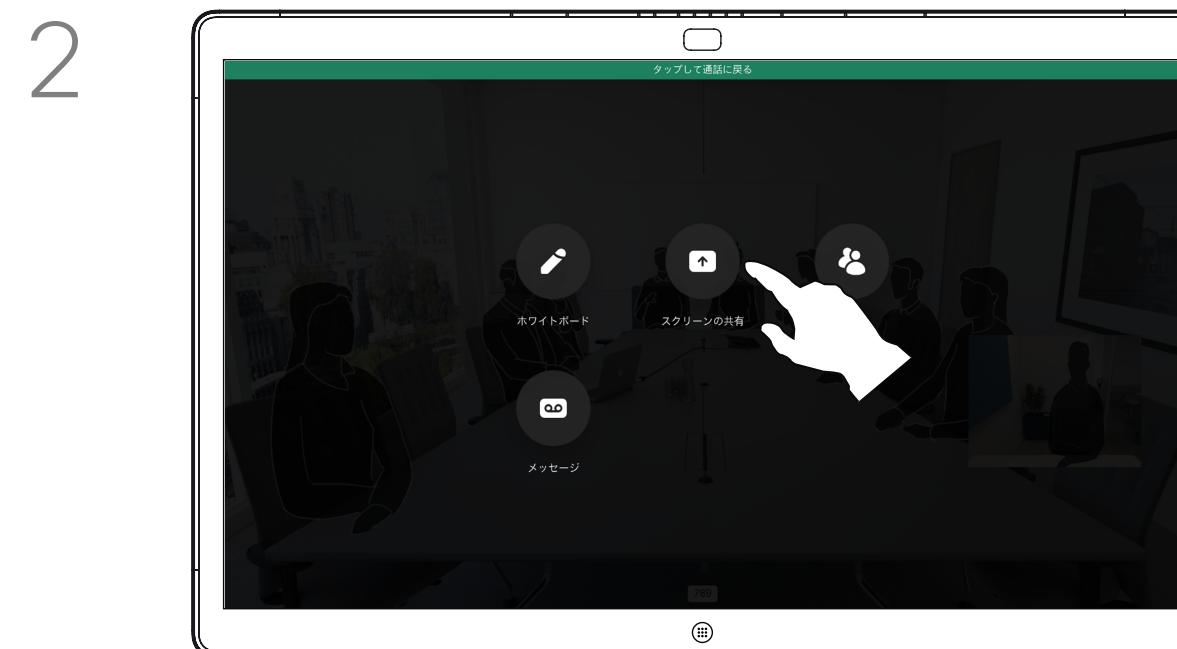
また、ホームボタンを数秒間押ししても、セッションを終了することができます。

# コンテンツ共有: Webex Board 通話中のコンテンツ共有

## コンテンツ シェアリング (共有) について



通話中に、[ホーム (Home)] ボタンをタップします。



青い [画面の共有 (Share screen)] ボタンをタップします。

今すぐ通話に戻るには、画面上部の緑色のフィールド([タップして通話に戻る (Tap to return to call)])をタップします。

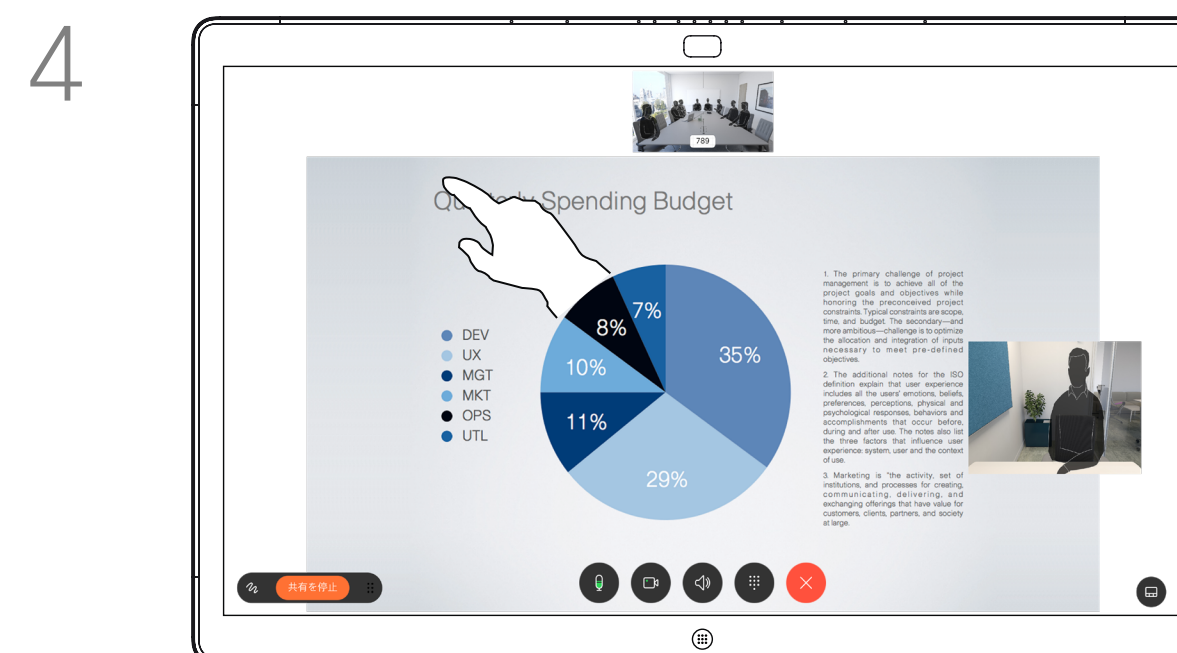
Webex Board は、ビデオ通話でプレゼンテーションを表示する機能をサポートしています。

お使いのラップトップで、Intelligent Proximity が有効になっている場合は、デバイスと Webex Board をペアリングすると、ワイヤレスでコンテンツを共有できます。

プレゼンテーション中に画面のレイアウトを変更することができます。詳細に関しては、次のページを参照してください。



プレゼンテーションソースをケーブルまたは Proximity で接続し、[共有の開始 (Start Sharing)] をタップします。これで、プレゼンテーションソースから選択したコンテンツを共有できるようになります。



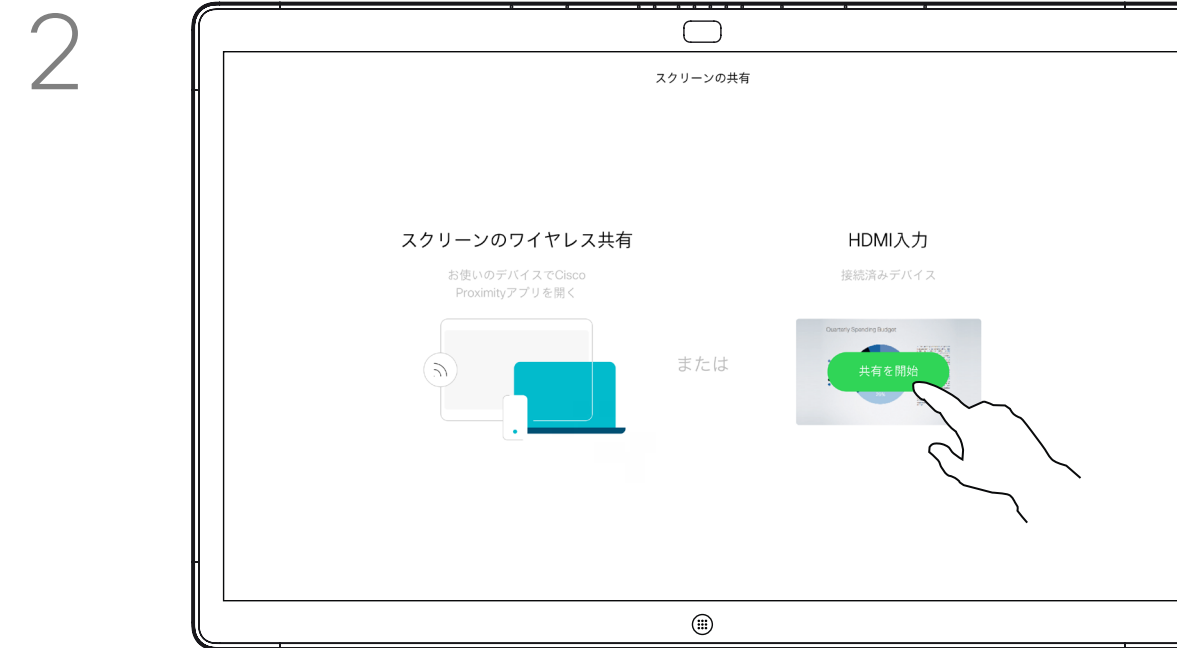
プレゼンテーションを停止するには、[共有の停止 (Stop Sharing)] をタップします。

# コンテンツ共有: Webex Board 非通話時のコンテンツ共有

## コンテンツ シェアリング (共有) について

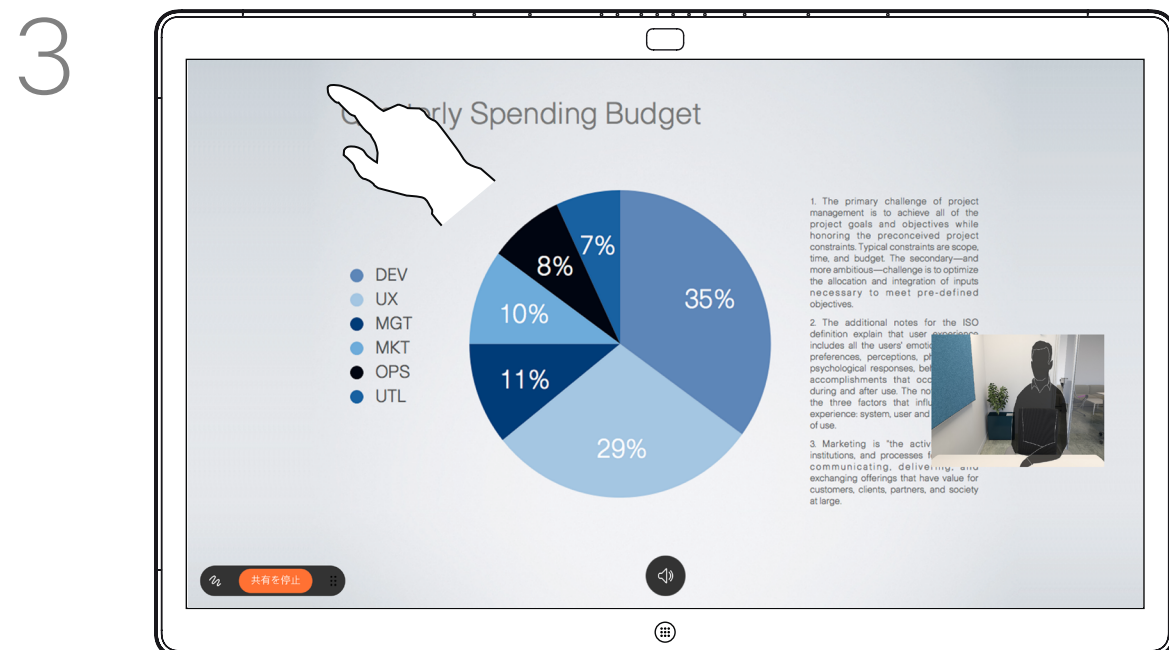


[共画面の共有 (Share Screen)] をタップします。



プレゼンテーションソースをケーブルまたは Proximity で接続します。これで、プレゼンテーションソースから選択したコンテンツを共有できるようになります。[共有の開始] をタップします。

コンテンツを共有しない場合は、[ホーム (Home)] ボタンを押してホーム画面に戻ります。



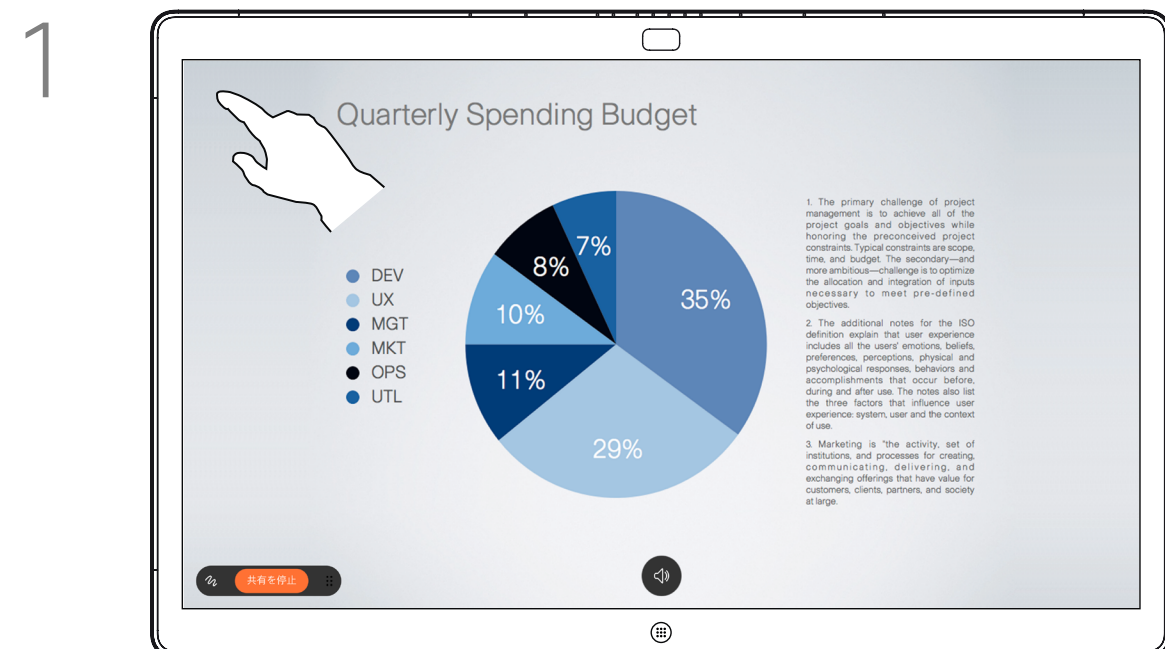
プレゼンテーションを停止するには、[共有の停止 (Stop Sharing)] をタップします。

Webex Board は、非ビデオ通話時にプレゼンテーションをローカルに表示する機能をサポートしています。

お使いのラップトップで、Intelligent Proximity が有効になっている場合は、デバイスと Webex Board をペアリングすると、ワイヤレスでコンテンツを共有できます。

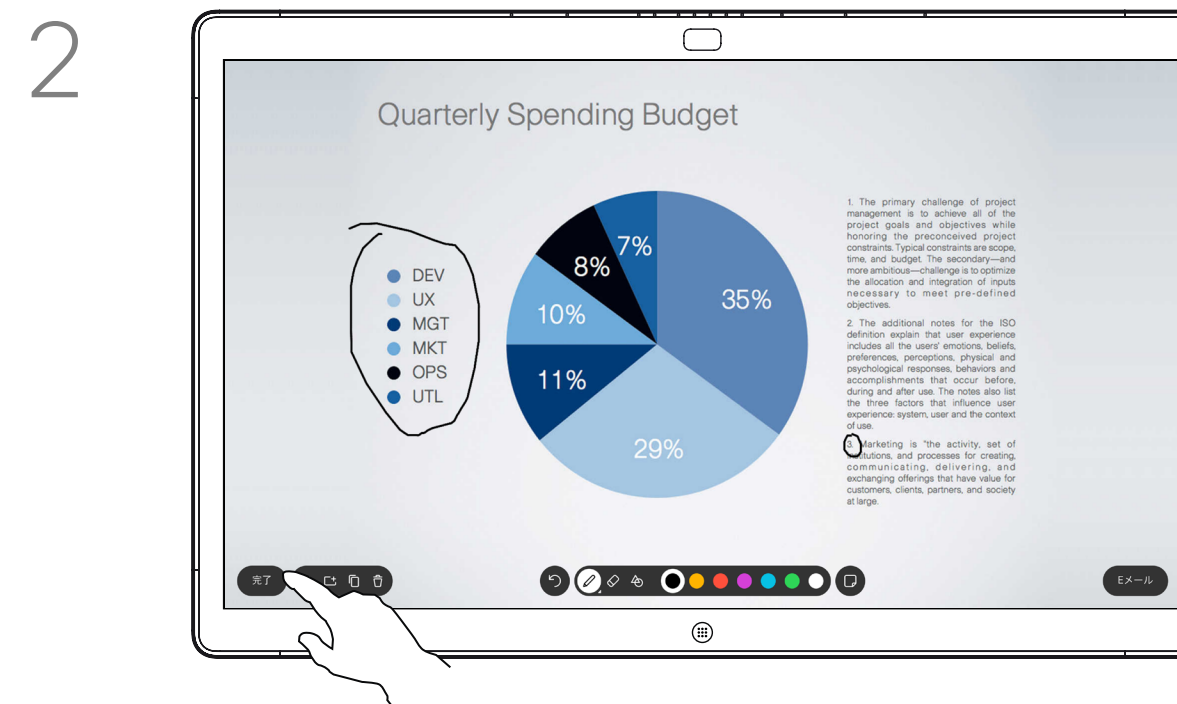
# コンテンツ共有: Webex Board 共有コンテンツに注釈を付ける

## 注釈について



非通話時のプレゼンテーションの共有に関しては、前ページの説明を参照し、注釈するイメージが表示されていることを確認します。

必要に応じて画面をタップして [注釈(Annotation)] アイコンを表示し、[注釈(Annotation)] アイコンをタップします。



使用可能なツールを使用して注釈を作成し、[完了(Done)] をタップして終了します。

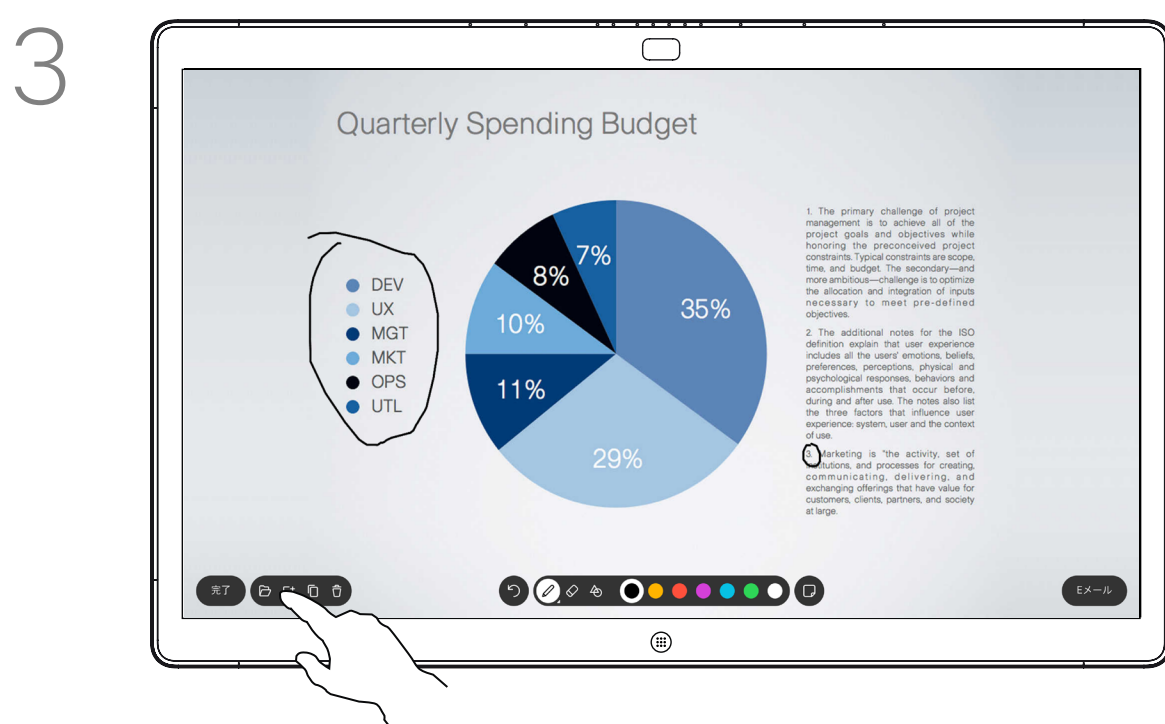
Webex Board は、非通話時にプレゼンテーションに注釈をつける機能をサポートしています。

イメージに注釈を付ける場合、そのイメージのスナップショットが生成されるため、注釈はプレゼンテーションに影響しません。

注釈を付けたら、注釈付きのイメージがホワイトボードとして表示されます。プライバシー上の理由から、ホワイトボードはしばらくするとデバイスから削除されます。

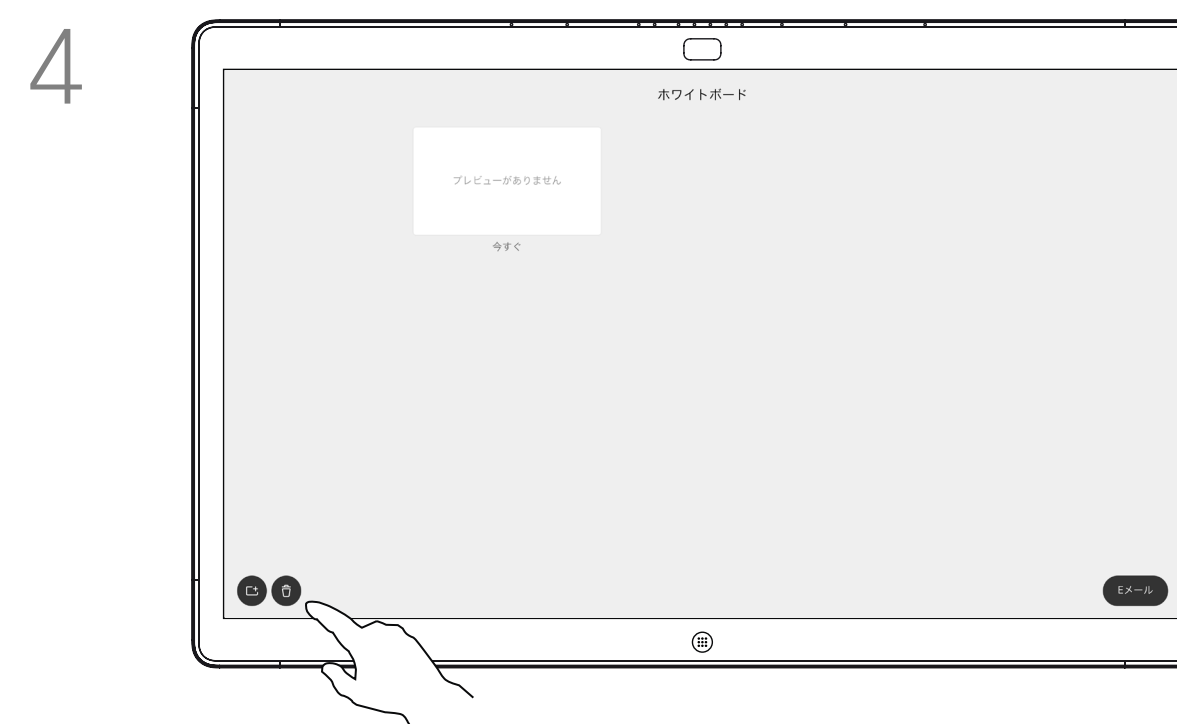
注釈を維持したい場合は、ビデオチームがメールサーバーを使用するように Webex Board を構成していれば、注釈を電子メールで送信できます。

注釈は PDF 形式で共有されます。



プレゼンテーションは再開することも、完全に停止することもできます。

注釈付きイメージはホワイトボードページとして保存されます。図のようにタップすると、すべてのホワイトボードのサムネイルが表示されます。

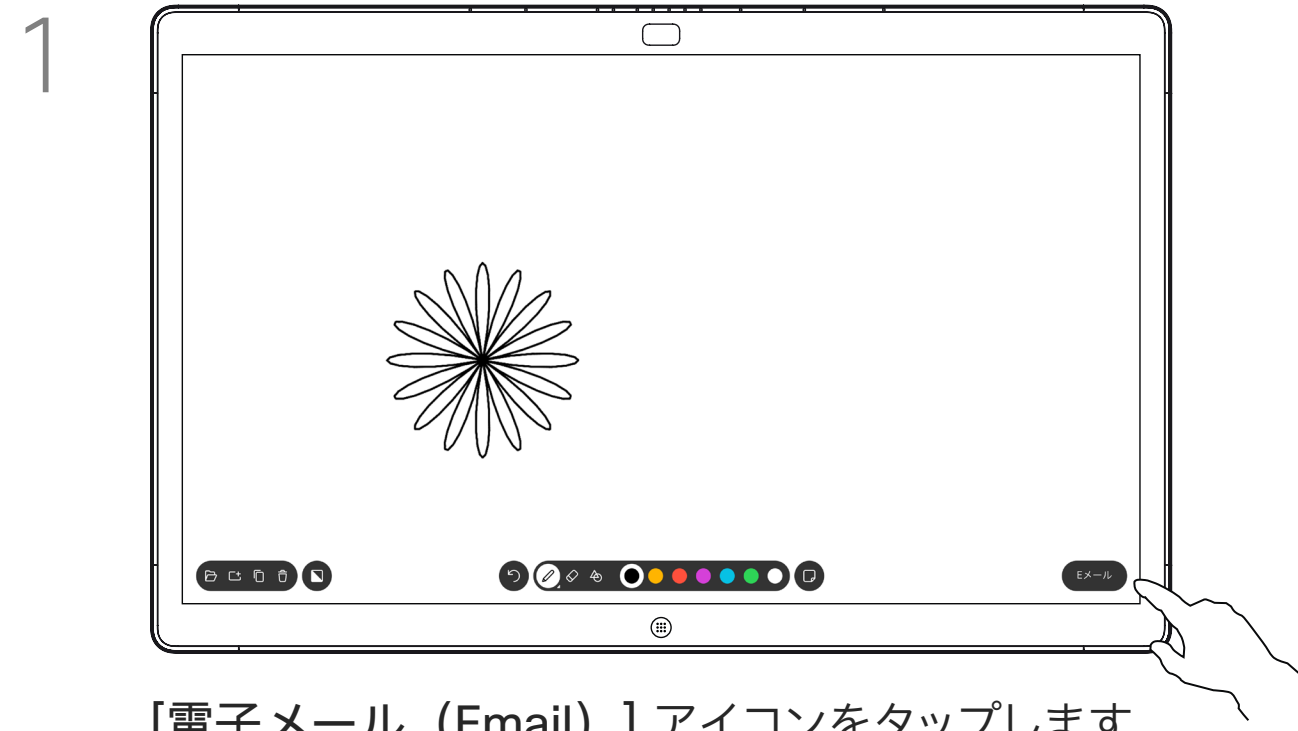


別のホワイトボードを追加したり、既存のホワイトボードを削除したりできます。

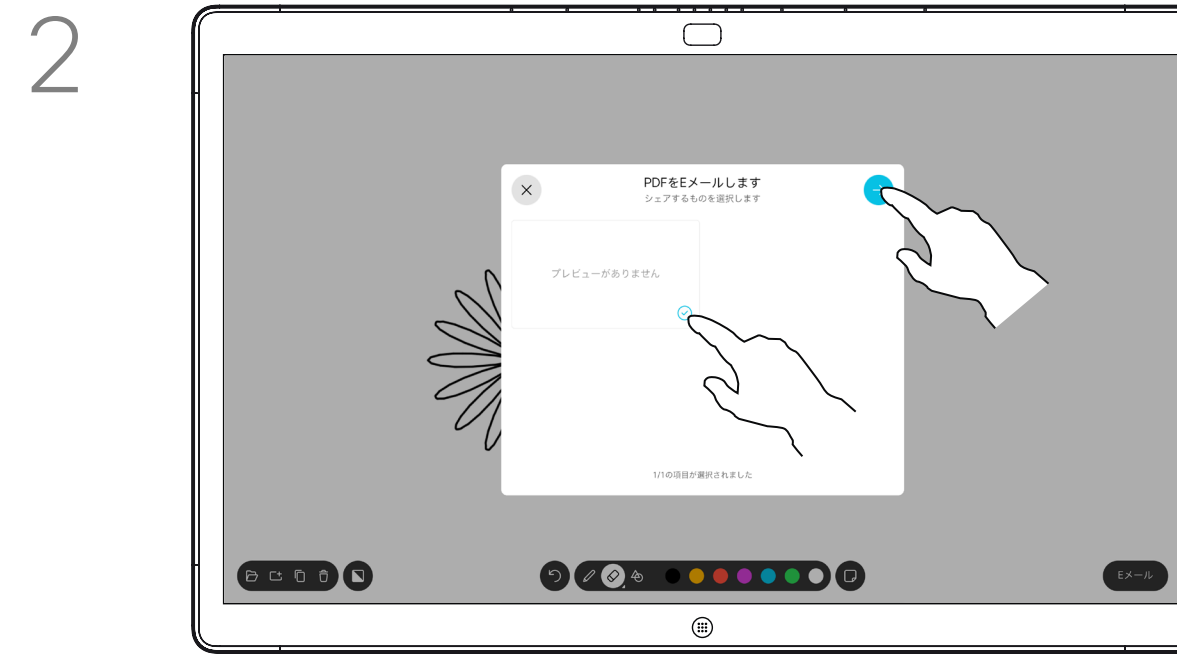
セッションが終了すると電子メールで送信しない限り、ホワイトボードは削除されます。詳細については次のページを参照してください。

# 電子メールで注釈または図面を送信

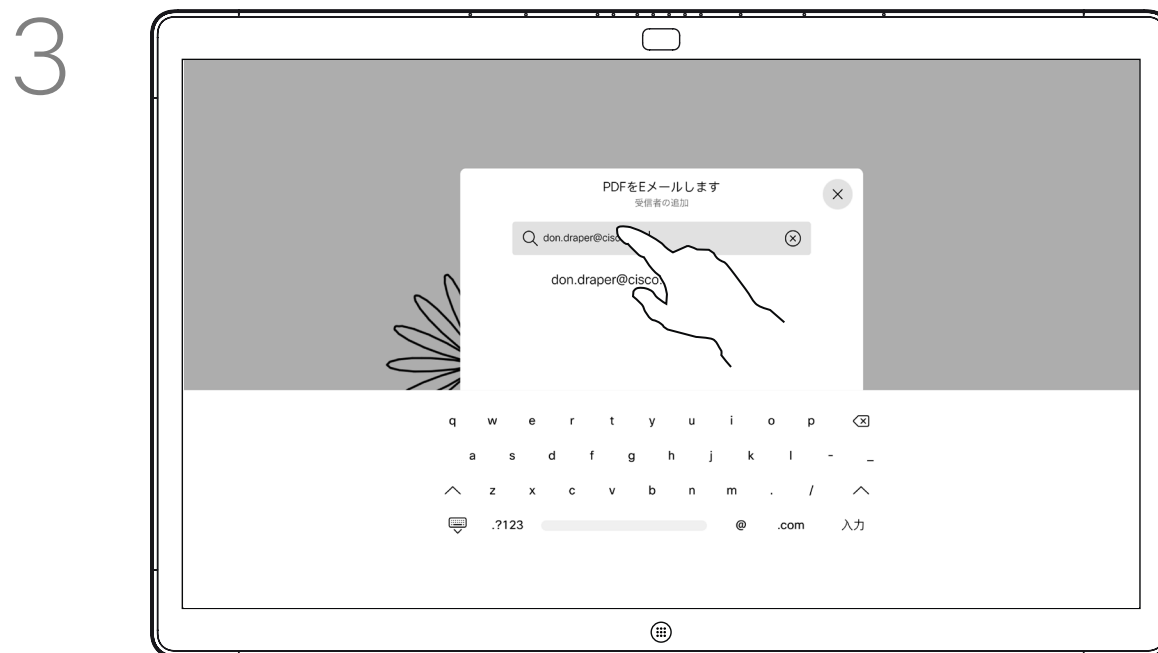
## 注釈について



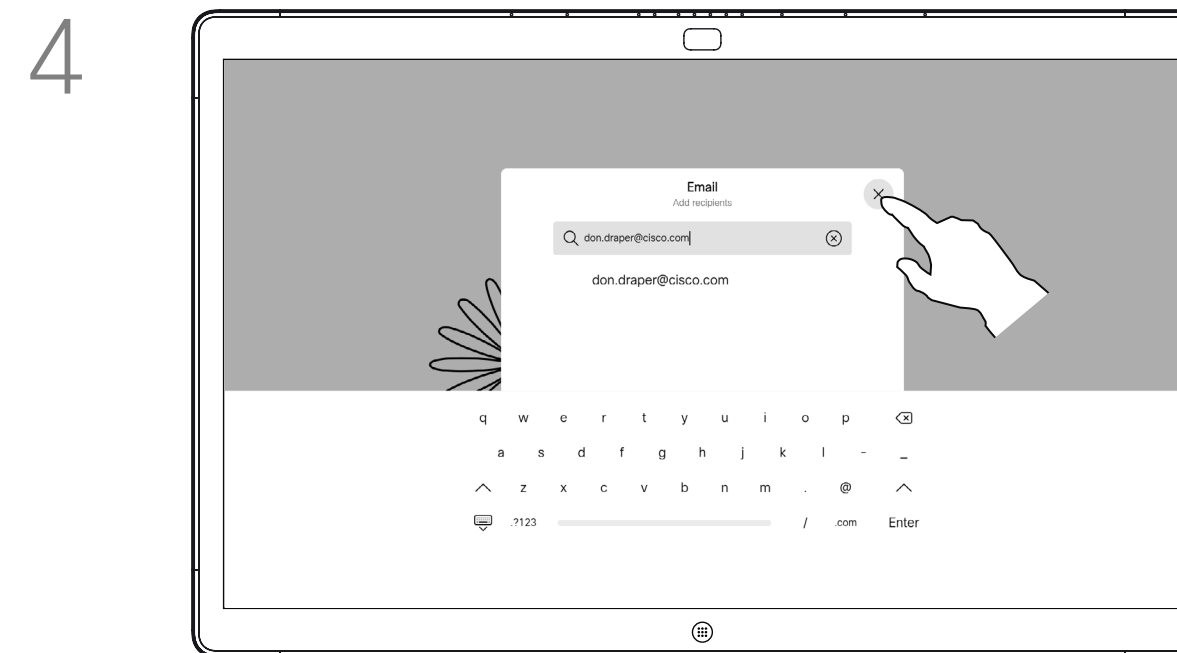
1 [電子メール (Email) ] アイコンをタップします。



2 複数のホワイトボードページがある場合は、電子メールで送信するページを選択します。[次へ (Next) ] 矢印をタップします。



3 タップして、受信者を追加します。



4 受信者を入力したら、図のようにタップして電子メールを送信します。

ビデオチームがメールサーバーを使用するように Webex Board を構成している場合、選択した受信者に 1 つ以上のホワイトボードを電子メールの添付ファイルとして送信できます。

ディレクトリ検索を使用できないため、受信者の電子メールアドレスは手動で入力する必要があります。

ホワイトボードは PDF 形式で共有されます。

ホワイトボードセッションの終了後にホワイトボードページ保持するにはこの方法しかありません。

コンテンツ共有: Webex Board

## 有線タッチリダイレクト

Webex Board 画面からお使いのラップトップを制御できます。これは、Windows 10 ラップトップを Webex Board に HDMI ケーブルと USB-C ケーブルで接続している場合に機能します。ドラッグアンドドロップ、プログラムの描画、およびマップを含むタスクに適しています。

タッチリダイレクトは、ローカルまたは通話中に共有している場合に使用できます。

この機能は、Windows 10 でテストおよび検証されています。基本機能は、別の OS でも動作するはずですが。

### 制限事項：

- ・ タッチリダイレクトを使用する場合、共有している画面では注釈を使用できません。
- ・ タッチリダイレクトを使用する場合、Webex Board の音量コントロールは使用できません。ラップトップから音量コントロールを使用します。
- ・ Webex Board に Touch 10 または Room Navigator コントローラが接続されている場合、USB-C ケーブルの接続中は、セルフビューを移動できません。

### ブラウザでドラッグアンドドロップを有効化

ブラウザでドラッグアンドドロップのタッチリダイレクトを使用するには、ブラウザでドラッグアンドドロップを有効にする必要があります。

- ・ Chrome の場合：`chrome://flags/#touch-events` にアクセスし、**[有効化 (Enabled)]** に設定します。
- ・ Firefox の場合：`about:config` にアクセスし、`Dom.w3c_touch_events.legacy_apis.enabled = true` に設定します。
- ・ Edge の場合：`about:flags` にアクセスし、`Enable Touch Events = always on` に設定します。

### Windows 10 ラップトップでタッチリダイレクトを使用する

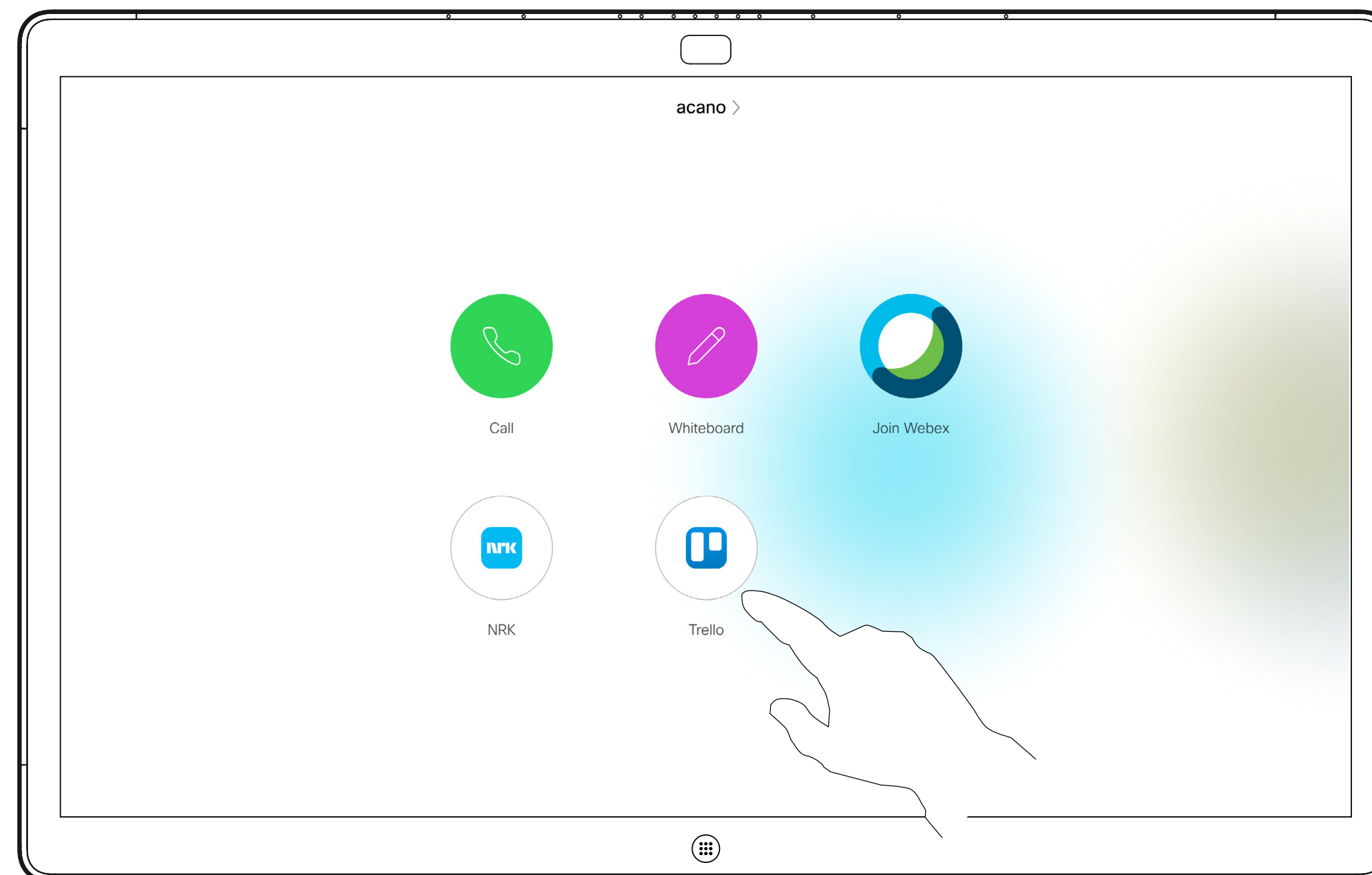
1. 日付と時刻の横にあるタスクバーのアクションセンターを選択してラップトップをタブレットモードに切り替え、**[タブレットモード (Tablet mode)]** を選択してオンにします。
2. HDMI ケーブルと USB-C ケーブルでラップトップと Webex Board を接続します。USB-C-USB-C ケーブルまたは USB-C-USB-A ケーブルを使用できます。
3. 注: USB-C-USB-A ケーブルは長いケーブルに対応しています。
4. Webex Board が自動共有に設定されている場合、タッチリダイレクトはすぐに使用できます。設定されていない場合は、ボードのユーザーインターフェイスから **[共有 (Share)]** を選択します。

タッチリダイレクトの使用中に Webex Board で他のアクティビティに切り替えるには、ボードの **[ホーム (Home)]** ボタンを押します。

**注:** この機能は、S シリーズの Webex Boards でのみ使用できます。

# コンテンツ共有 Web アプリ

## Web アプリについて



Web アプリは、デバイスのホーム画面からアクセスできる Web ページまたはアプリケーションです。ローカルまたは通話中に Web アプリを共有して作業できます。

Web アプリはフルスクリーンで起動し、15 分間使用されないとタイムアウトします。Web アプリは対話型にすることもできます。

通話中に Web アプリを開くと、自動で共有されます。通話中に Web アプリをプレビューすることはできません。

音声は再生できるが音量を調整できない Web アプリを表示する際は、参加者と共有している音声は調整できません。

キャッシュ、Cookie、ローカル ストレージなどのデータは、セッションが終了すると自動的に消去されます。

Web アプリは、デバイスの [設定 (Settings)] メニューから直接追加、削除、および編集できます。

左側のデバイス名をタップし、[設定 (Settings)] を選択します。[Web アプリの管理 (Manage Web Apps)] に移動します。Web アプリは追加、編集、削除することができます。

UI 拡張エディタで構成された Web アプリは、[外部管理 Web アプリ (Externally Managed Web Apps)] の Web アプリリストに表示されますが、デバイスからは編集または削除できません。

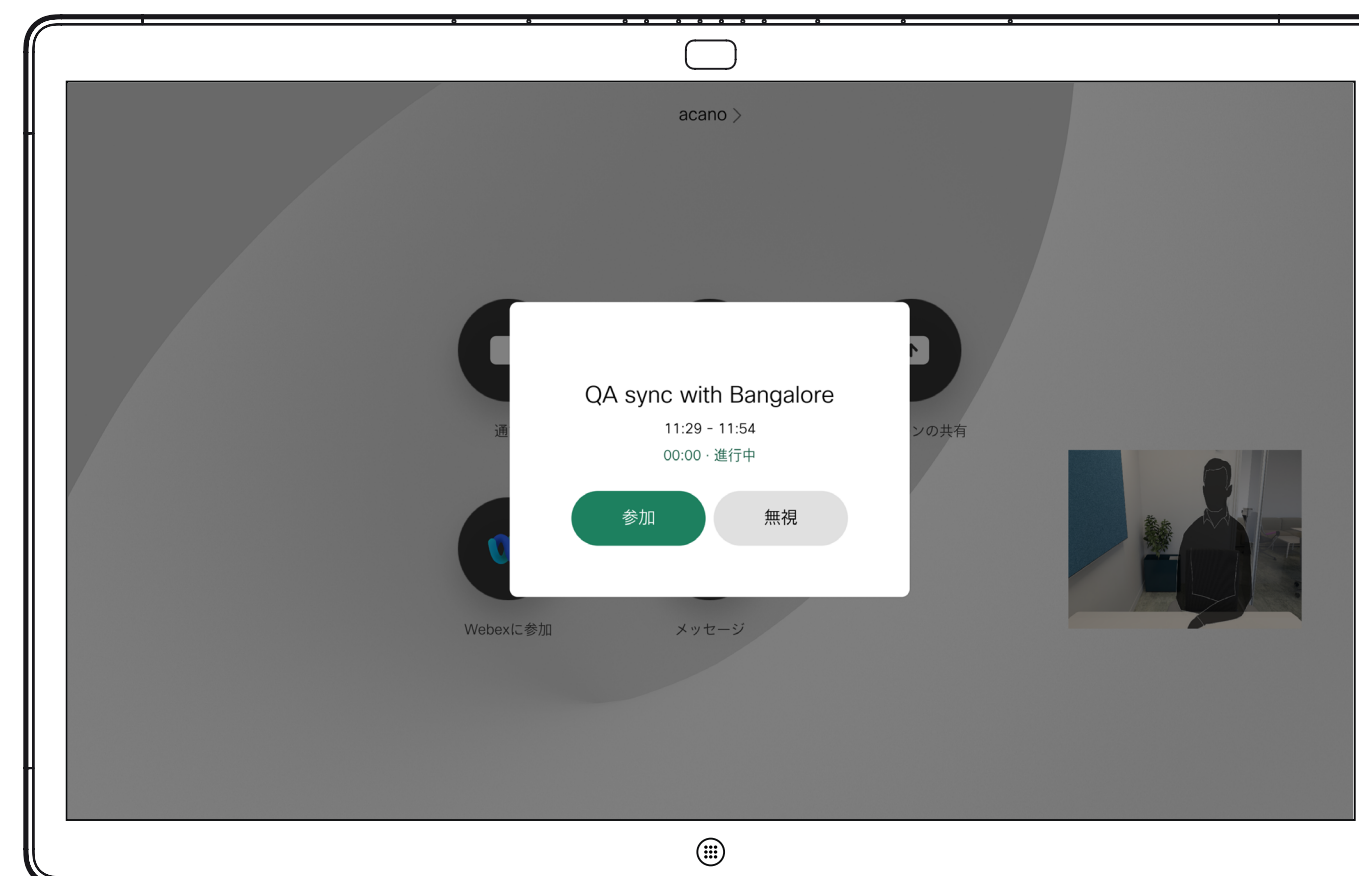
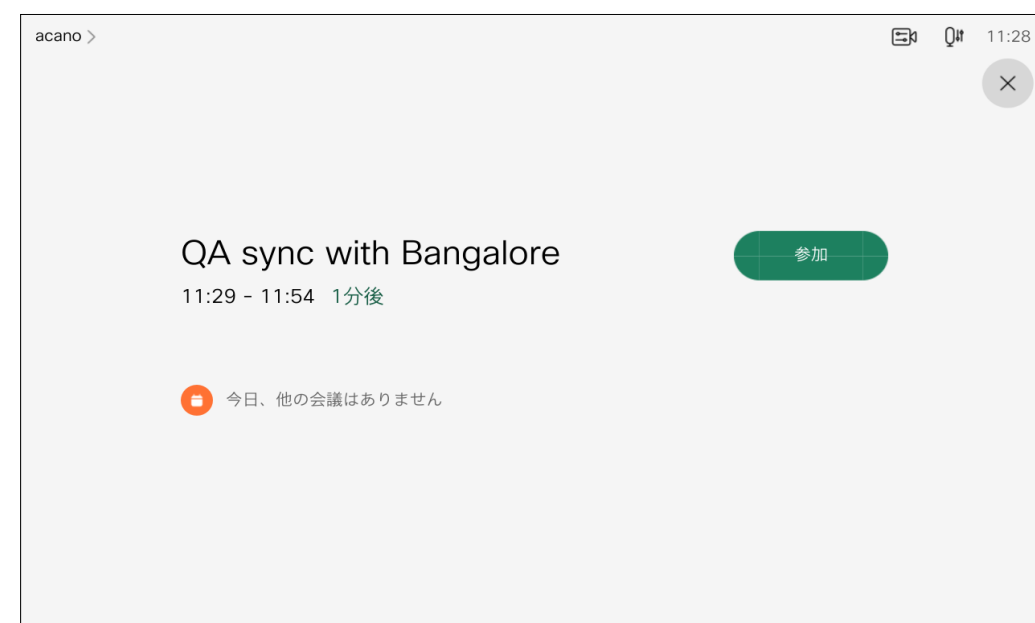


# 定例会議

# 定例会議 スケジュールされた会議に参加

## ミーティングへの参加

Touch 10/Room Navigator(左下)または Webex Board(右下)の使用



ビデオデバイスは、ビデオミーティングをスケジュールできる管理システムに接続されている場合があります。スケジュールされた会議がデバイスに表示されます。

会議に参加するには [参加 (Join)] をタップします。

会議がすでに開始されている場合でも参加できます。

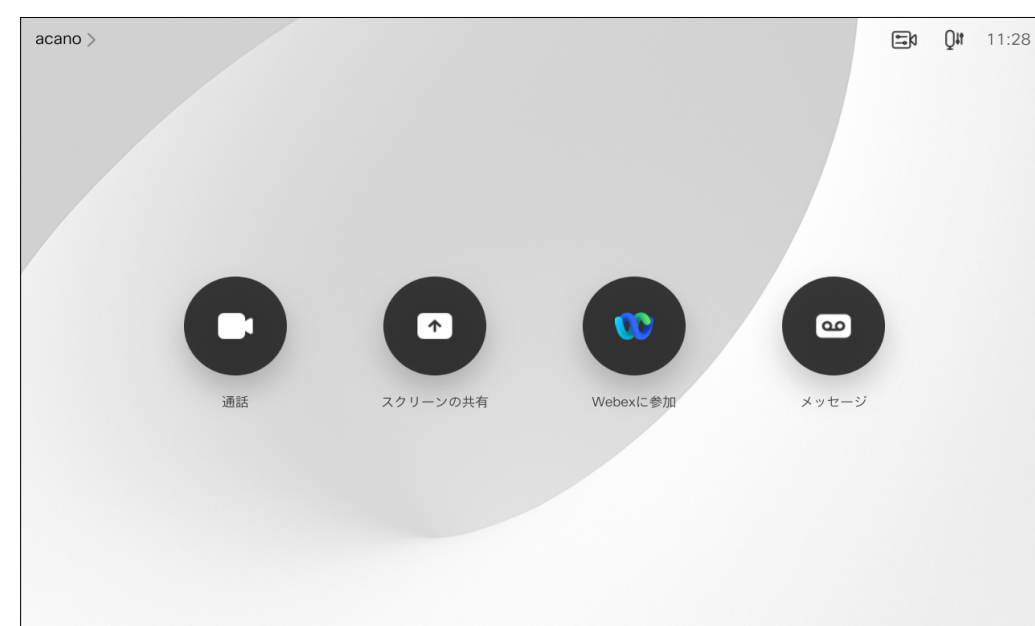
ミーティングのスケジュールがデバイス画面に表示されると、デバイスがスタンバイから復帰します。

ミーティングが開始間近になると、ミーティングへの参加を促すメッセージが表示されます。[参加(Join)] をタップします。

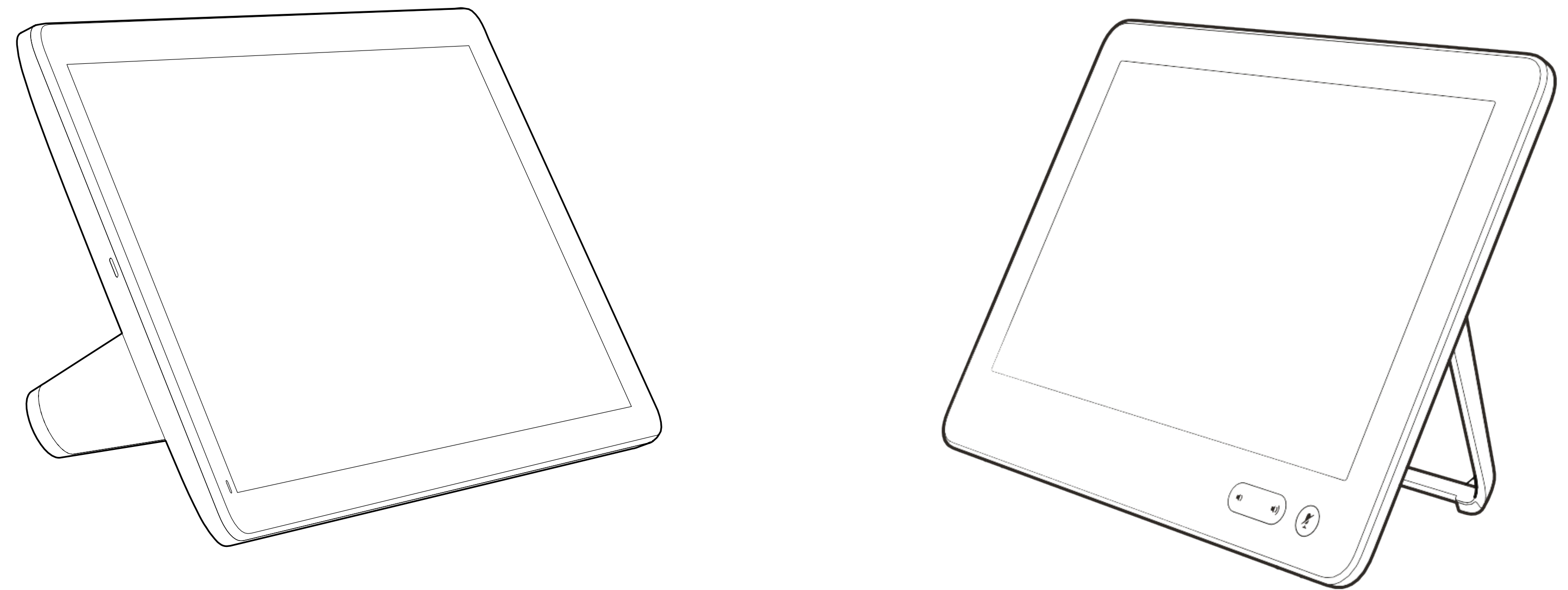
定例会議  
**Webex 会議に参加**

ミーティングへの参加

Touch 10/Room Navigator(左下)または Webex Board(右下)の使用



ビデオデバイスは Webex に接続されている管理システムに接続されている可能性があります。[Webexに参加 (Join Webex)] ボタンをタップします。ミーティングの招待で受信した会議番号を入力するように求められます。[参加 (Join)] をタップして会議に参加します。



# タッチコントローラの連絡先

連絡先: タッチコントローラ

## お気に入り、通話履歴、ディレクトリ

## 連絡先リストについて

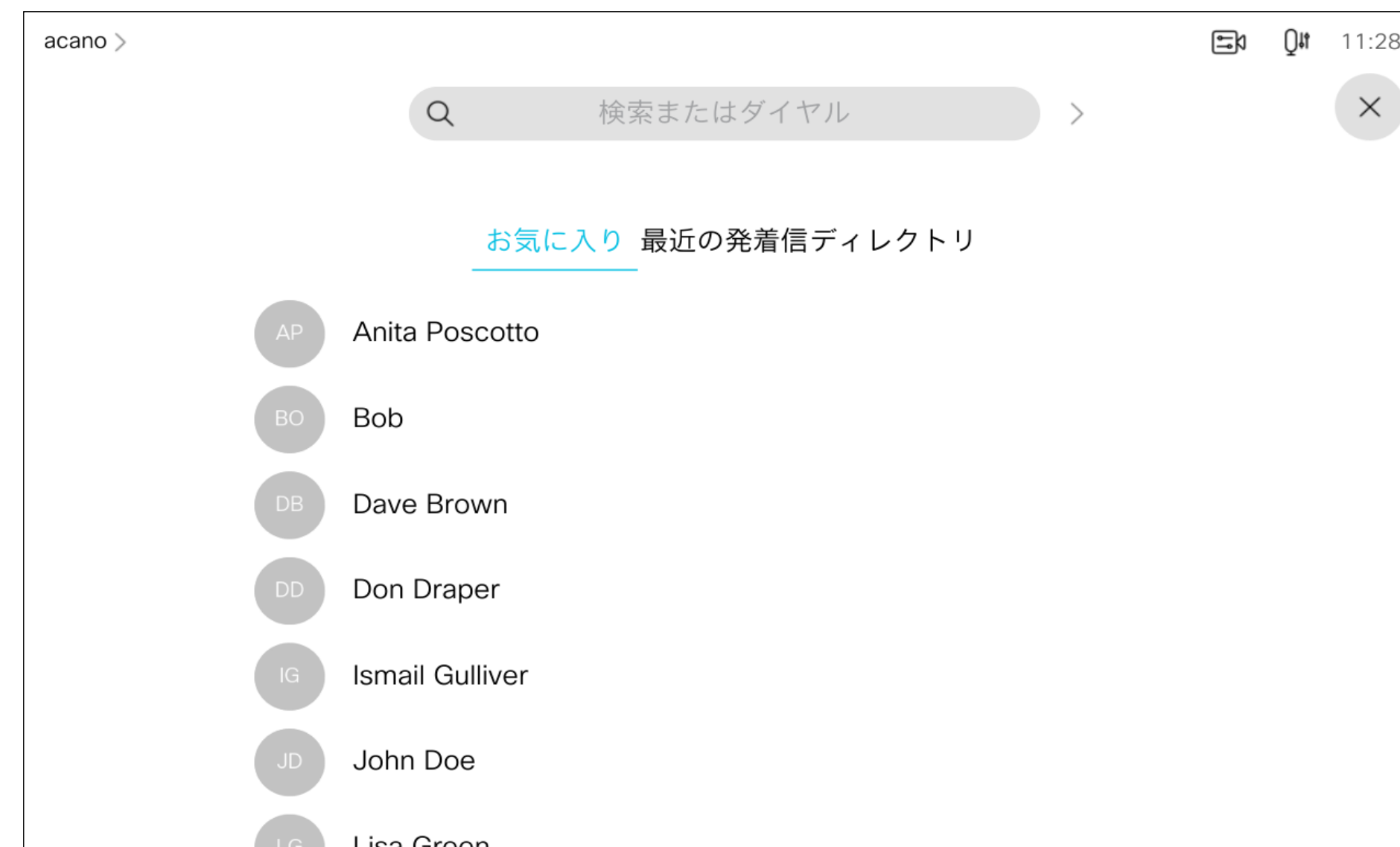
連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

**[お気に入り (Favorites)]** これらの連絡先は自分で設定します。頻繁に通話する相手や、すばやく簡単に連絡を取りたい相手を指定します。

**[ディレクトリ(Directory)]** は通常、ビデオサポートチームによってデバイスにインストールされる社内ディレクトリです。

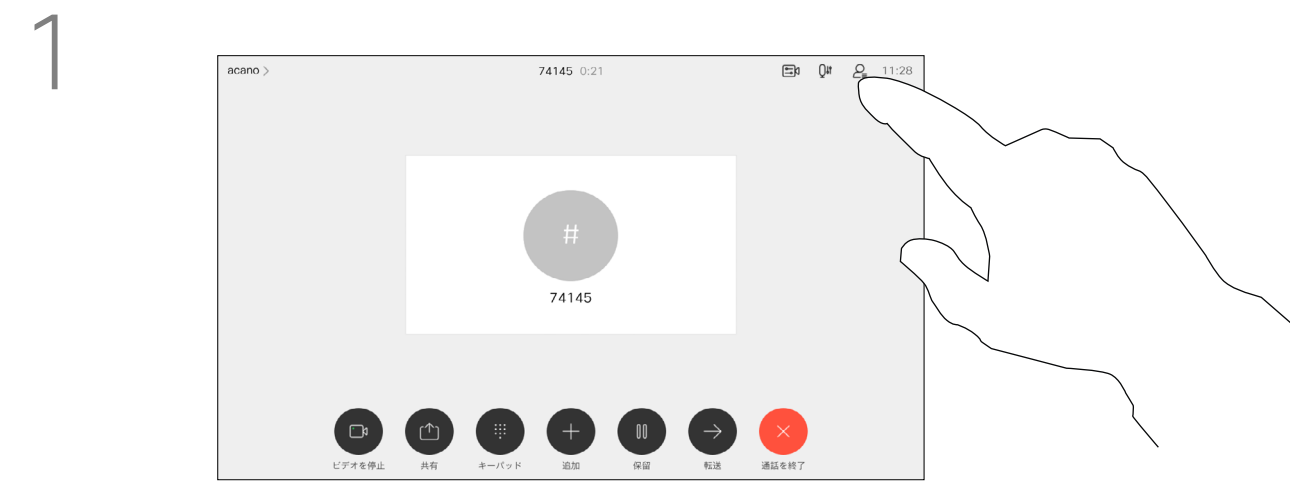
**[発着信履歴 (Recents)]** は、発信、受信、不在着信のリストです。

**[発着信履歴(Recents)]** からのエントリの削除は、Web インターフェイスでのみ行うことができます。

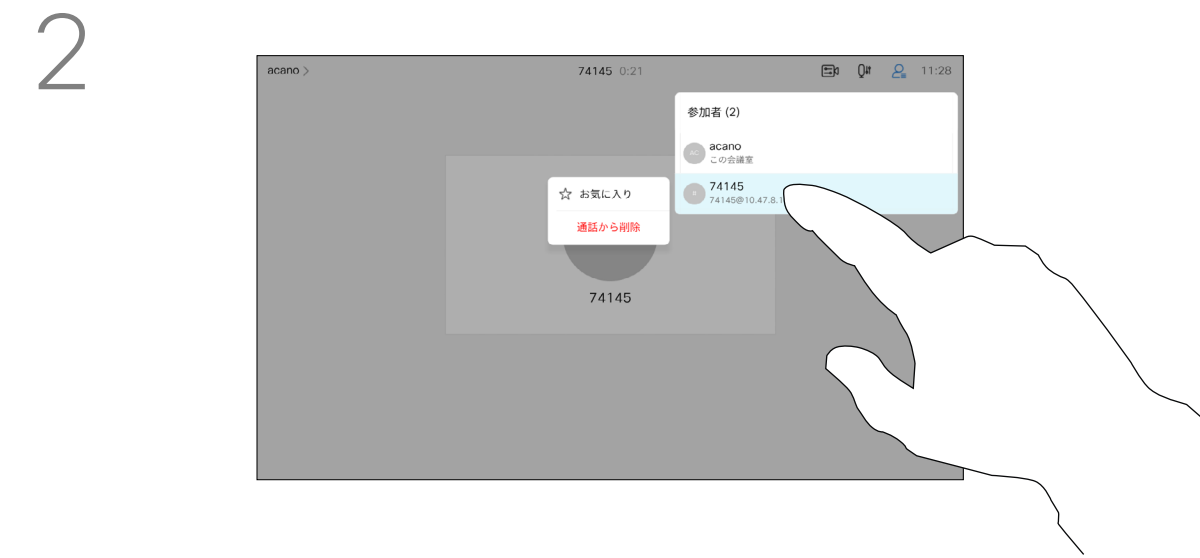


連絡先: タッチコントローラ  
**通話中にお気に入りに追加**

お気に入りについて



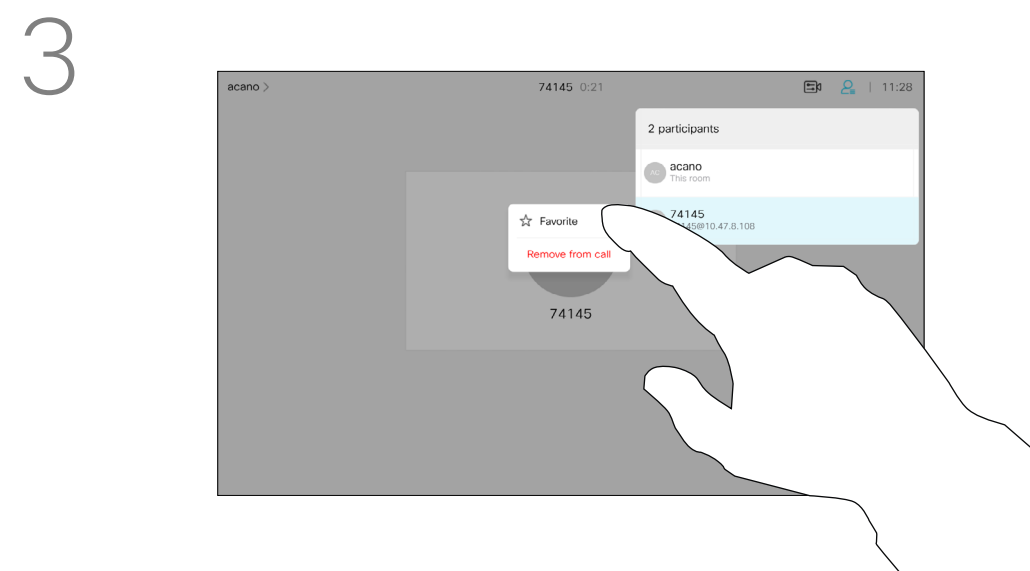
通話中、図のように、右上隅の [参加者 (Participants) ] アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



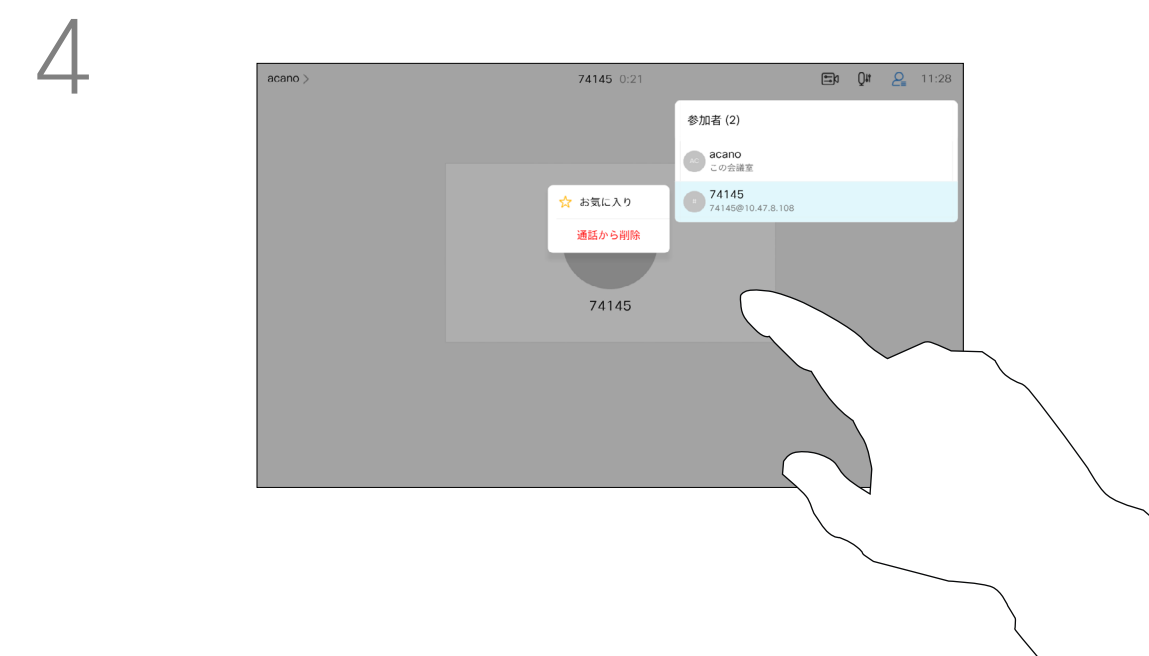
参加者のリストで、[お気に入り(Favorite)] に追加する参加者をタップします。

[お気に入り(Favorites)] は、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

[お気に入り(Favorites)] は、[発着信履歴(Recents)] または [ディレクトリ(Directory)] リストから選択するか、手動で入力できます。



[お気に入り (Favorite) ] をタップします。



これで参加者が [お気に入り(Favorite)] に追加されます (星マークが金色になります)。

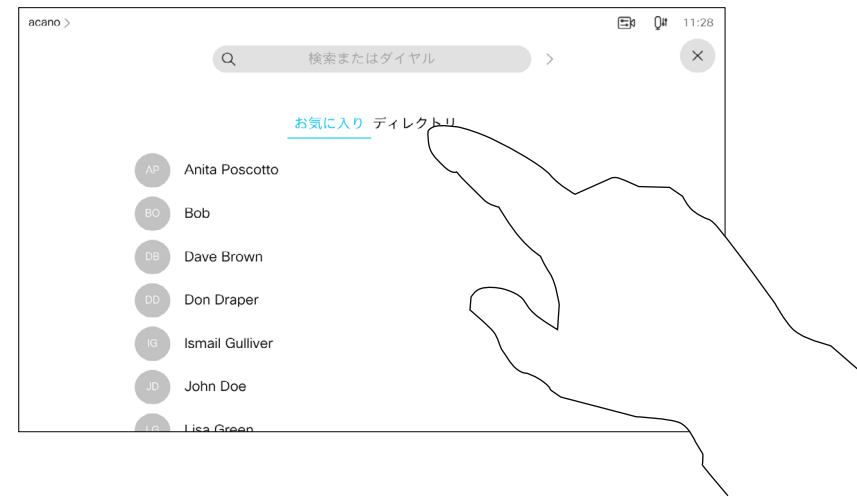
リストからエントリを削除するには、[連絡先(Contact)] リストの [お気に入り (Favorite) ] に移動し、同じ手順を繰り返します。

終わったらメニュー以外の場所をタップします。

# 連絡先: タッチコントローラ 非通話時にお気に入りに追加

## この機能について

1



図のように、[発信 (Call)] (図示なし) をタップして、[連絡先 (Contacts)] リストを開きます。[発着信履歴 (Recents)] または [ディレクトリ (Directory)] をタップして、[お気に入り (Favorites)] に追加するエントリを探します。

2

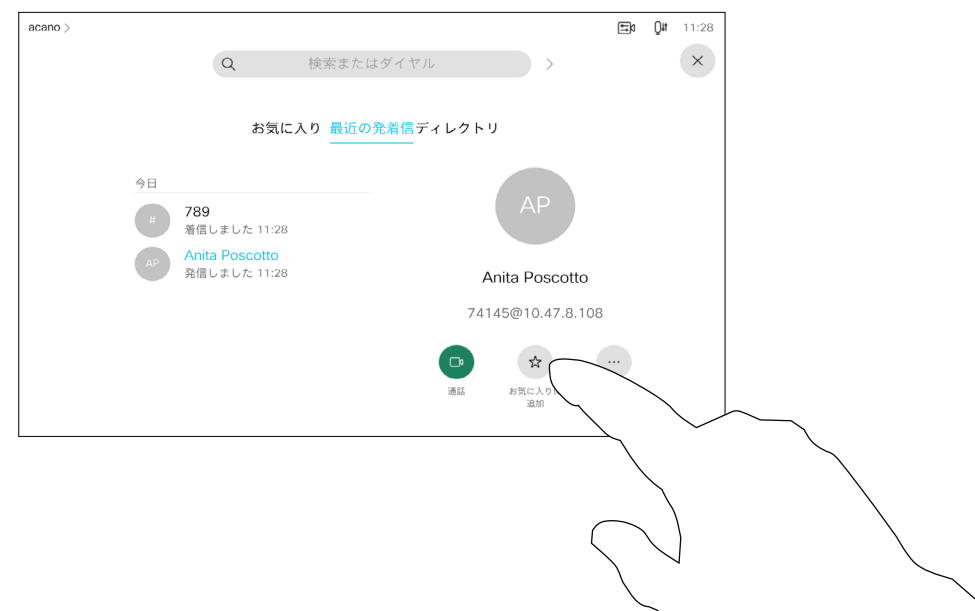


[お気に入り (Favorites)] に追加するエントリをタップすると、これにより、上記の画面が表示されます。

[お気に入り (Favorites)] は、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

[お気に入り (Favorites)] は、[発着信履歴 (Recents)] または [ディレクトリ (Directory)] リストから選択するか、手動で入力できます。

3



[お気に入りに追加 (Add to Favorites)] をタップします。エントリが [お気に入り (Favorite)] に追加されます。

4



お気に入りは、図のように金色のスターで示されます。  
[お気に入り (Favorite)] のリストからエントリを削除するには、この手順を繰り返します。  
このメニューを終了するには、図のように [X] をタップします。

# 連絡先: タッチコントローラ

## 既存のお気に入り編集

この機能について

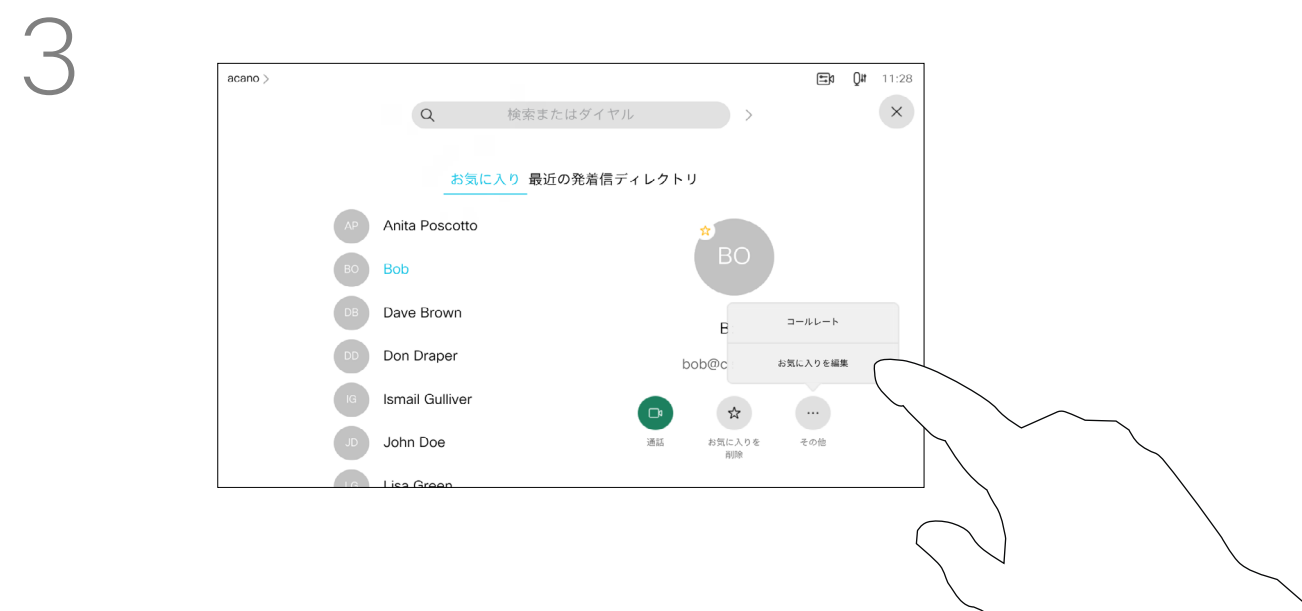
この機能を使用すると、お気に入りをいつでも更新することができます。



図のように、[発信 (Call)] (図示せず) をタップして、[連絡先 (Contacts)] リストを呼び出します。次に、[お気に入り (Favorites)] をタップして、お気に入りのリストにアクセスします。



編集するお気に入りをタップします。これにより、上記のオプションが表示されます。[詳細 (More)] をタップします。

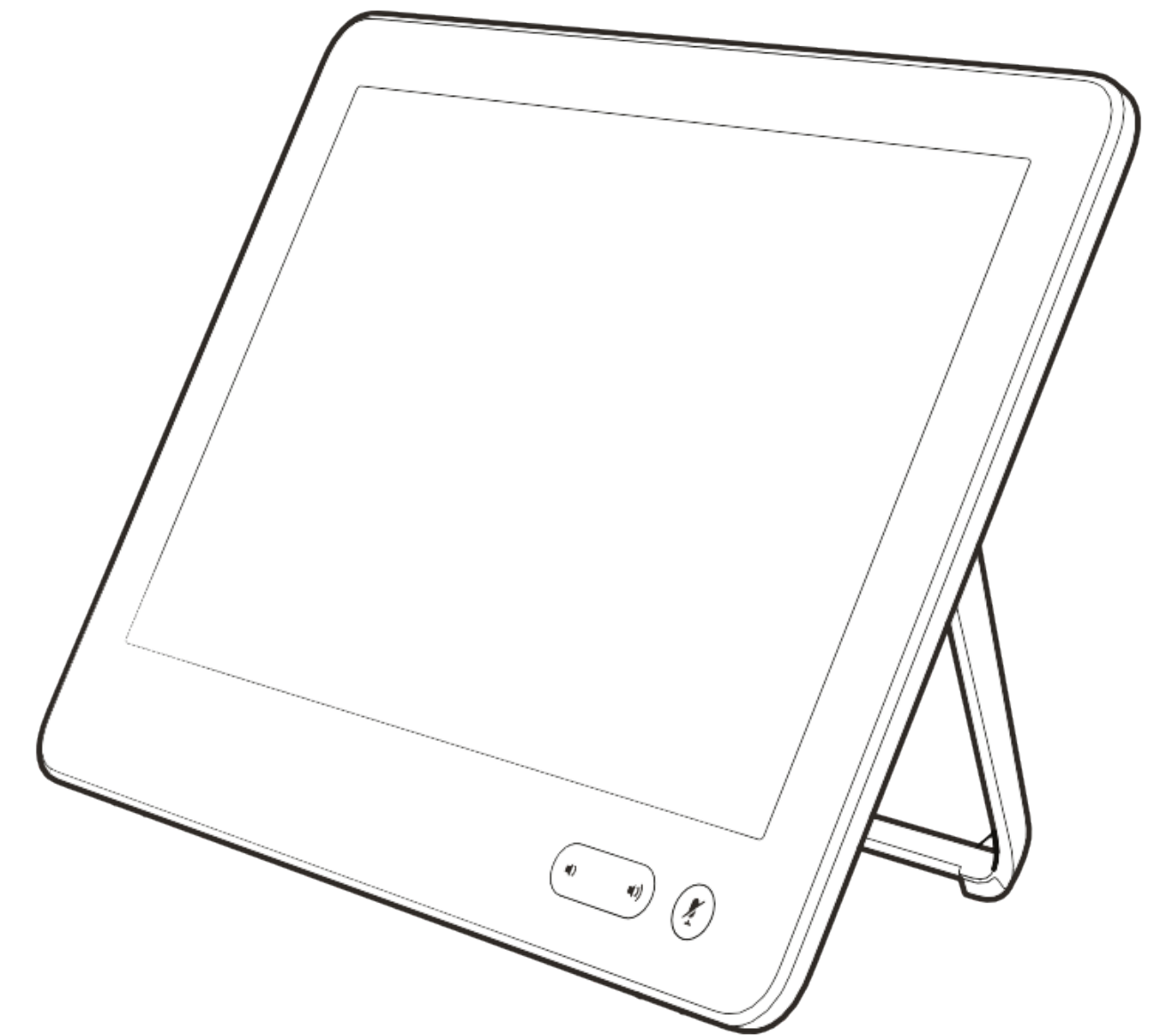


[お気に入りを編集 (Edit Favorite)] をタップします。



お気に入りのエントリを編集し、[保存 (Save)] をタップして、変更を適用して終了します。変更を適用しない場合は、[キャンセル (Cancel)] をタップします。





# カメラ

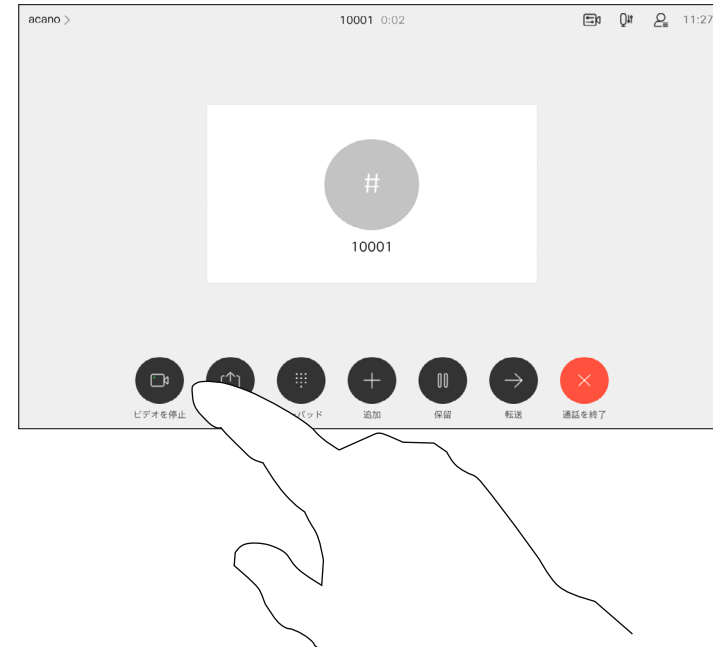
カメラ:タッチコントローラ

# カメラのオンとオフの切り替え (Touch 10/Room Navigator)

## ビデオのオフについて

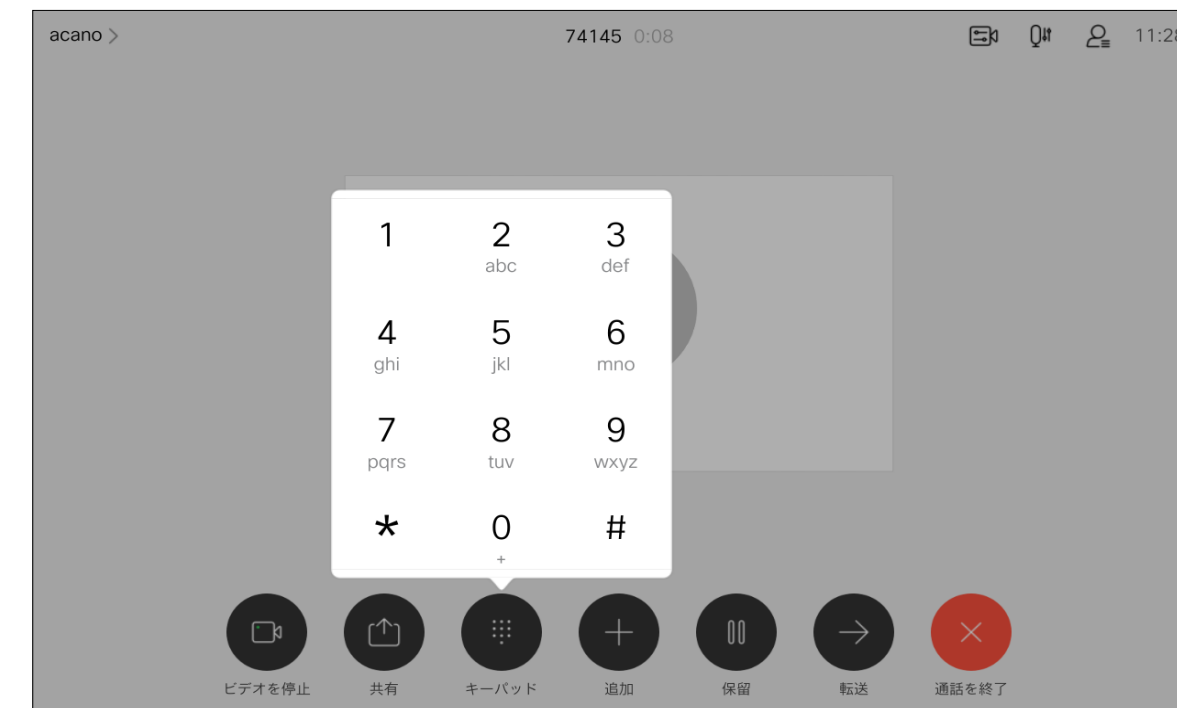
ビデオの電源オフ機能は、カメラを機械的にブロックすることができないデバイスで、カメラからのビデオ送信を制御できるようにするために設計されています。

1



[ビデオをオフにする (Turn video off) ] をタップします(図を参照)。

2



アイコンが赤色に変わり、デバイスからビデオが送信されていないことを示します。この機能を無効にするには、もう一度タップします。

カメラ: Webex Board

# カメラのオンとオフの切り替え (Webex Board)

## ビデオのオフについて

ビデオの電源オフ機能は、カメラを機械的にブロックすることができないデバイスで、カメラからのビデオ送信を制御できるようにするために設計されています。



必要に応じて、画面の下部に表示されるボタンを表示するには、画面上の任意の場所をタップします。

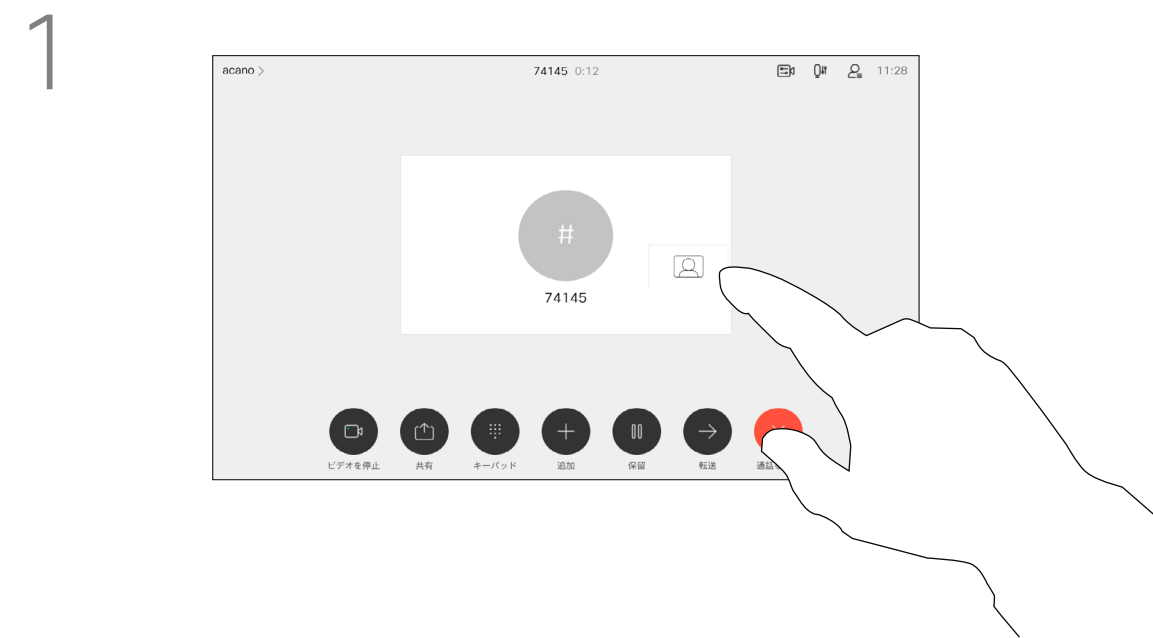


図のように、[カメラ (Camera)] ボタンをタップします。もう一度タップして、進行中のビデオをオンに戻します。

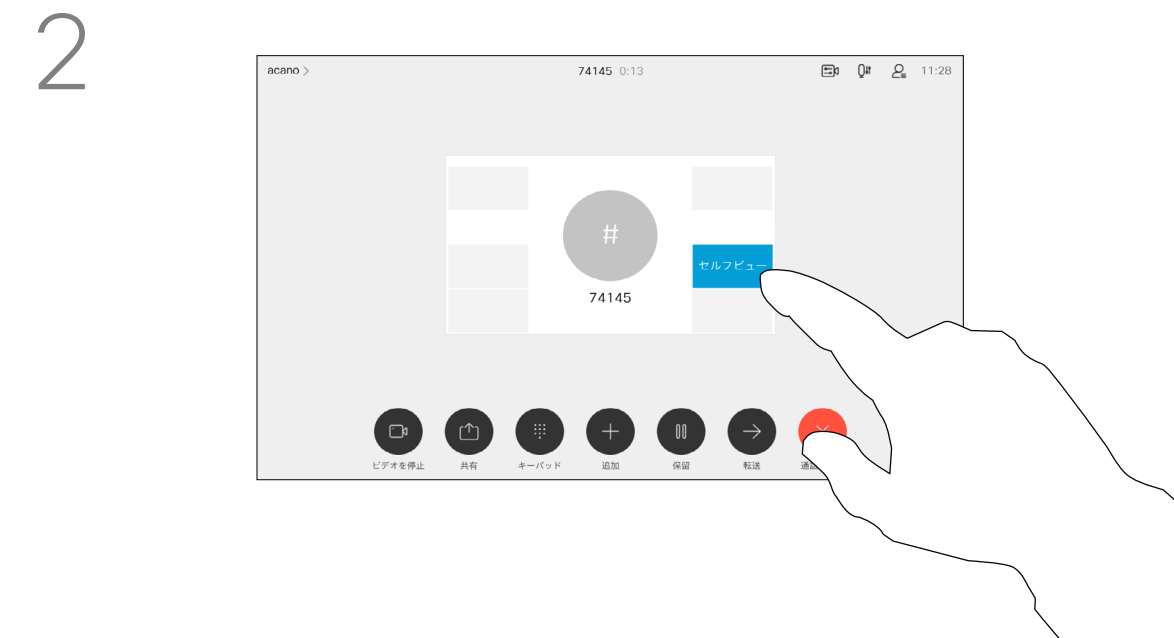
カメラ:タッチコントローラ

# セルフビュー PiP(Touch 10/Room Navigator)の移動

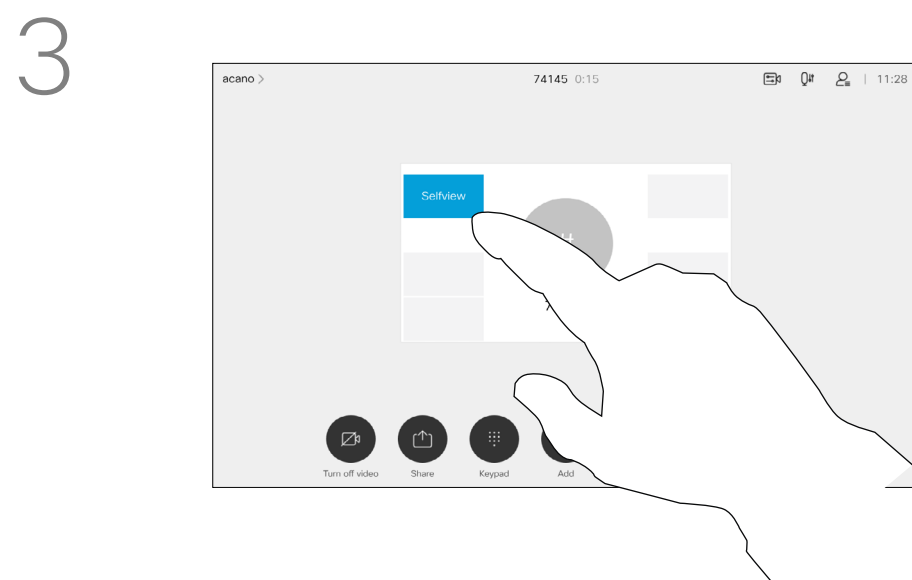
## セルフビューを移動する理由



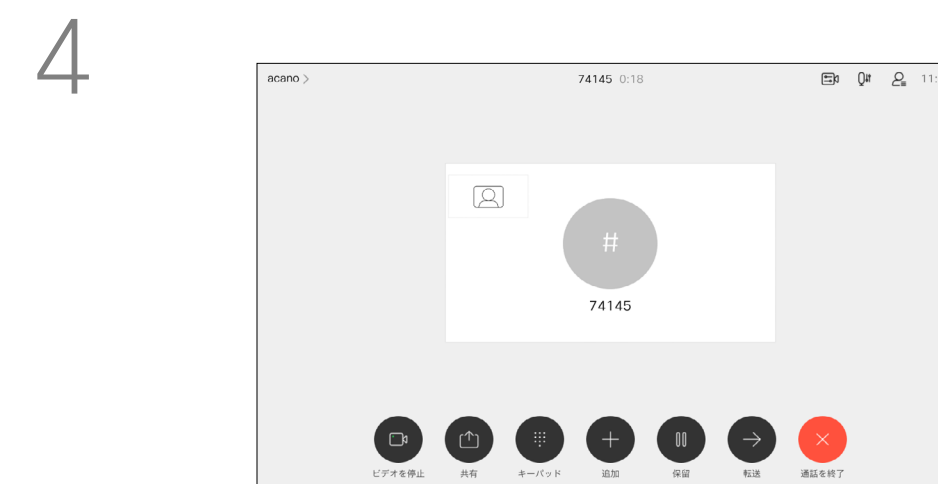
1 自画面の画像をタップしたままにします。



2 自画面イメージが青色に変わります。自画面イメージを移動できる位置が表示されます。画像をタップしたままにします。



3 画像を新しい位置にドラッグします。この例では、左上隅にドラッグしています。



4 画面から指を離して、画像をリリースします。これで、自画面の画像が新しい位置に配置されます。

セルフビューは、自分のビデオデバイスから他の参加者に表示される映像を示します。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

セルフビューは、PiP(ピクチャ イン ピクチャ)として表示されます。

会議中に、セルフビューをアクティブにしたいときがあります。たとえば、自分が画面に映り続けていることを確認するために使用できます。

セルフビューの位置により、画面上の画像の重要な部分が見えなくなる場合があります。これらの理由から移動する方がよい場合があります。

カメラ: Webex Board

# セルフビュー PiP (Webex Board) の移動

## セルフビューを移動する理由

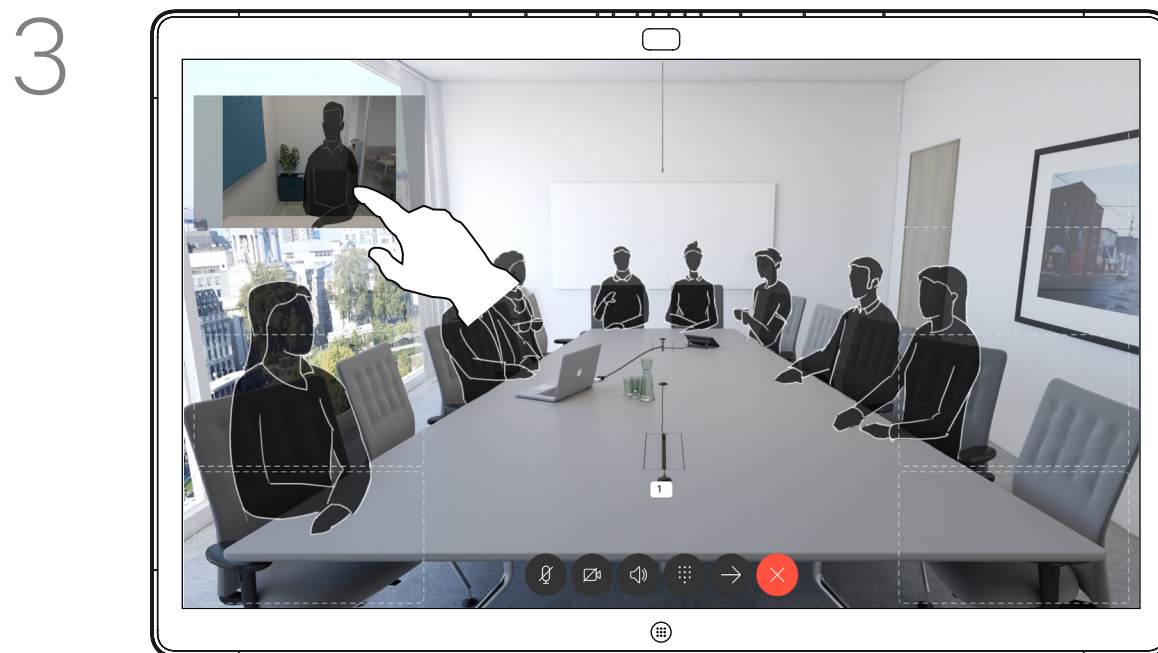


セルフビューをピン留めしない場合は、ボタン列の表示時のみセルフビューが表示されます。ボタン列を表示するには、画面をタップします。セルフビューをのピン留め方法に関しては、右の説明を参照してください。

自画面の画像をタップしたままにします。



新しい位置にドラッグします。



そこで、指を画面から離します。



これでセルフビューが新しい位置に配置されます。

セルフビューは、自分のビデオデバイスから他の参加者に表示される映像を示します。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

セルフビューは、PiP(ピクチャ イン ピクチャ)として表示されます。

会議中に、セルフビューをアクティブにしたいときがあります。たとえば、自分が画面に映り続けていることを確認するために使用できます。

セルフビューの位置により、画面上の画像の重要な部分が見えなくなる場合があります。よって移動する方がよい場合があります。

### セルフビューをピン留めする

画面をタップしてセルフビューを表示します。

セルフビューをタップします。次に、[セルフビューをピン留め (Pin Selfview) ] をタップします。

ピン留めを解除するには、セルフビューをタップし、[セルフビューのピン留め解除] をタップします。

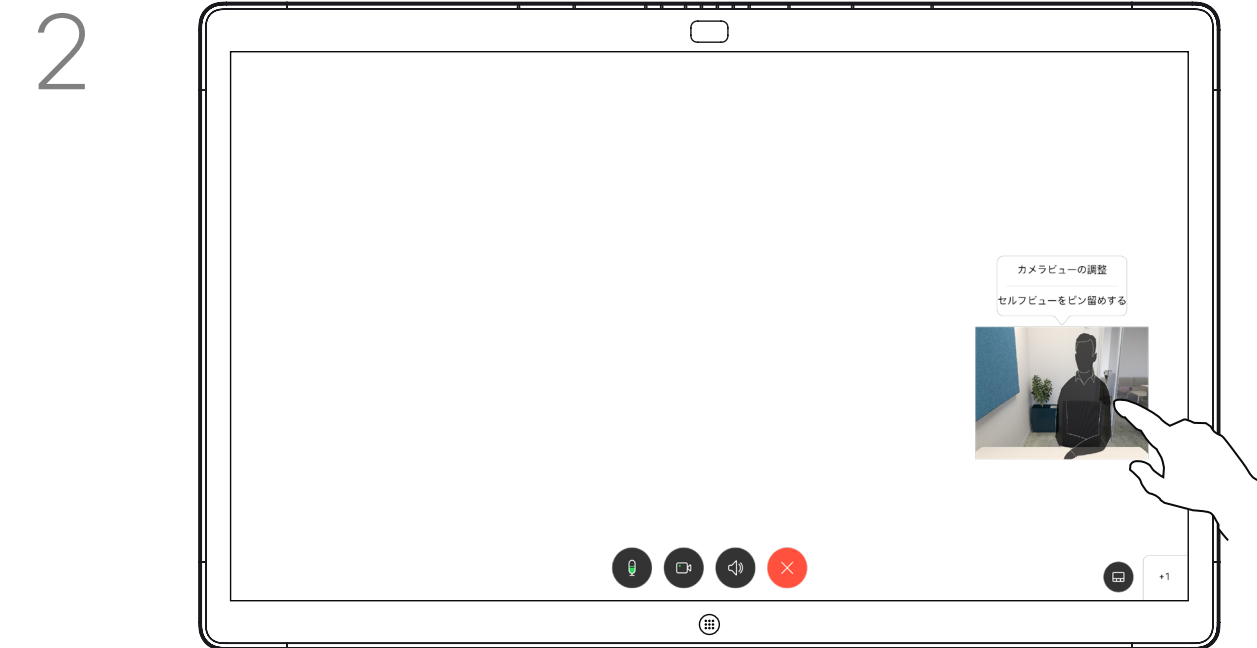
Touch 10 が Board に接続されている場合、セルフビューをピン留めすることはできません。

# カメラの手動制御

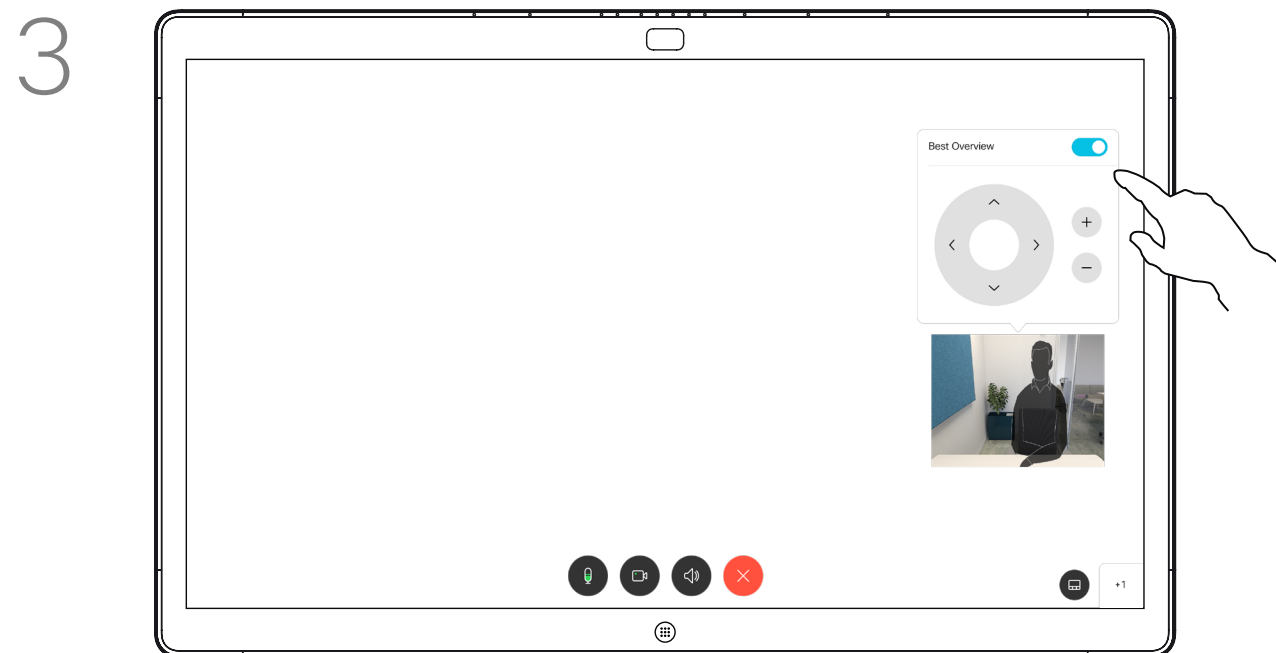
## カメラの位置を変更する理由



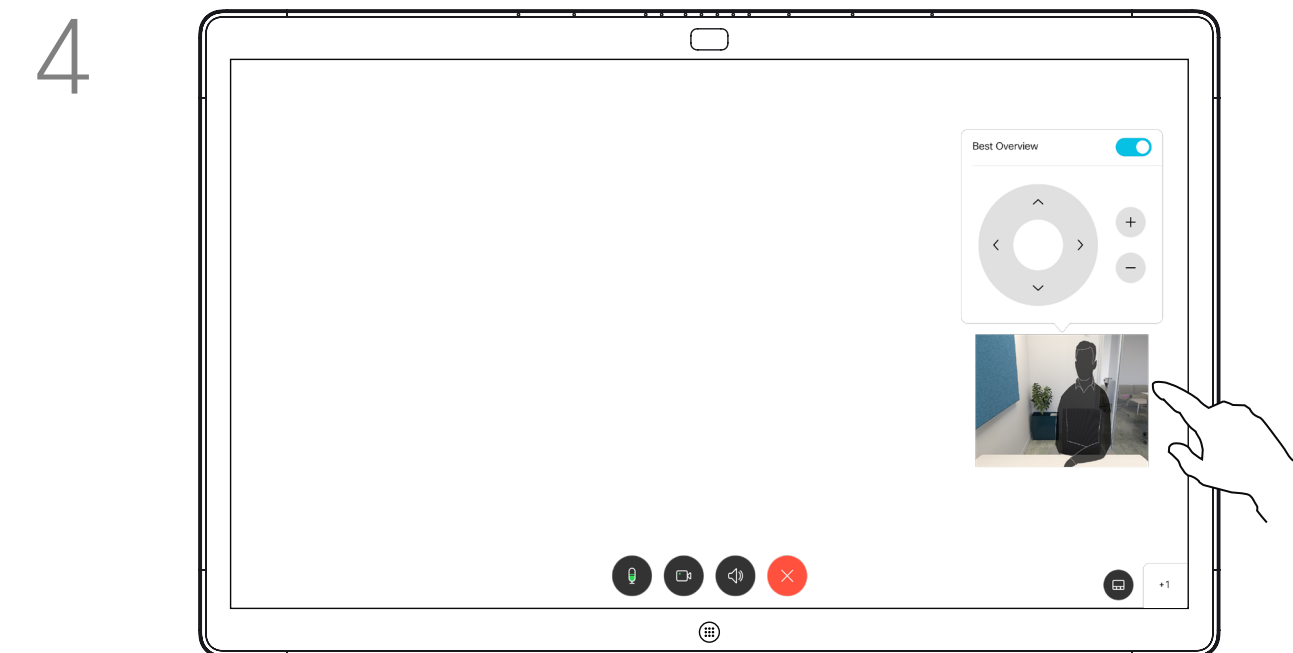
1 通話中に画面をタップすると、セルフビューが表示されます。



2 セルフビューと [カメラビューの調整 (Adjust Camera View) ] をタップしてカメラオプションを開きます。



3 [ベストオーバービュー (Best Overview) ] をオフにします。



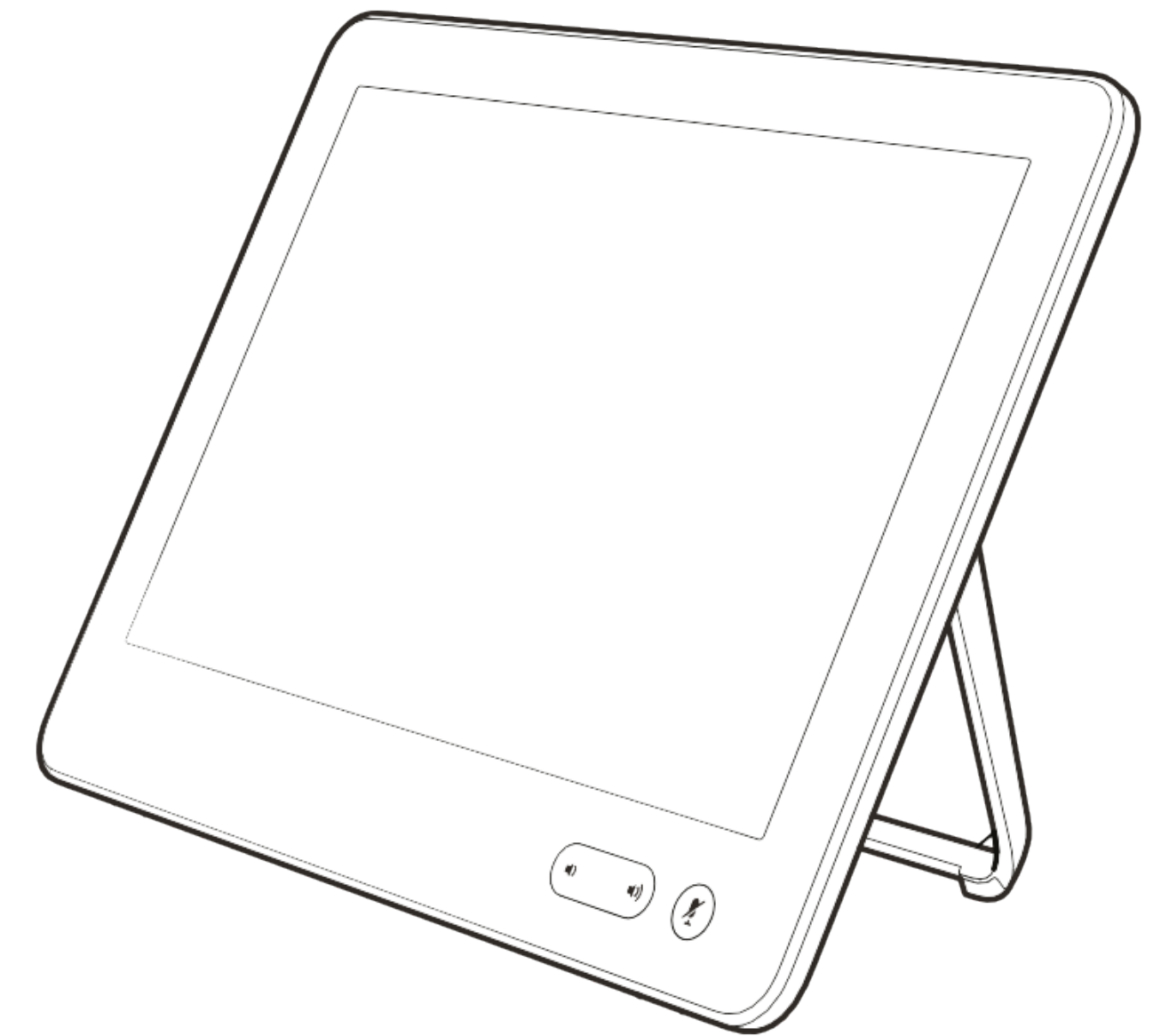
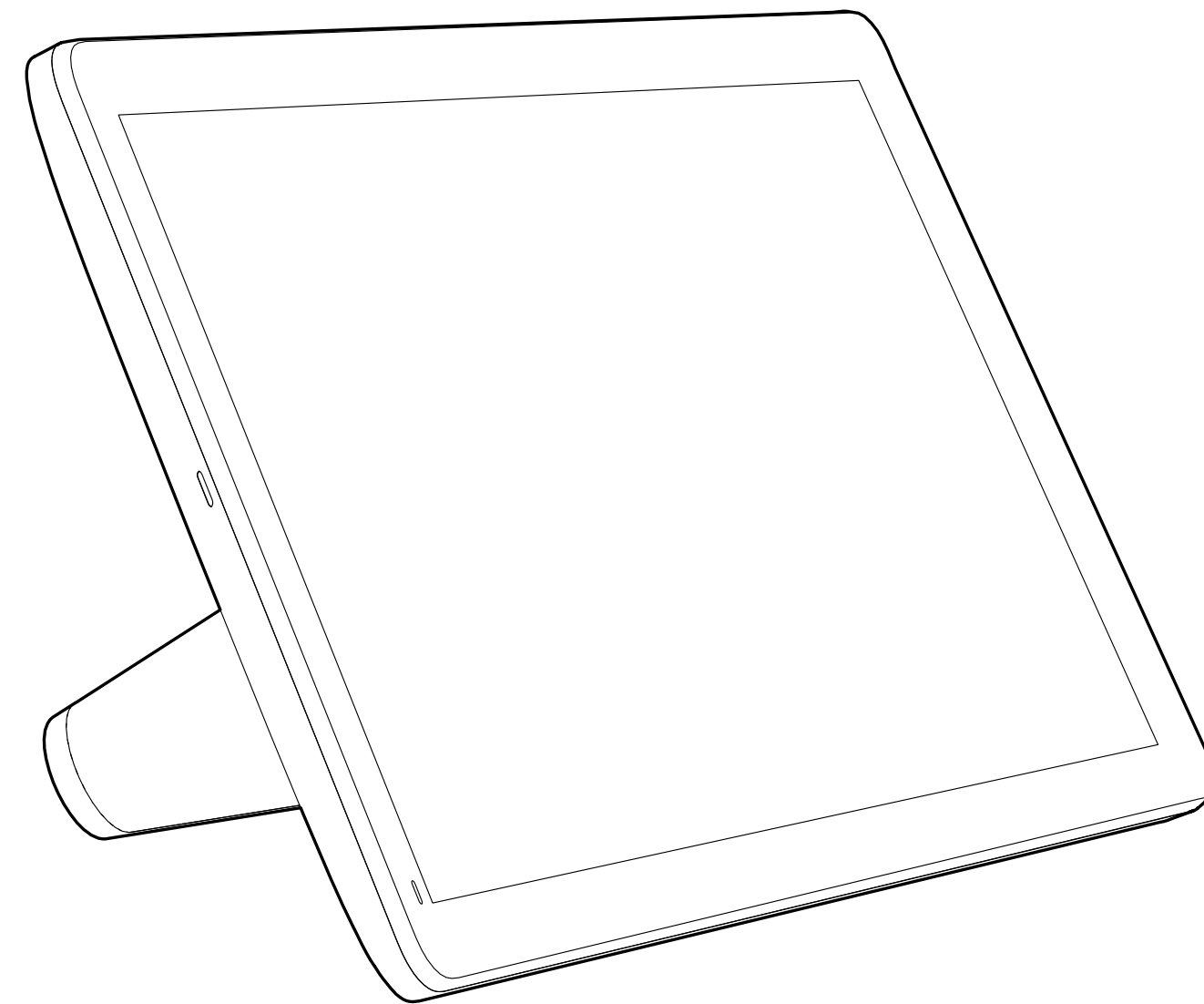
4 カメラコントロールを使用して、パン、チルト、ズームを調整します。  
メニュー以外の場所をタップしてメニューを閉じます。

Desk Pro は、自動的にベストオーバービューでフレームを設定します。ただし状況によっては、フレーム調整をすることもできます。

5 倍までのデジタルズーム

注: 通話中にのみカメラの位置を変更できます。

Touch 10 を Webex Board に接続している場合は、Touch 10 を使用してカメラビューを制御することもできます。



# 設定

設定

# オーディオ設定

## 音量コントロール

Touch 10 では、ハードボタンを使用してサウンドレベルを制御します。ミュートボタンを使用すると、マイクをミュートにできます。

Room Navigator では、ソフトボタンを使用してサウンドレベルを制御します。

Webex Board では、画面の下部を上からスワイプし、スライダを使用してサウンドレベルを調整します。

## ノイズ除去

ノイズ除去を使用すると、通話中に煩雑なノイズを除去できます。ノイズ除去は、共有スペースやホームオフィスで特に役立ちます。

タッチコントローラで、ホーム画面の右上にあるマイクアイコンをタップします。[ノイズ除去 (Noise Removal) ] をタップしてオンにします。

オフにするには、[デフォルト (Default) ] をタップします。

Room Series では、ノイズ除去が可能です。

Webex Board で、ホーム画面のデバイス名をタップし、[設定 (Settings) ] をタップします。

[ノイズ除去 (Noise Removal) ] に移動し、オンに切り替えます。

ノイズ除去をオフにするには、オフにします。

## 呼出音とボリューム

着信音を変更し、着信音の音量を調整するには、ホーム画面でデバイス名をタップし、[設定 (Settings) ] を選択します。[着信音と音量 (Ringtone and volume) ] に移動します。リストから着信音を選択し、スライダを使用してサウンドレベルを設定します。



# 設定: タッチコントローラ 設定と規制情報へのアクセス

## 設定について

1



2



[設定(Settings)] メニューでは、デバイスの情報を確認したり、いくつかの設定を変更したりできます。使用可能な設定は、管理者によって制限されている場合があります。

実行できる操作には、着信音と音量の変更、デバイスの再起動、デバイス情報の確認などがあります。

使用可能な設定は、お使いの製品と管理者が有効にしている機能によって異なります。

Room Navigator の評価ラベル情報は、[設定 (Settings)] メニューにあります。これらを確認するには、[設定 (Settings)] > [タッチパネルについて (About the Touch Panel)] > [規制 (Regulatory)] の順に選択します。



米国本社  
Cisco Systems, Inc.  
サンノゼ(カリフォルニア州)

アジア太平洋本社  
Cisco Systems (USA) Pte. Ltd.  
シンガポール

ヨーロッパ本社  
Cisco Systems International BV  
アムステルダム(オランダ)

シスコは世界各国に 200 を超えるオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices))をご覧ください。

---

Cisco および Cisco のロゴは、米国およびその他の国における Cisco およびその関係会社の登録商標を示します。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。